

あなたの居場所
は足の下



作画：顔印象零

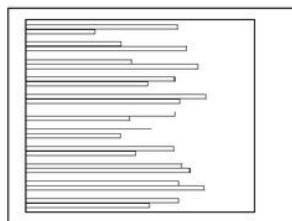
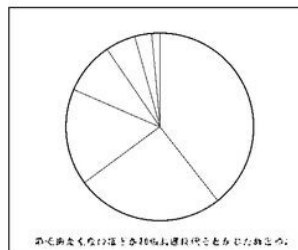
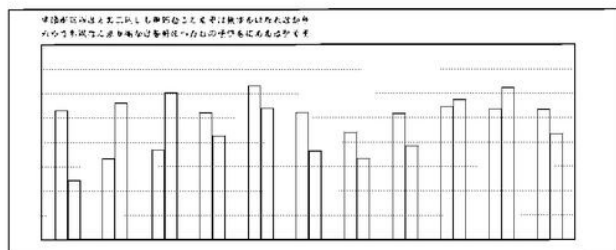
脚本：しぐ



私の名前はサラ
株式会社ディメンション・テクノロジーズの
社長専属秘書です



現在公演してるのが我が社の社長
工学博士でノーベル賞も
確実と言われている天才科学者です



第1回調査結果と第2回調査結果の比較グラフ

第1回調査結果と第2回調査結果の比較グラフ

第1回調査結果と第2回調査結果の比較グラフ

第1回調査結果と第2回調査結果の比較グラフ

第1回調査結果と第2回調査結果の比較グラフ

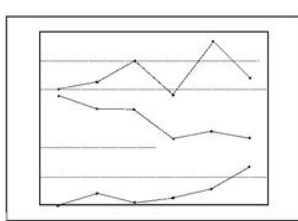
第1回調査結果と第2回調査結果の比較グラフ

第1回調査結果と第2回調査結果の比較グラフ

第1回調査結果と第2回調査結果の比較グラフ

第1回調査結果と第2回調査結果の比較グラフ

第1回調査結果と第2回調査結果の比較グラフ



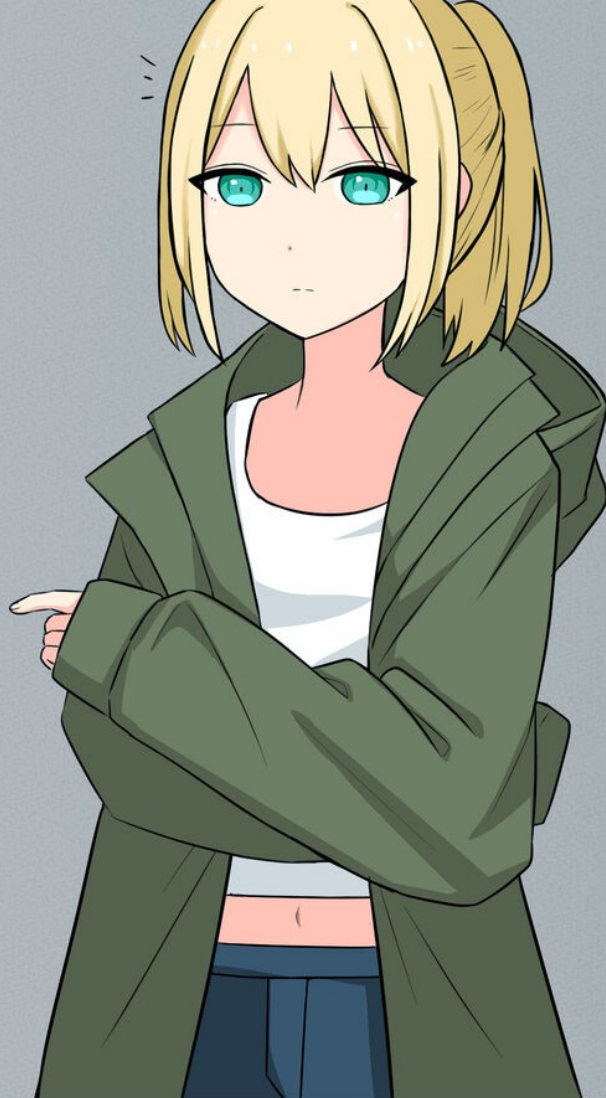
我々の発見した
新エネルギーを実用化できれば
世界のエネルギー問題を
解決する事が可能です！



DT社は画期的な新エネルギーを
取り扱うベンチャー企業で
世界中から注目されています

そのため今日も
テレビの取材や講演会で大忙し
私はそんな先生を裏でサポート
しています

でも期待されてるのと
同じくらいそれを快く思わない
国や組織もあります



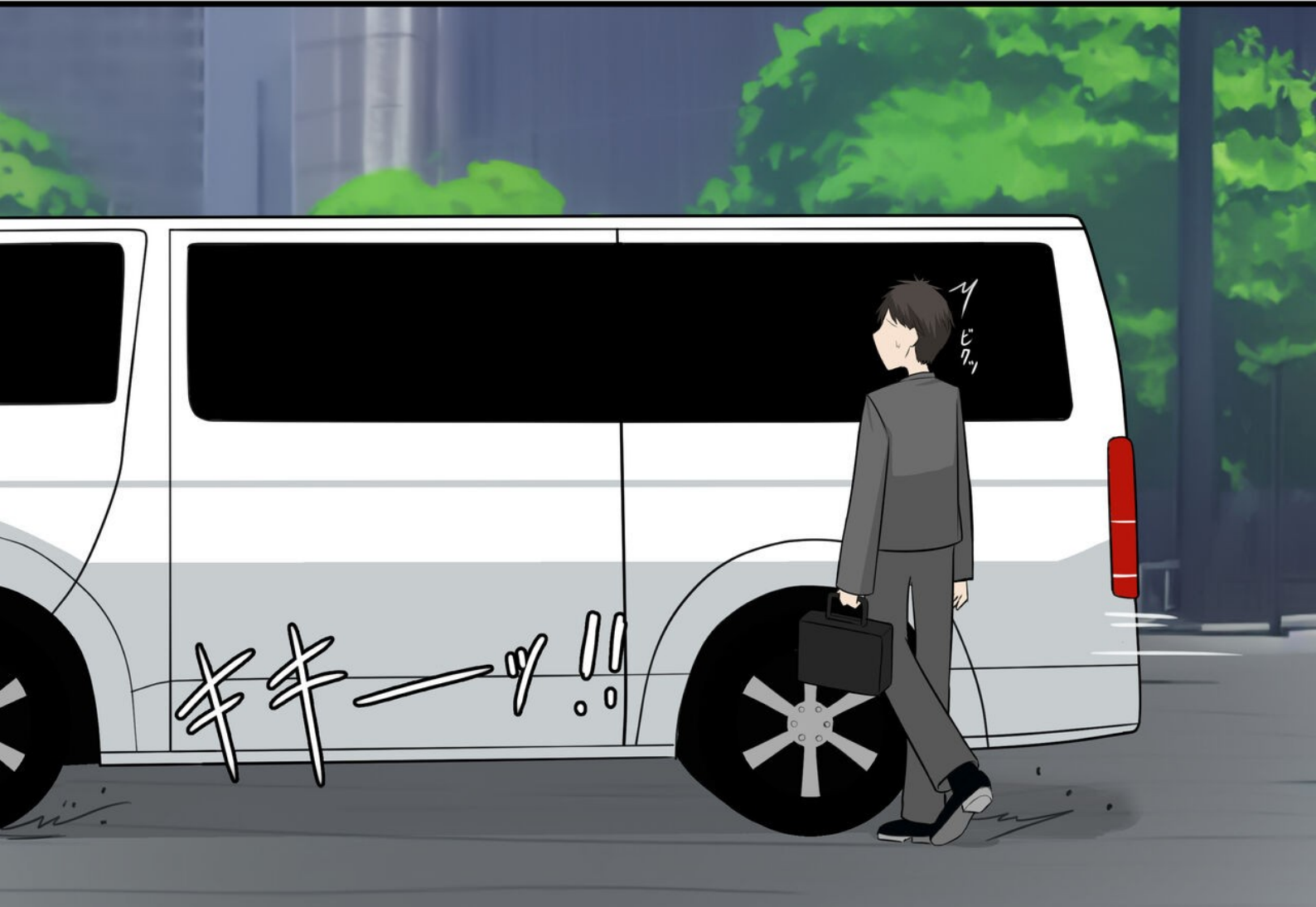
そんな敵勢力から先生の
身を守るのが向こうに立っている
金髪の女性、ボディガードの
アリスです

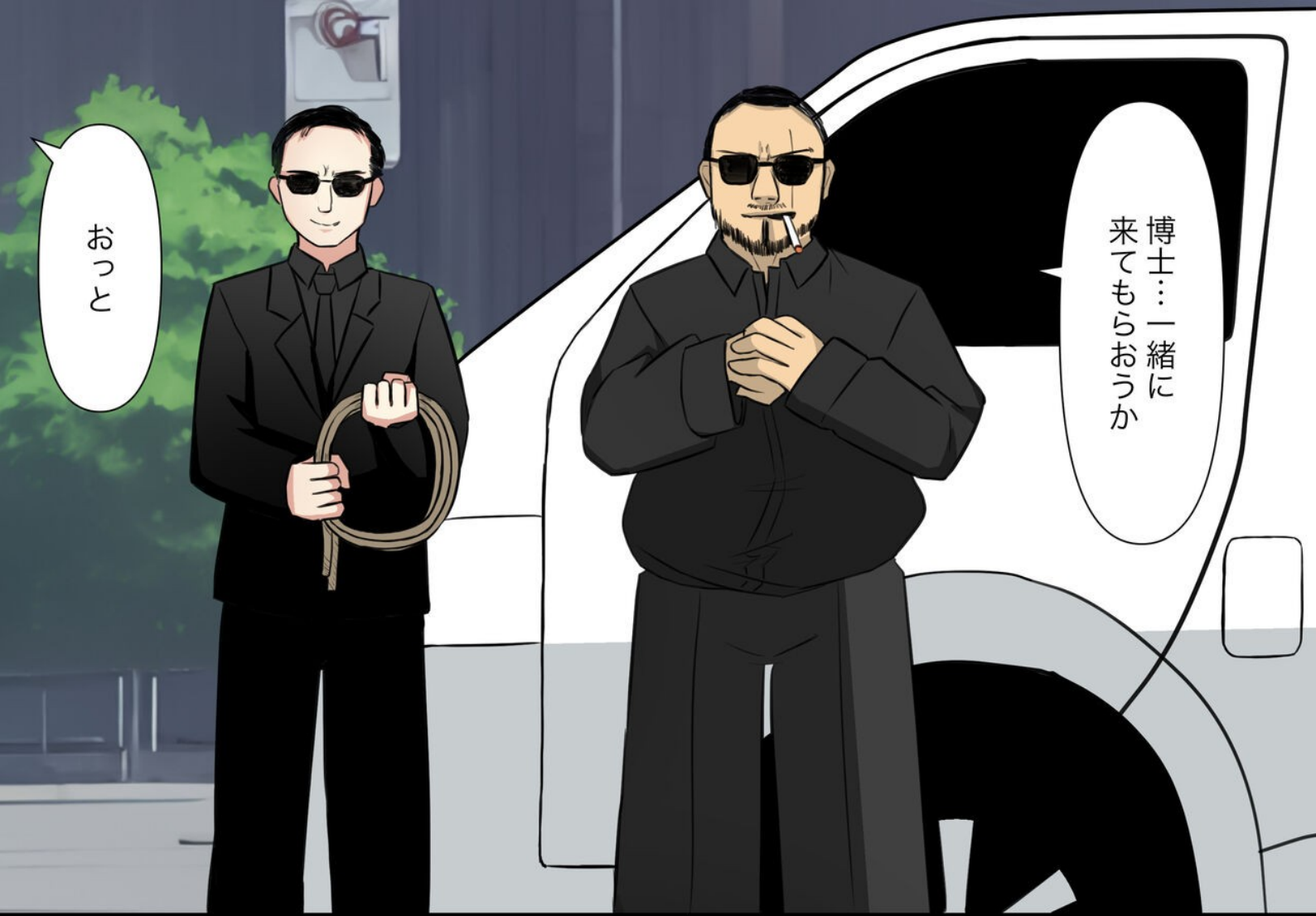
普段はおちやらけてるけど
いざという時にはとても強くて
頼りになります

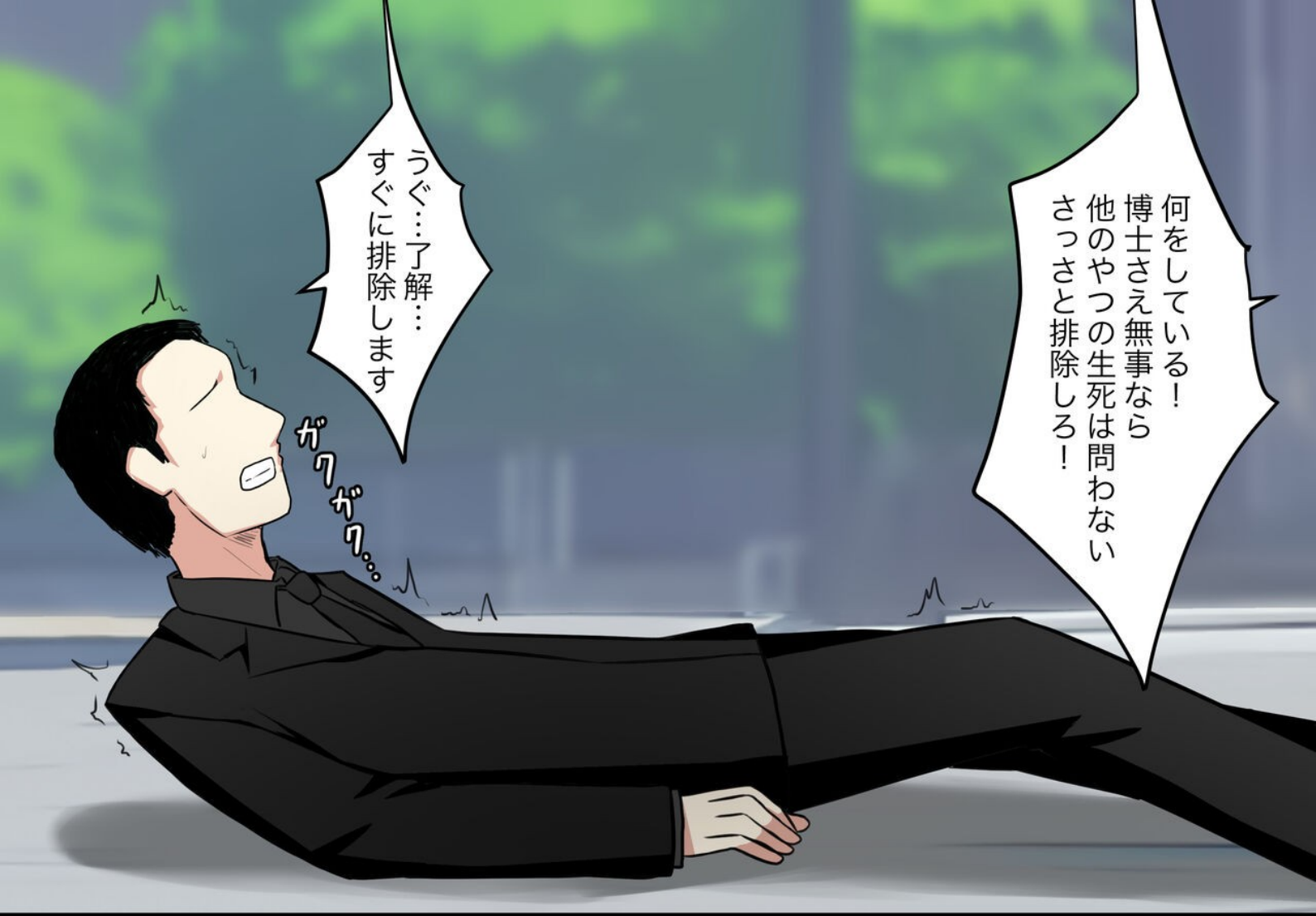


きっと先生ならこの技術で
世界を変える事ができます
私はそう信じています









よそ見してちゃ
ダメだぞー

ツツ!!





排除完了
そっちはどう？



こっちも無力化しました

ひッ!!

ッ...

ゴッ

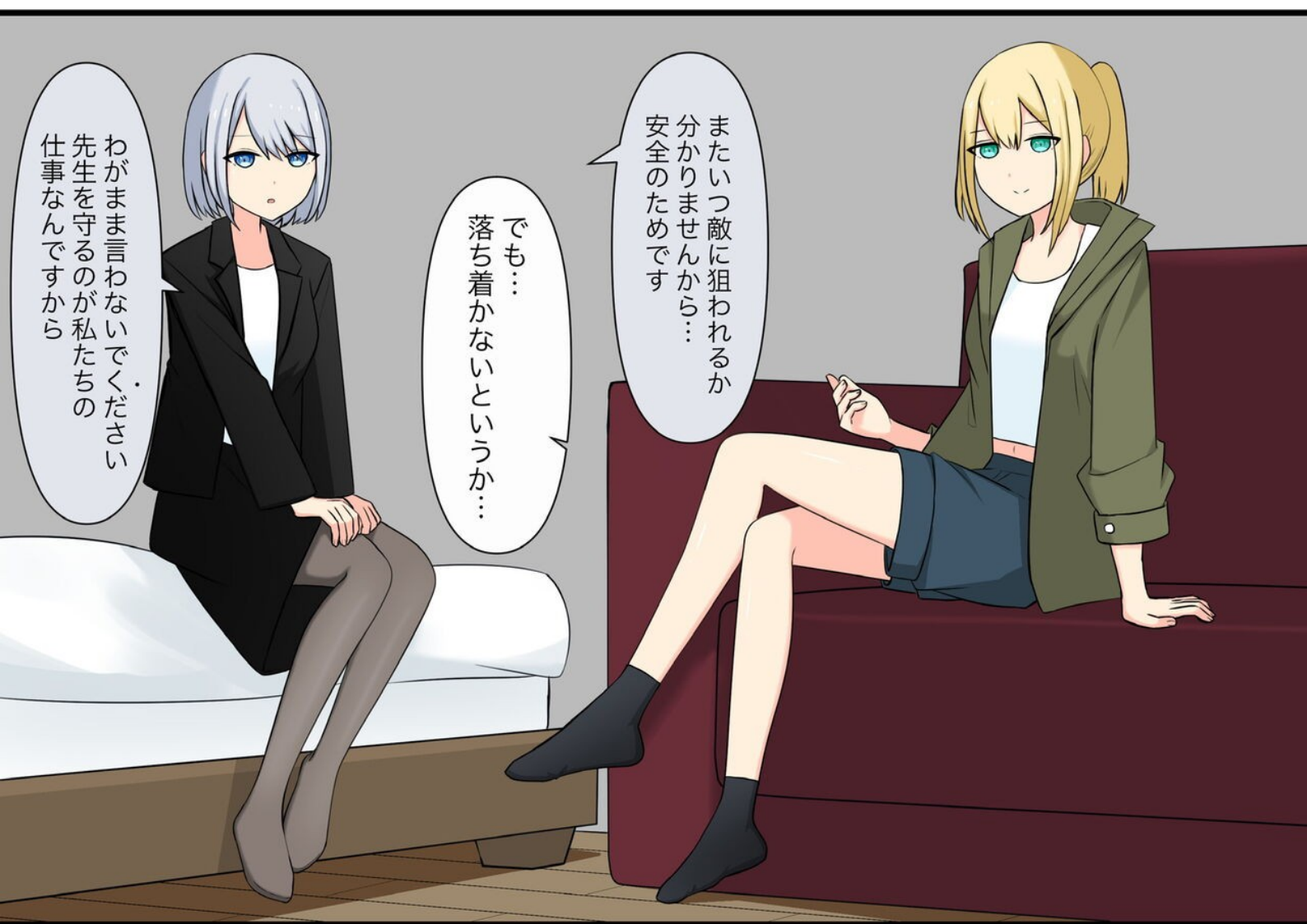
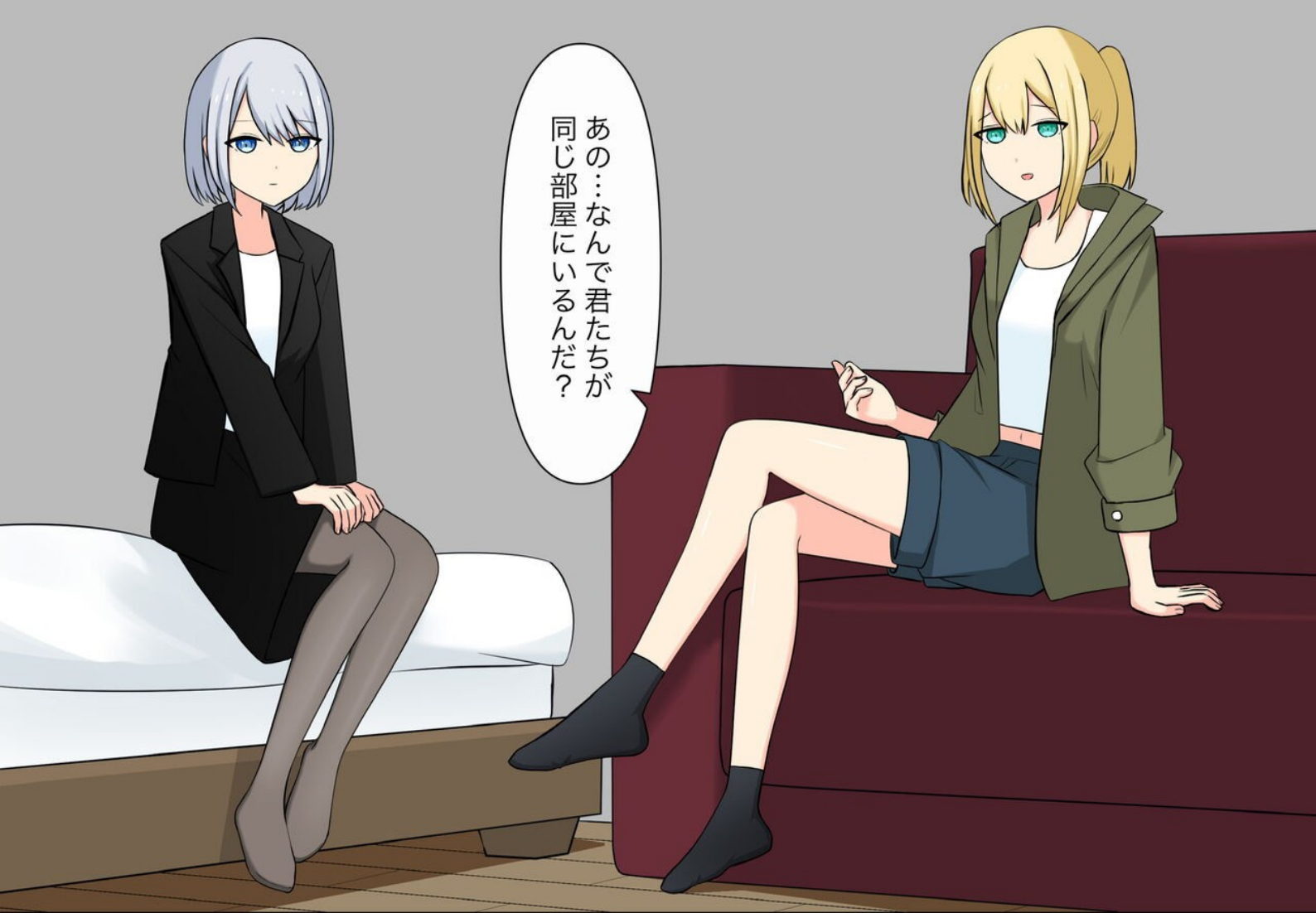
ゴッ...

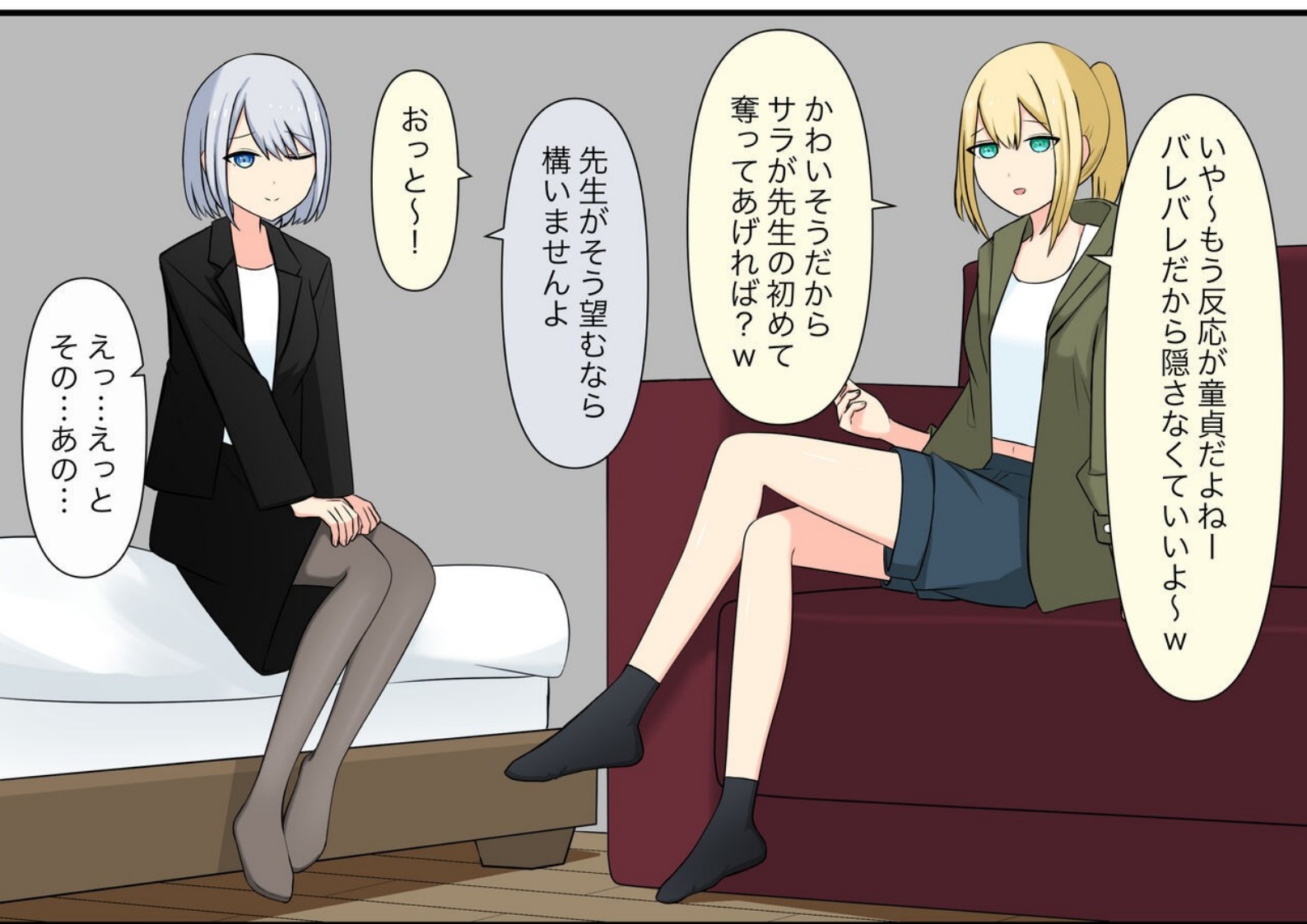
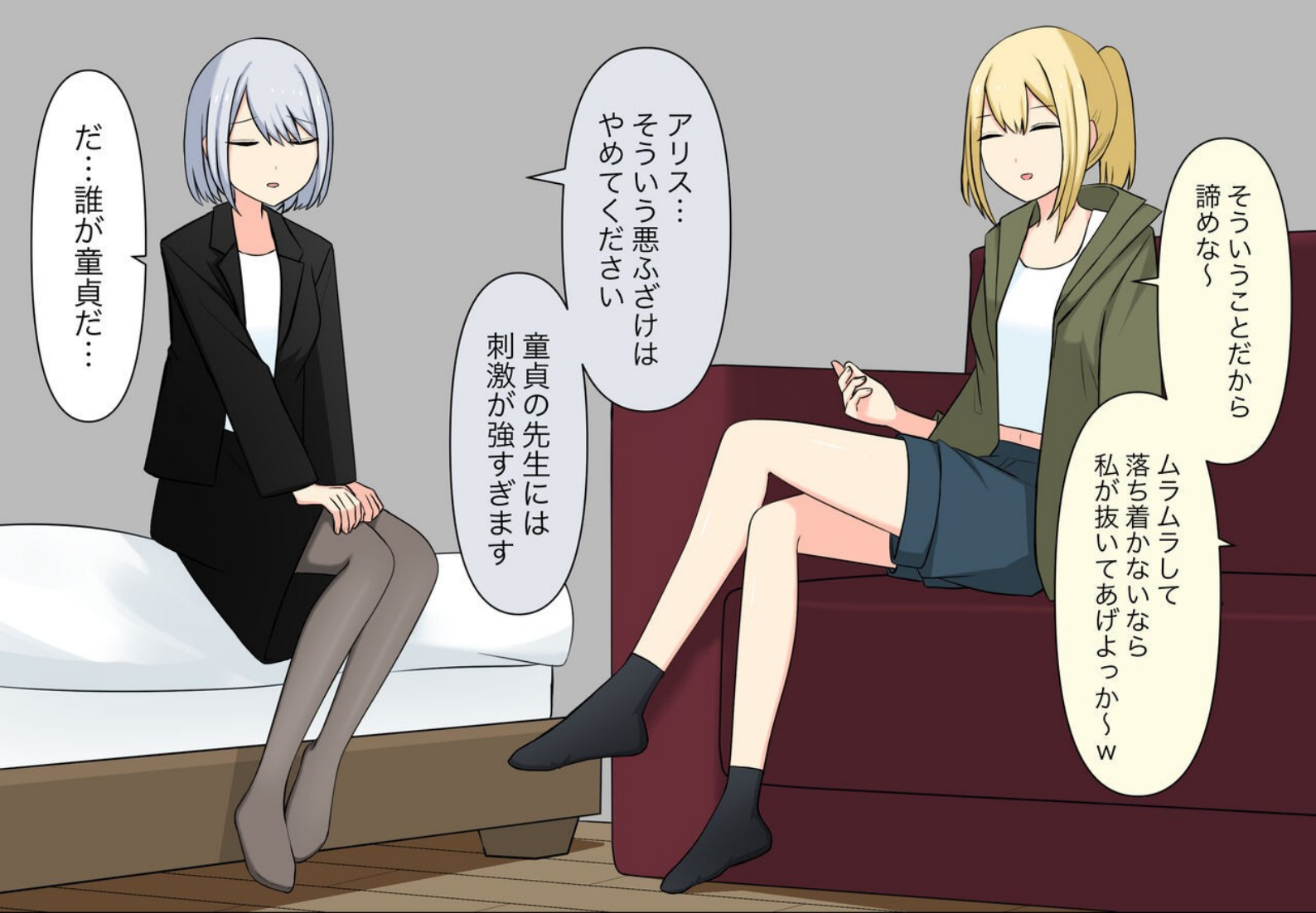
ゴッ...

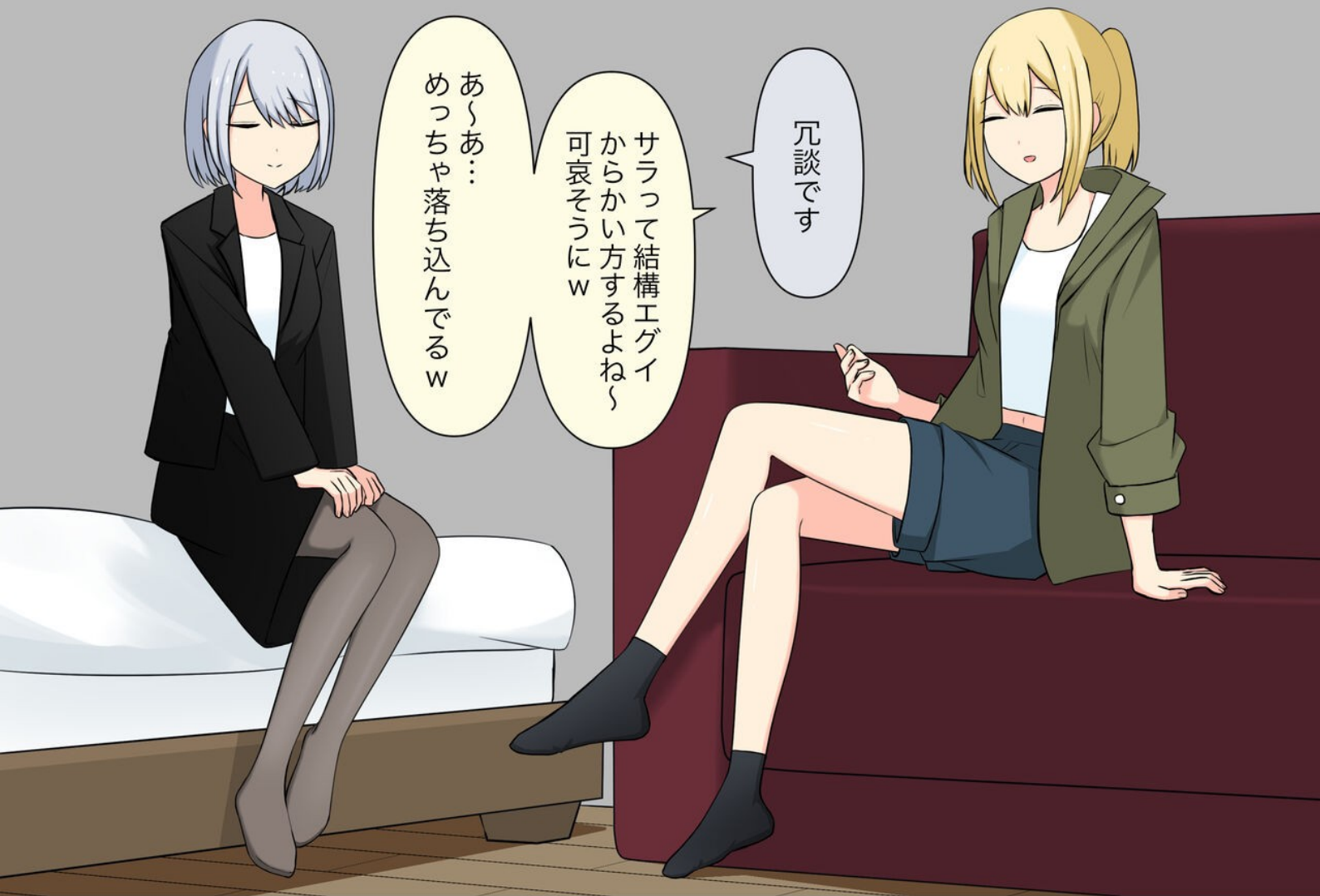








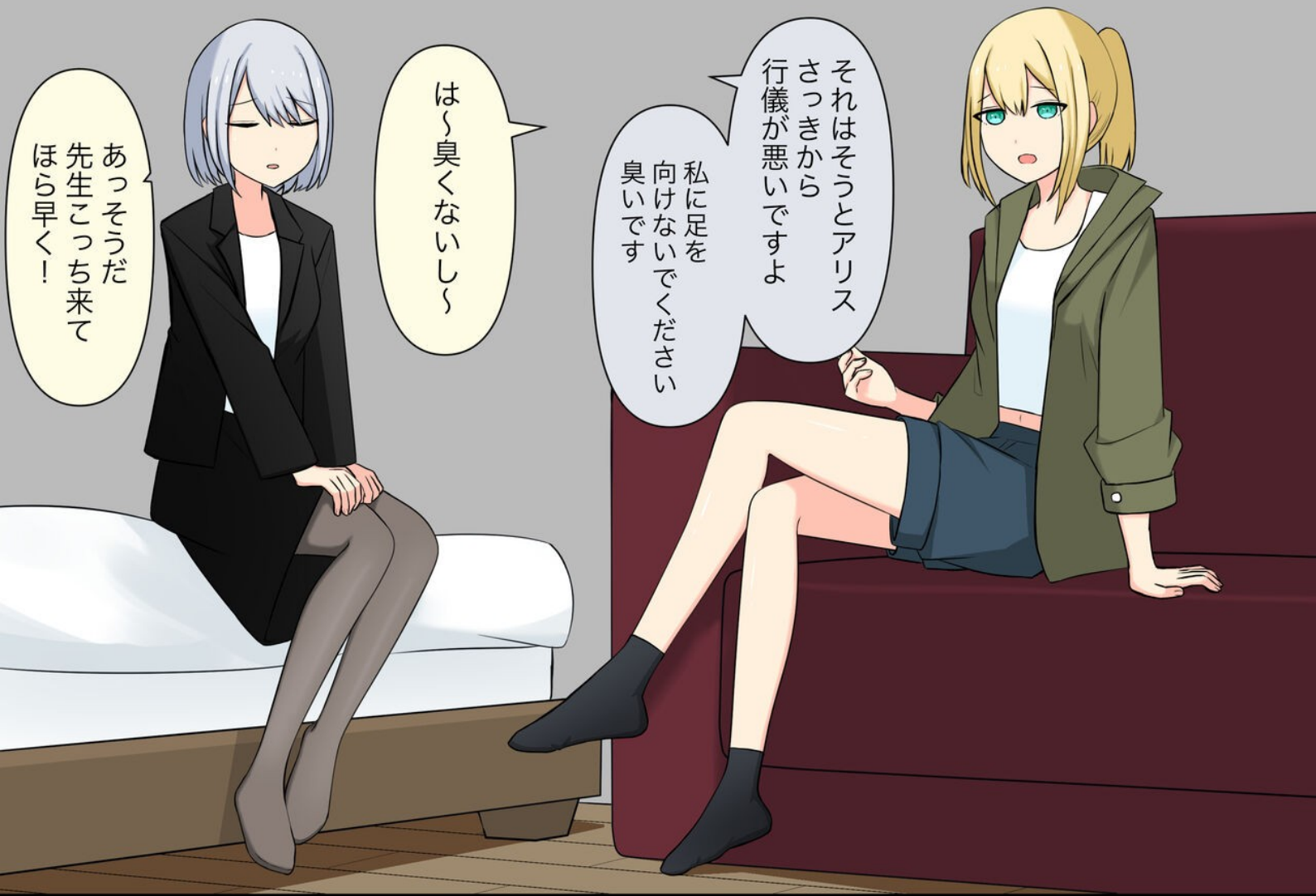




冗談です

サラって結構エグイ
からかい方するよね〜
可哀そうにw

あゝあゝ
めっちゃ落ち込んでるw



それはそうとアリス
さっきから
行儀が悪いですよ

私に足を
向けないでください
臭いです

はゝ臭くないしゝ

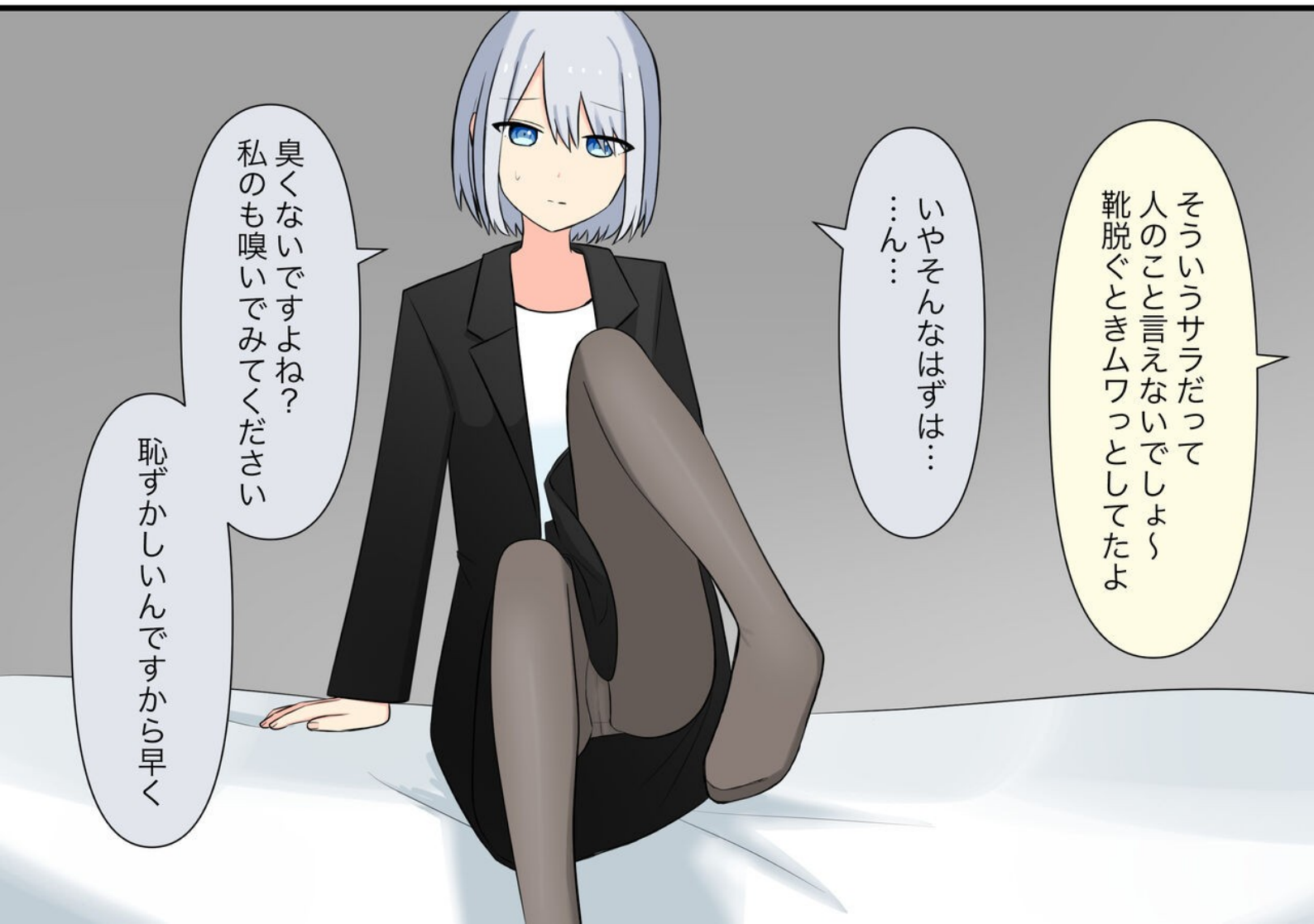
あっそうだ
先生こっち来て
ほら早く！



はい、私の足嗅いでみて〜
臭くないよね?ね?

えっと…うッ

あまりの臭さに
倒れそうになってる
じゃないですか



そういうサラだって
人のこと言えないでしょ〜
靴脱ぐときムワっとしてたよ

いやそんなはずは…
…ん…

臭くないですよね?
私のも嗅いでみてください

恥ずかしいんですから早く



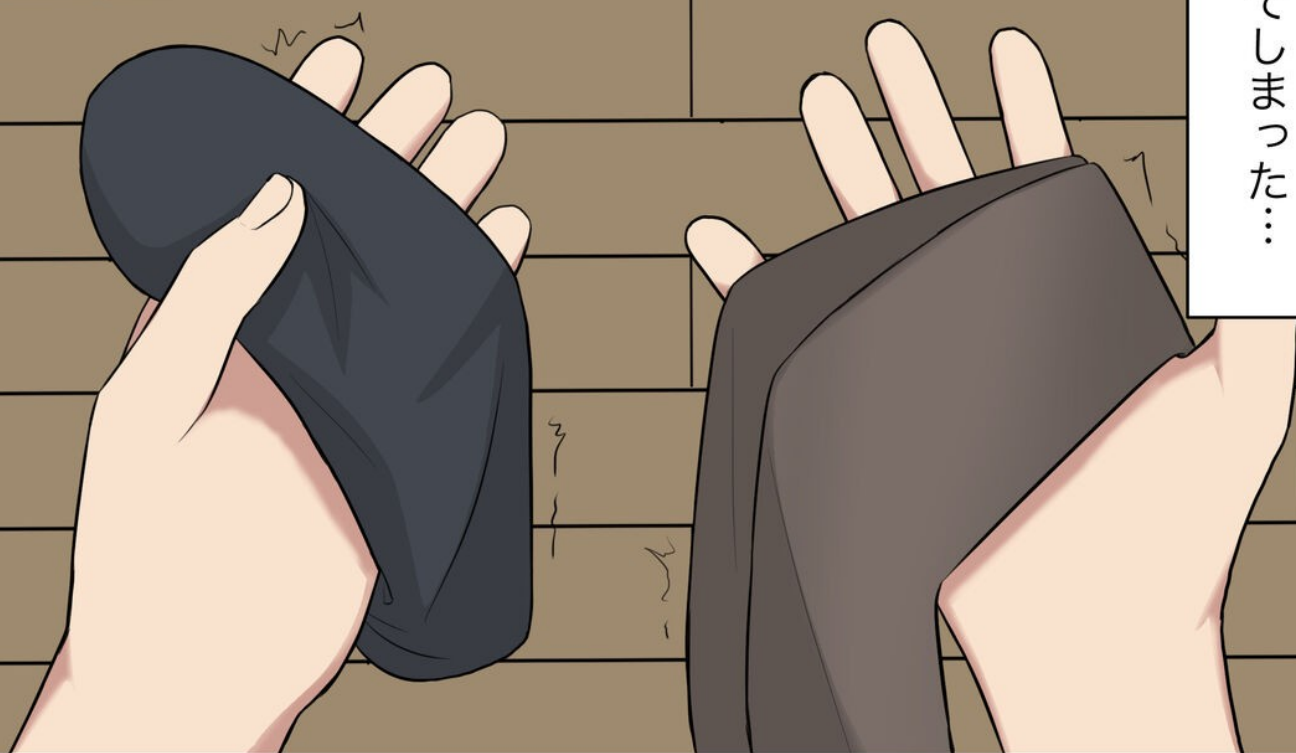


まずい：勃起が止まらない
あんなに臭いのになんで
興奮が止まらないんだ：

もっと嗅ぎたい：
2人の綺麗な足を包んでいた
ストッキングと靴下：

いやいやっ何を考えているんだ
：でも我慢できない！

脱衣所から
持ってきてしまった…



これが2人の脱ぎたての…

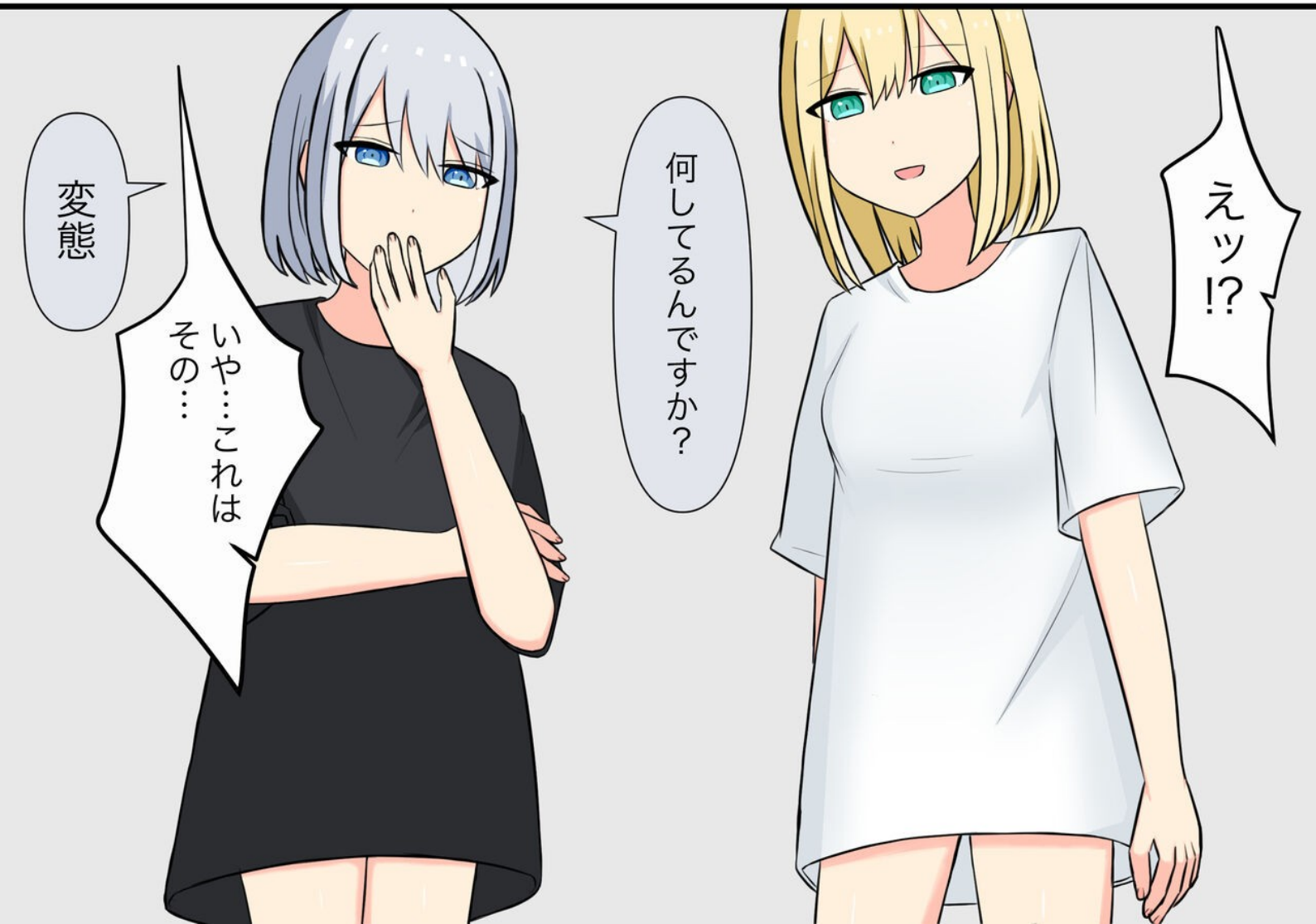
すごい…
臭くてクラッと来る…





へ〜どうも行くの？

うう…
サラ…アリス…
イクツツ!!



変態

いや…これは
その…

何してるんですか？

えッ!?

うわゝ私たちの
靴下で興奮してたの？
キツモゝ

人のもの盗んで
こんなことするなんて
最低ですね：見損ないました

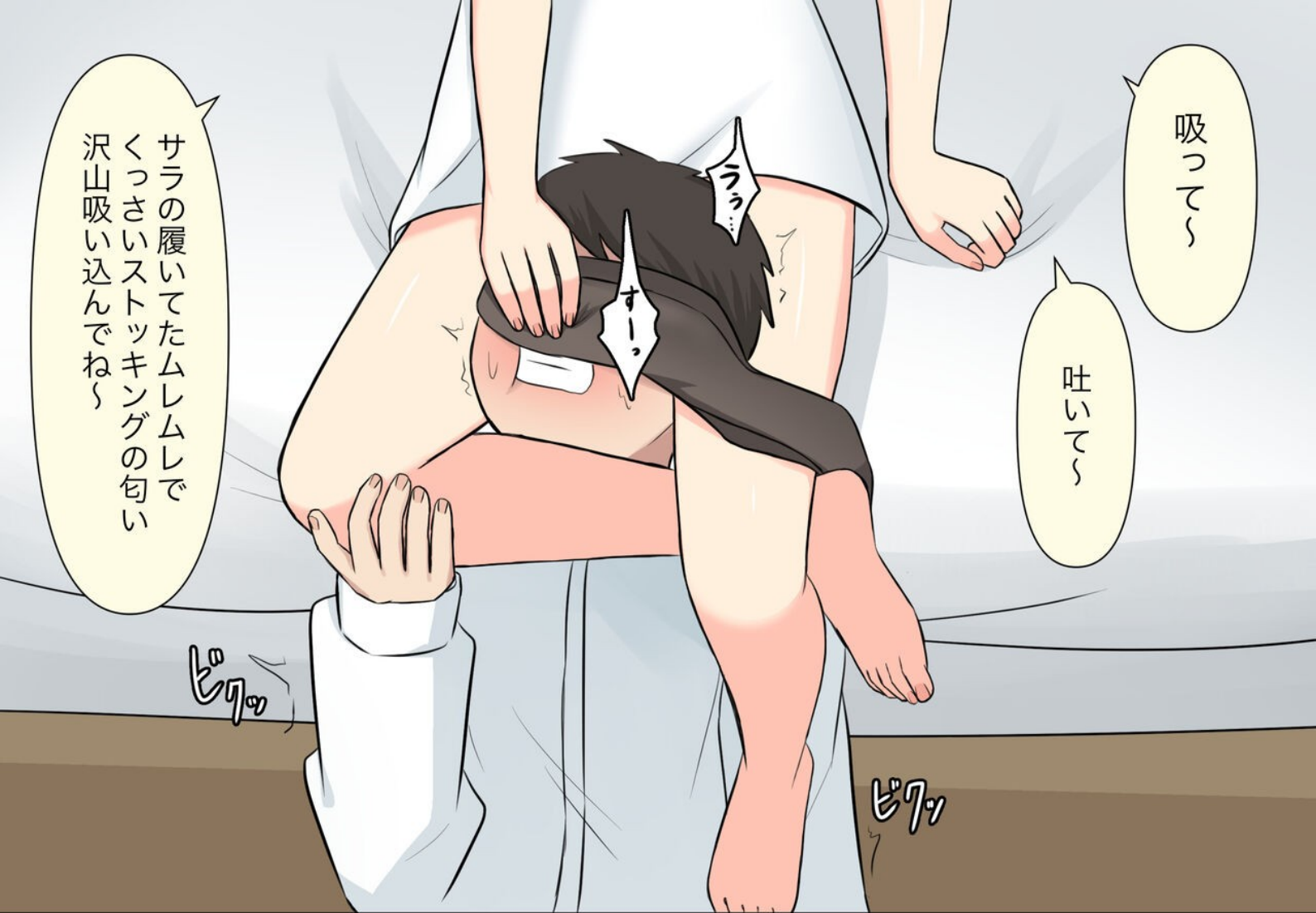
ごめんなさい：これはその：
我慢できなくて
本当はこんな趣味ないんだけど：
魔がさしたというか：
自分でもよくわからないというか

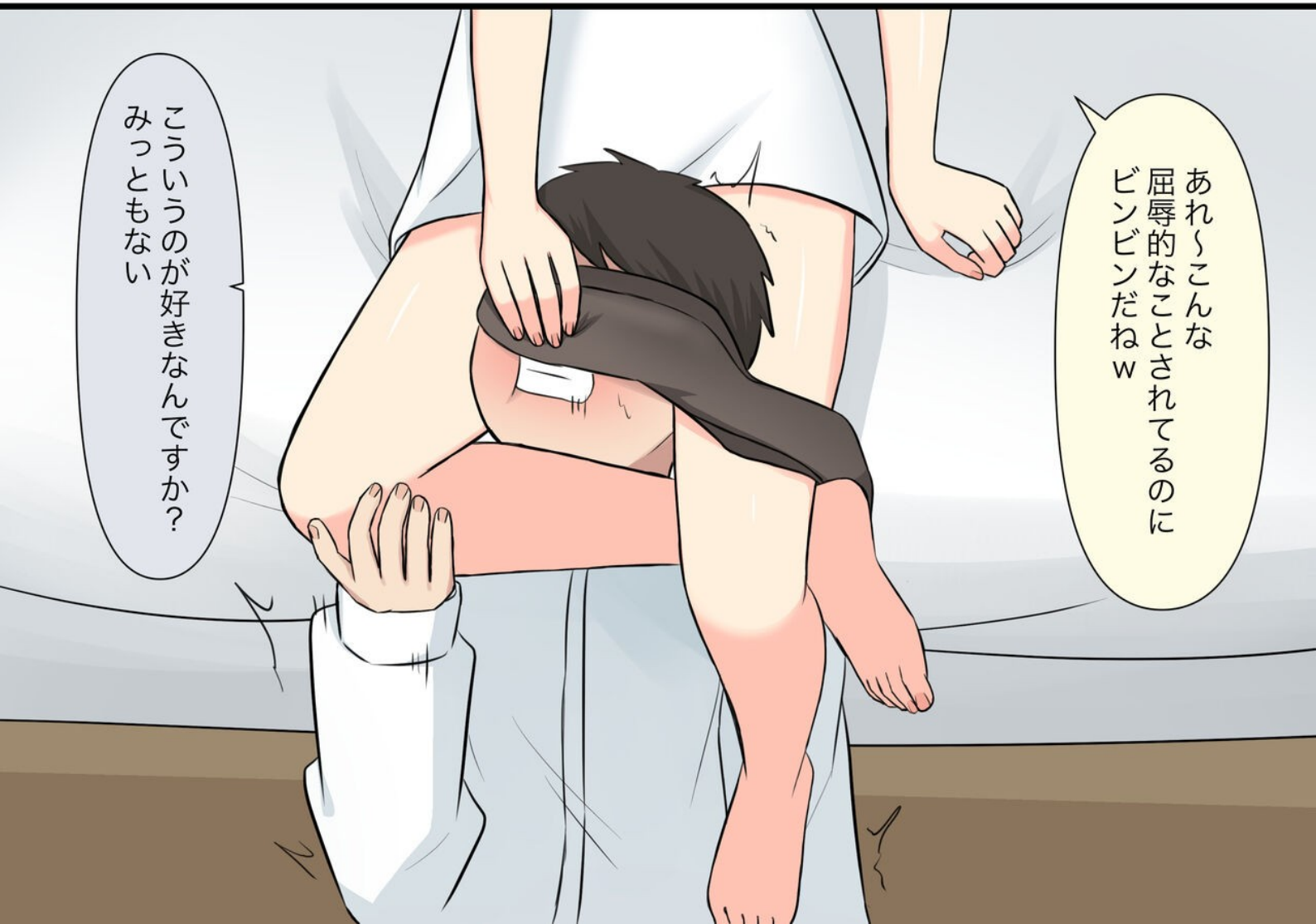
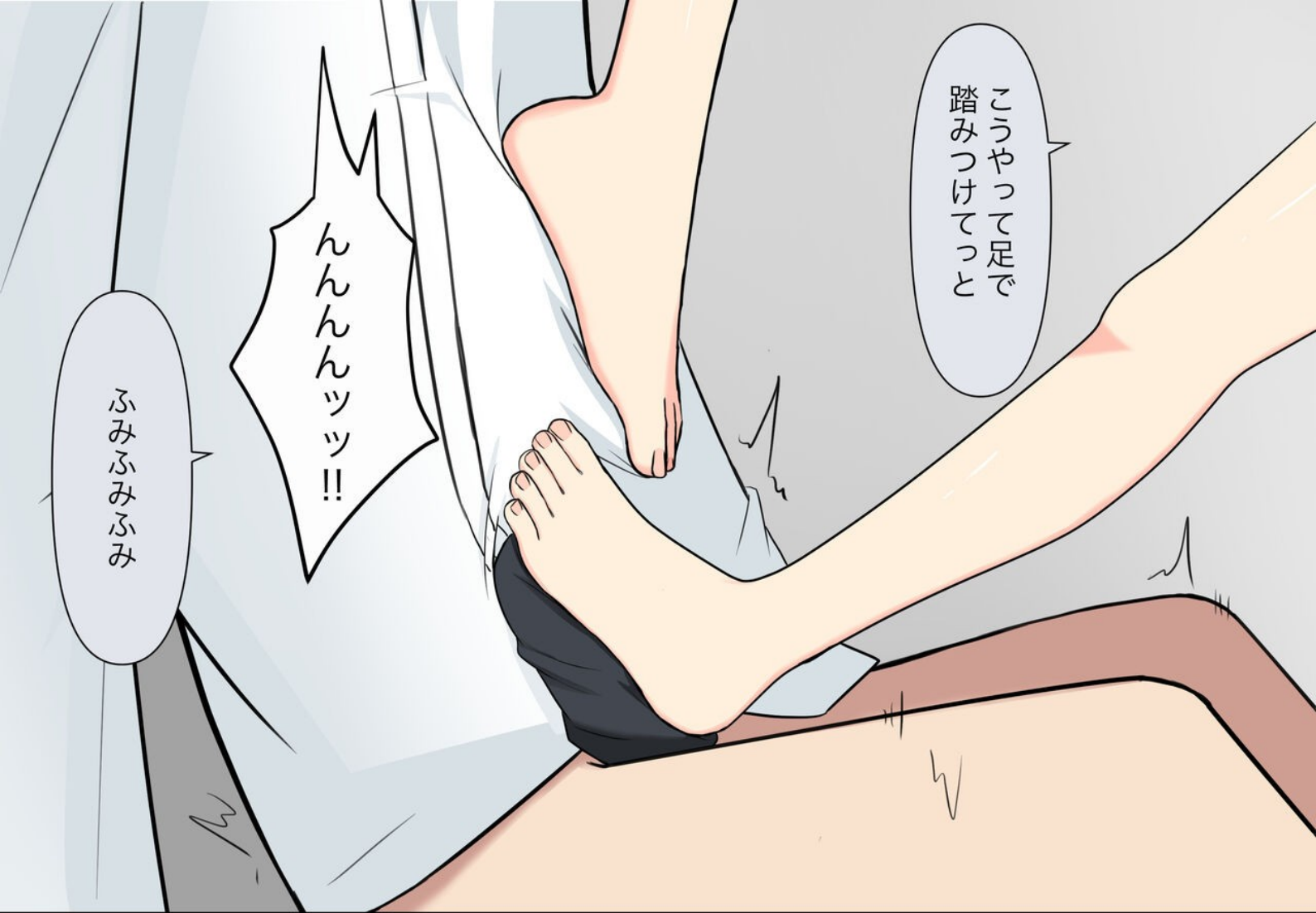
どうするゝ？

そもそもアリスがあんなもの
嗅がせたのが悪いんですよ
あれで頭おかしく
なっちゃったんじゃないですか？

もう目がイっちゃってますね：
これは一回抜いてあげないと
収まりそうもありません

えゝ私のせいゝ？
仕方ないなゝ
やってやるかゝ

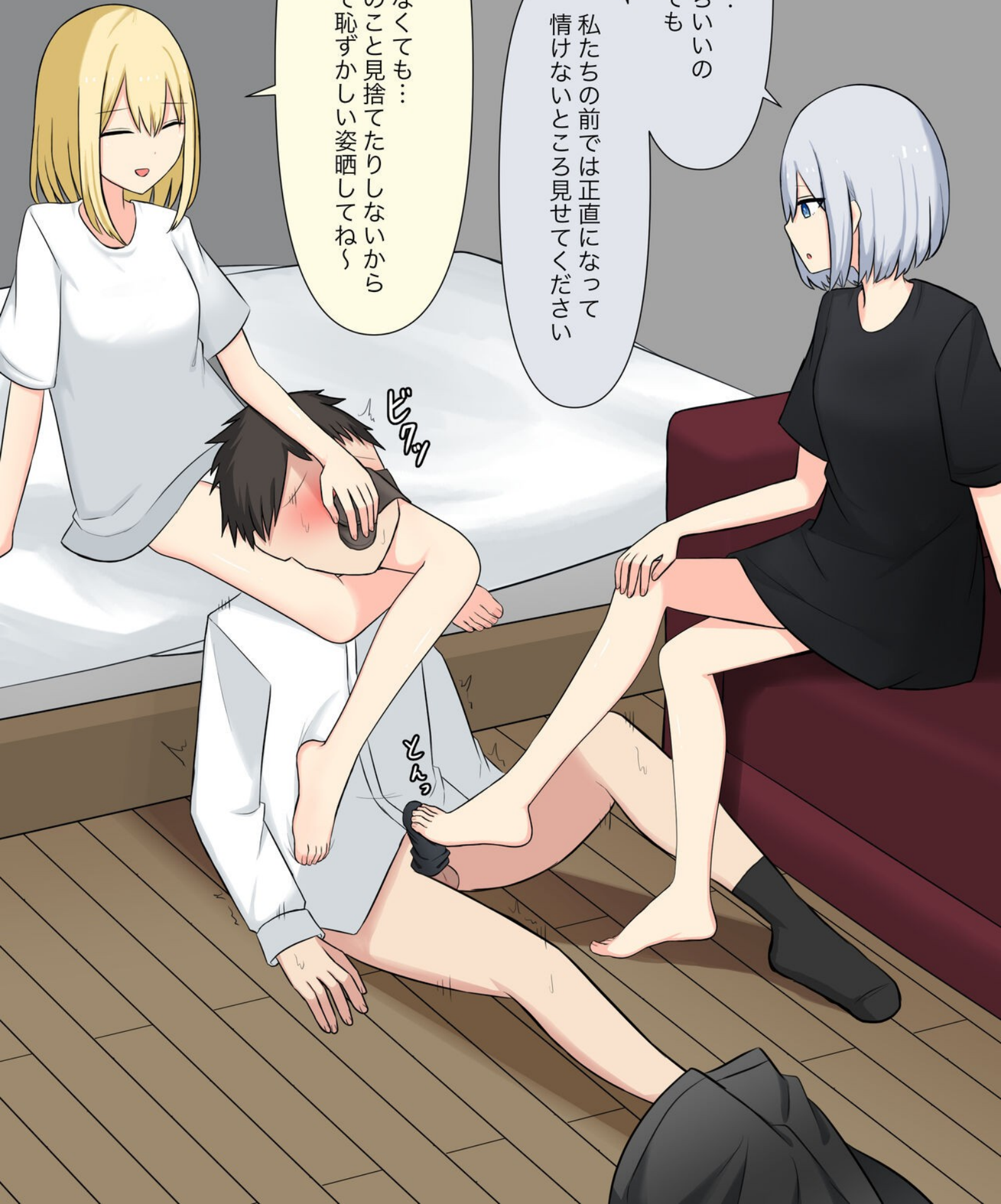




いいですよ…
必死に気持ちいいの
我慢しなくても

私たちの前では正直になって
情けないところ見せてください

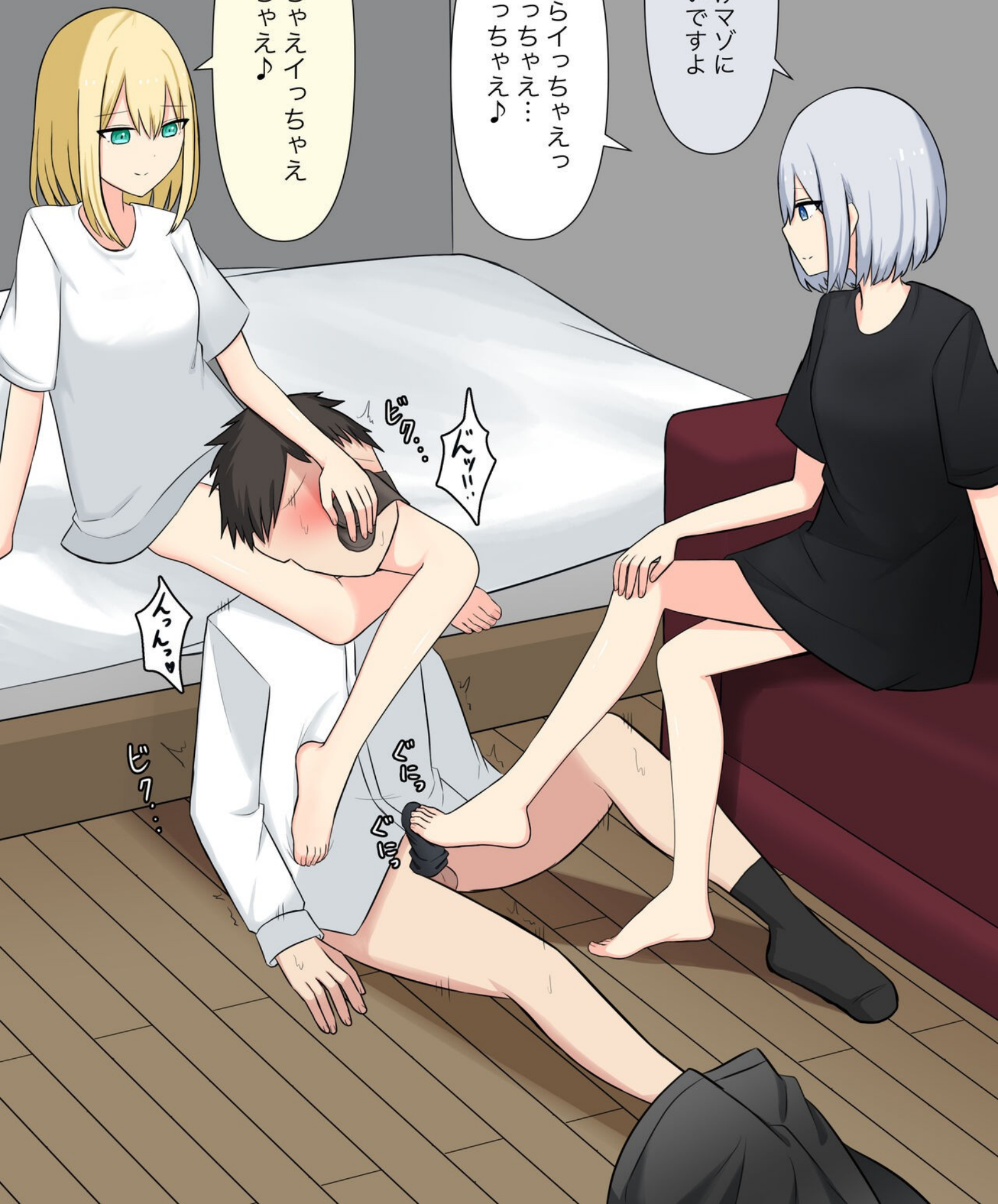
どんなに情けなくても…
私たちは先生のこと見捨てたりしないから
思う存分悶えて恥ずかしい姿晒してね



好きなだけマゾに
堕ちていいですよ

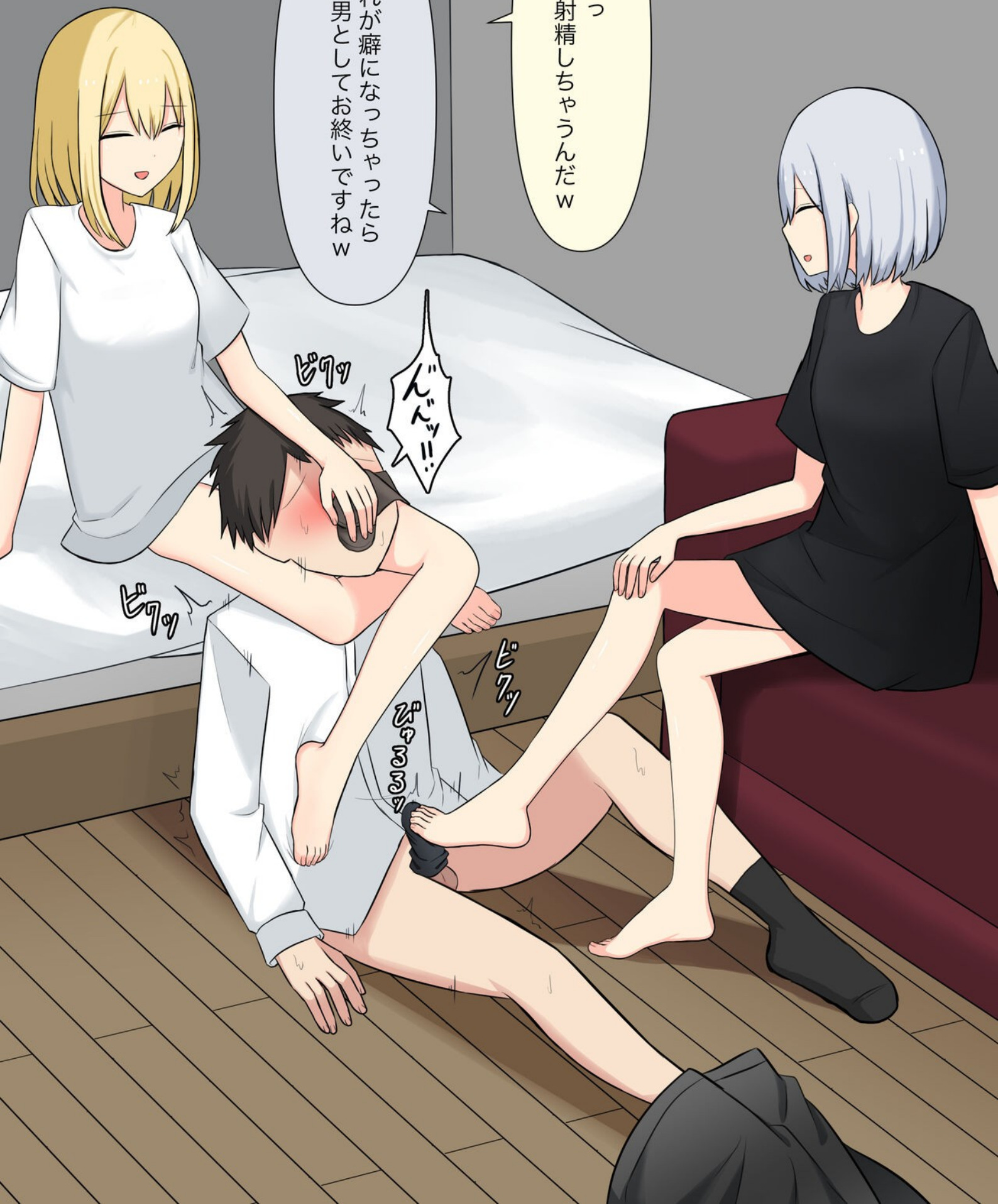
ほらイっちゃえっ
イっちゃえ…
イっちゃえ♪

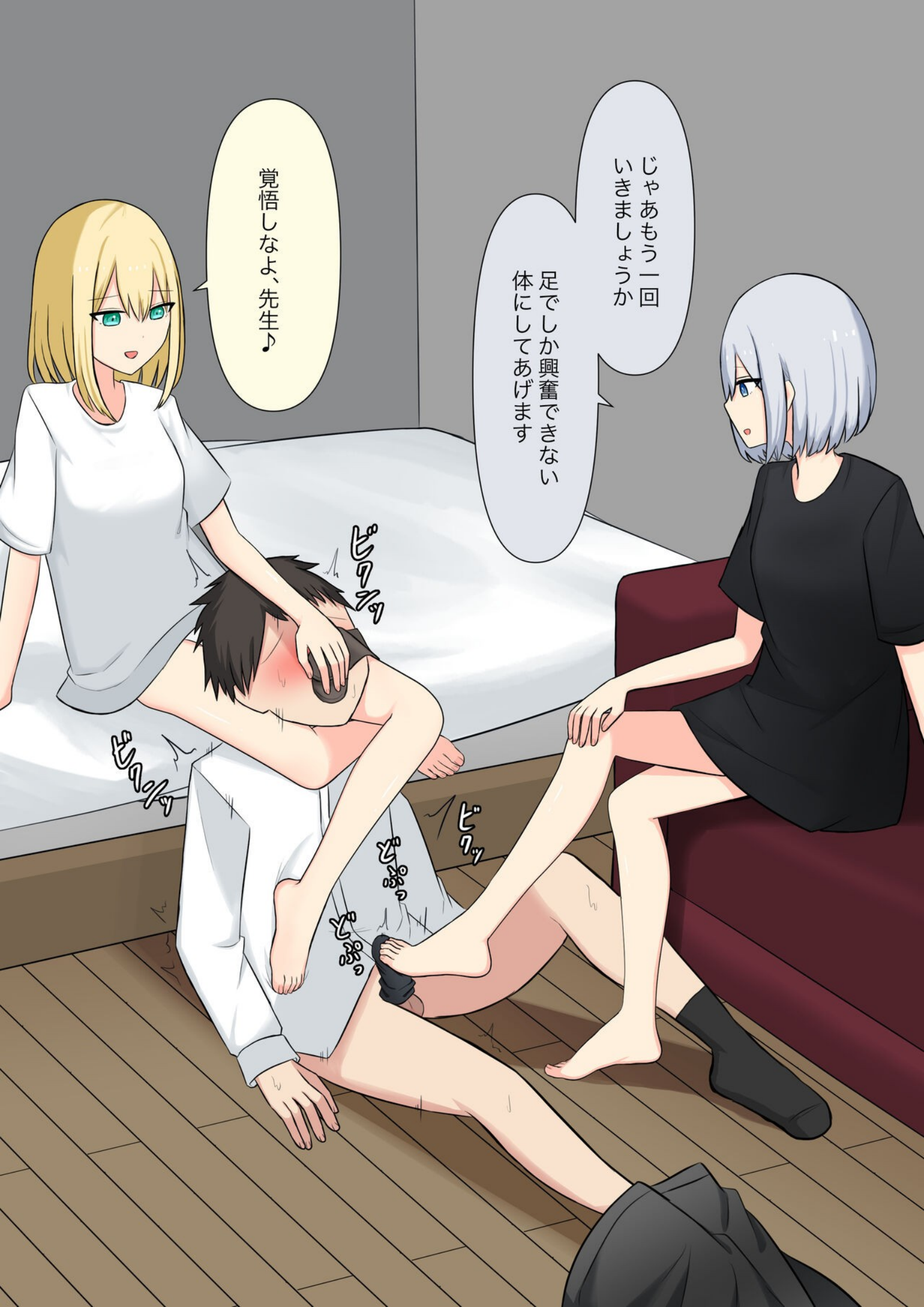
イっちゃえイっちゃえ
イっちゃえ♪



あははははっ
こんなんで射精しちゃうんだw

これが癖になっちゃったら
もう男としてお終いですねw





覚悟しなよ、先生♪

じゃあもう一回
いきましようか

足でしか興奮できない
体にしてあげます

びりり

びりり

びりり

びりり
びりり



歴史的な瞬間を目前に控え
巷はこの話題で盛り上がっています

夢の新エネルギーが実現？



わが国で世界初の実証実験。空間にわずかな
歪みが発生させ別次元から新エネルギーを取り出すこの技術は...

初の新エネルギー生成装置の
実証試験を行うため
私たちは先生の故郷の国に来ました

Ｑ #新エネルギー

いつも動きの遅い我が国が
こんなに早く動くとは

最近電気代高すぎだから早く実用化して欲しい

なんか急すぎない？
もう少し安全性を確かめてからの方が...

既得権益乙!もう石油はただのゴミw
これからは新エネルギーの時代! 今時お湯沸かして
タービン回す発電とか時代遅れだよw

専門家じゃないからわからないけど
なんか危なそう...

あの博士は天才過ぎる

未知の物質ということは
つまりよくわからない物質ということですね。

新エネルギーには発がん性物質が!
今すぐ規制しろ!

そうやってすぐ規制とか言い出すから
いつも他国に先を越されるんだぞ

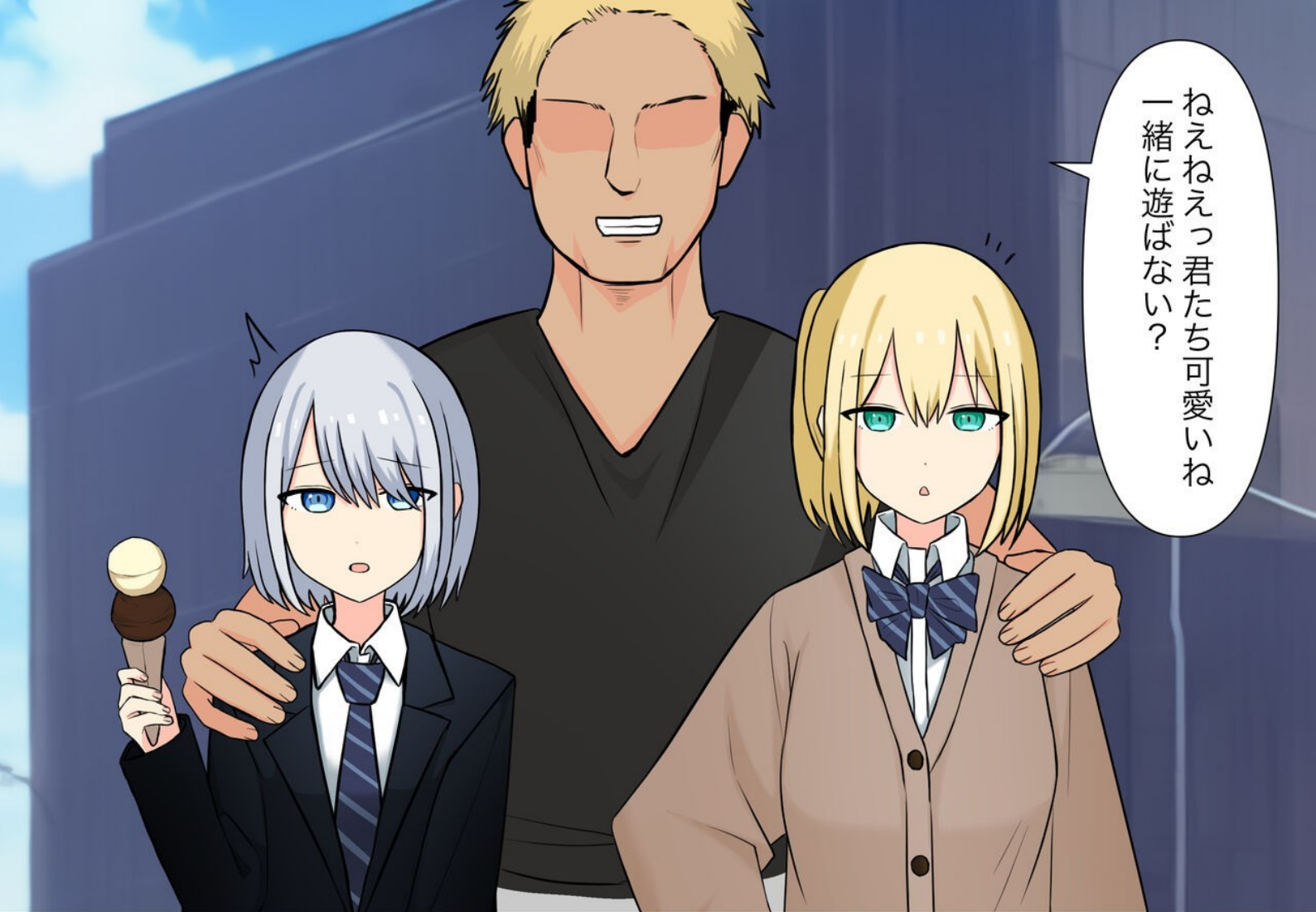
ねぇどうこれ？制服似合う？
一回着て見たかったんだよね

はあ…なんで私まで
着なきゃいけないんですか…

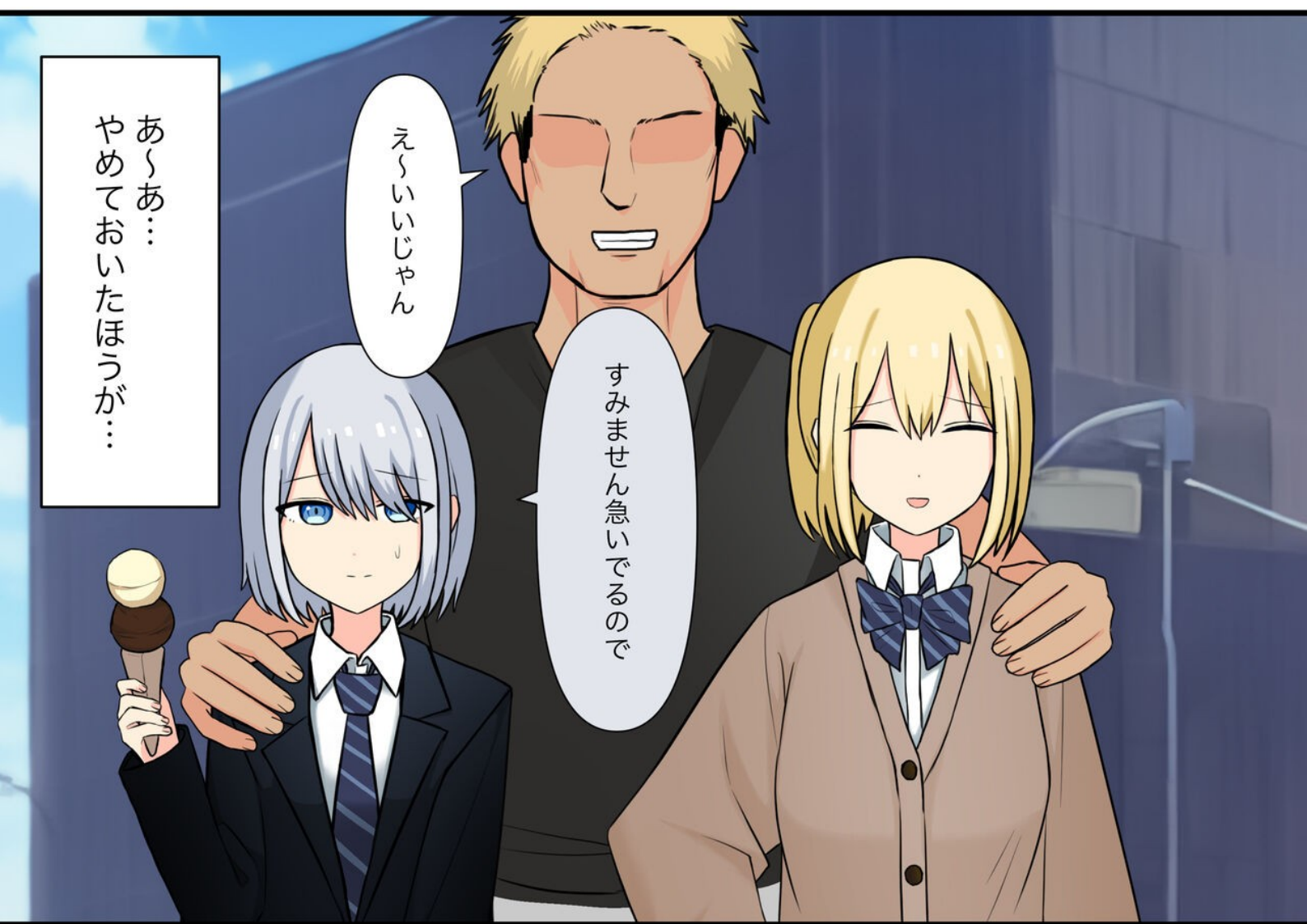
二人とも
よく似合うよ

まあ…ならいいか





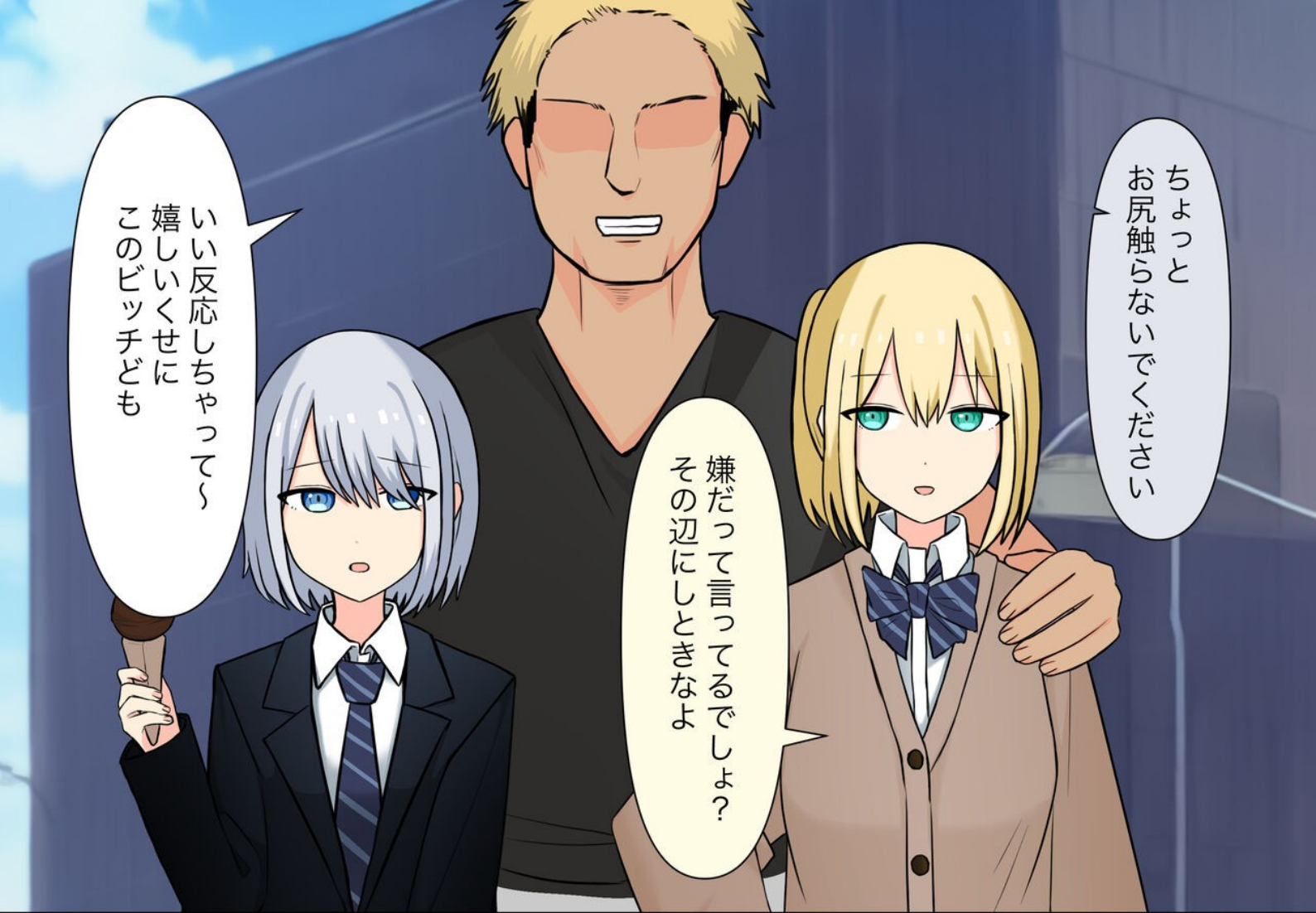
ねえねえっ君たち可愛いね
一緒に遊ばない？



あ〜あ...
やめておいたほうが...

え〜いいじゃん

すみません急いでの





あゝあゝ
しーらない

せっかく長い間
並んで買ったのに…



そんなの
どうだって
いいだろ？
それより…



それはこっちの台詞です
この股間についてるものが悪いんですか？
踏み潰してあげましょうか？

ぎゃああ
やめろおツ

ギゃ~~~~

やめろ？なにその態度？
潰されたいの？

ガクッ

やめてくださいッ
俺が悪かったです
許してください

じゃあそこに
土下座

ぐりッ

ぐりッ

はッはい…

ビクッ

ビクッ



ほら…さっさと舐めろ〜

もっと頭を地面につけないと舐められないぞ〜

おごツツ!!

ぐいっ

びちゃッ





ぐすぐす

けうけう

うッ...

ぐりッ

ぐりッ

れろれろ...

うッ...

れろれろ...

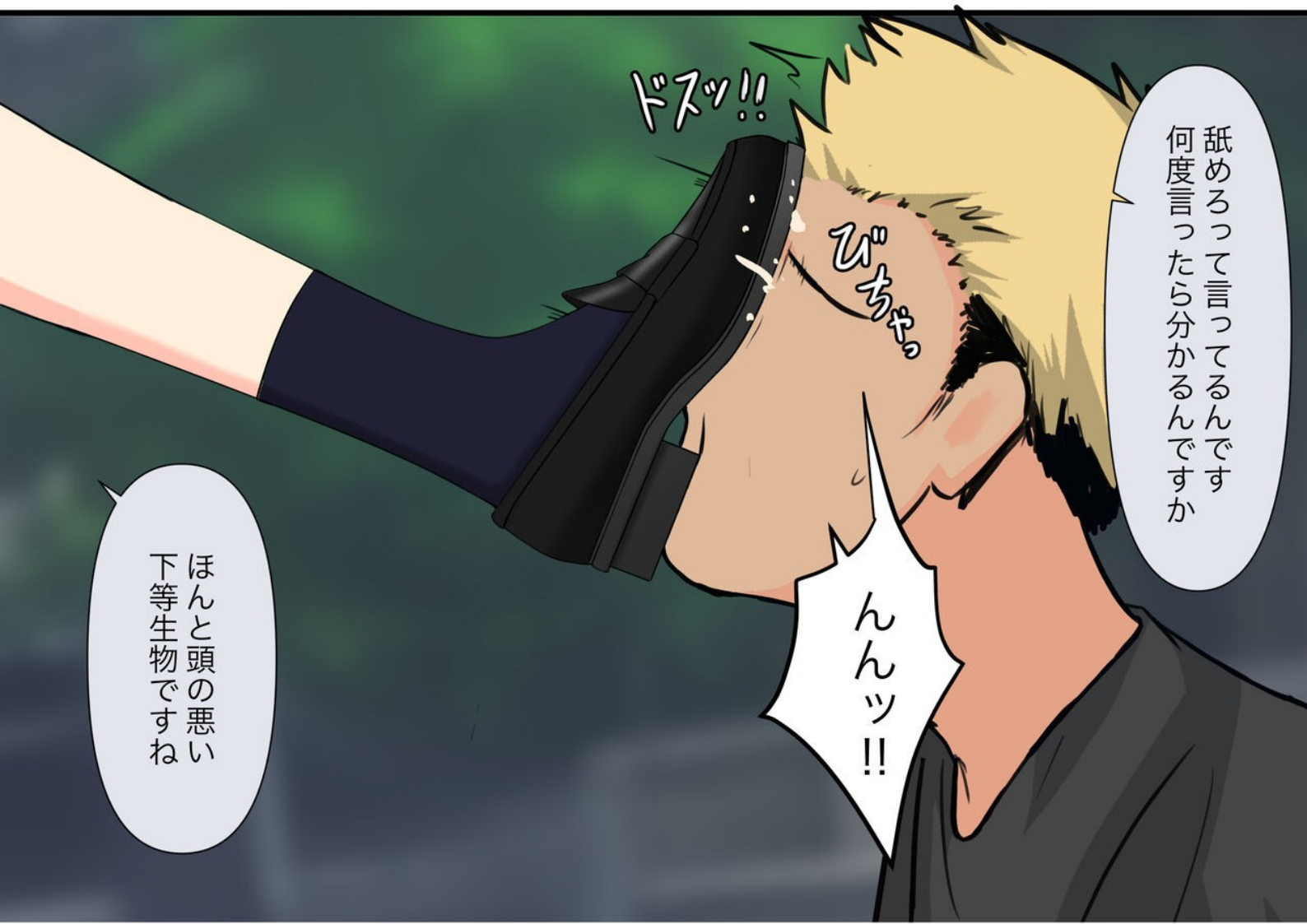
うッ...





はーん

えっと…
それは流石に



ドスツ!!

びちゃっ

んんツ!!

舐めろって言うてるんです
何度言ったら分かるんですか

ほんと頭の悪い
下等生物ですね

ははは
めっちゃビビってるw

あんなに偉そうにしてたのに
女のいいなりになって
靴底舐めちゃうんだw

ビクビク...

隙間に入った分も
しっかり舐めるんですよ





はッはいッ

返事は?

綺麗にさせて
頂きますッ!!

バキッ!!



今のは理不尽だ…

なんで!?

ふーん

バキッ!!



じゃあこれで
今回は許してあげます

二度とセクハラしないでくださいね
次は容赦なく潰しますから

じゃあねー
これに懲りたら
いい子にしてるんだぞー



昼のあいつ
サラに蹴られてビクビクしてるの
めっちゃ面白かったw

それに…誰かさんも
それ見て興奮してたしねw

はい…誰かさんがずっと
私の足を見てましたね

ね、先生？
バレバレですよ

あれからすっかり
足が大好きになっちゃたんだね

どうする？
また足でいじめられたいの？

そ…
そんなんじゃ…

あはは…口で否定してても
表情で期待してるの
バレバレなんだよねw

ほんとわかりやすいな



ほらずっと見てた
女の子のおみ足だぞ
踏まれるの妄想して
興奮してたんでしょ？

くっ♡

ビクッ

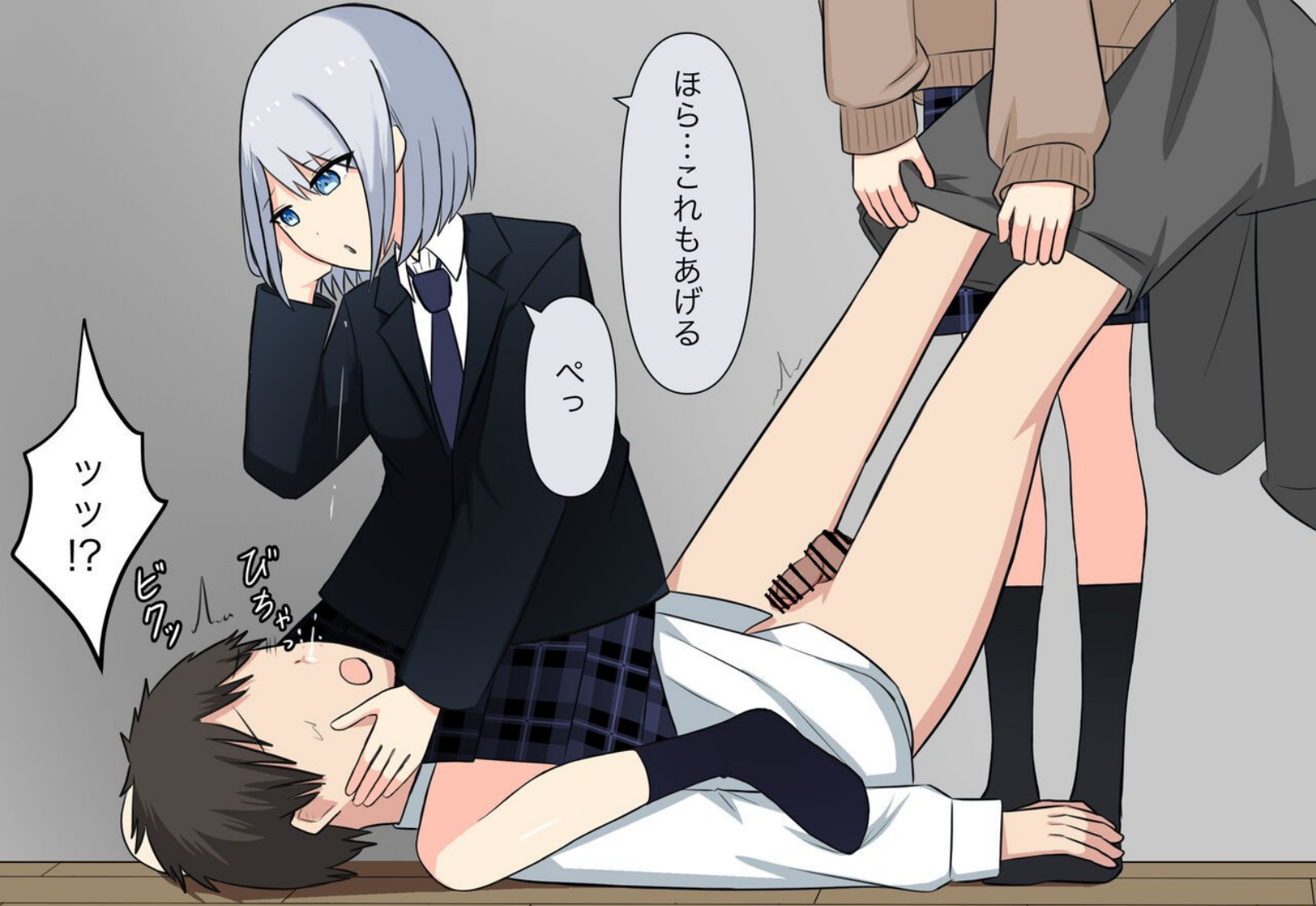
こうされたかったんだよね？
ねえねえw

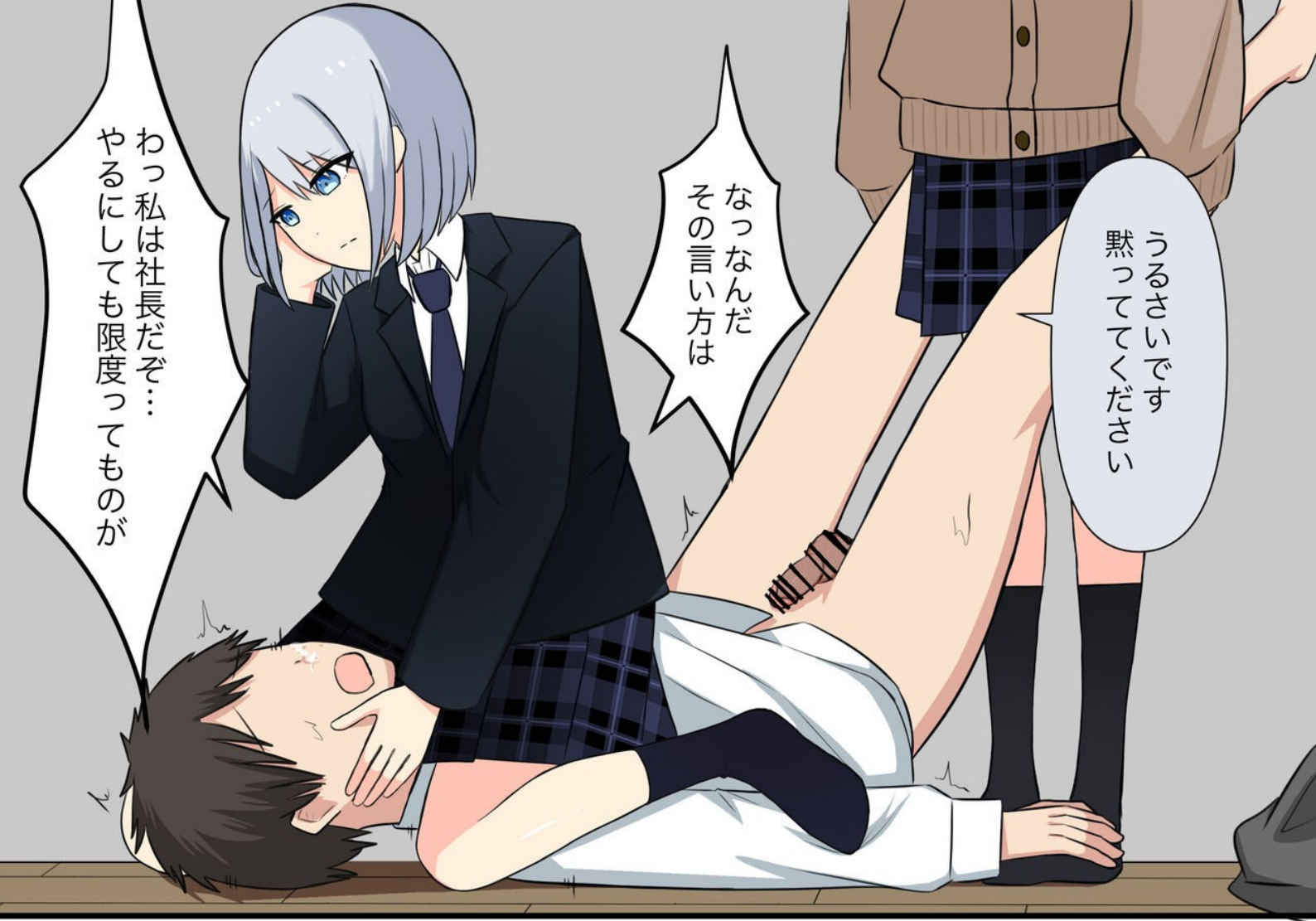
脚で顔を
挟んであげますね

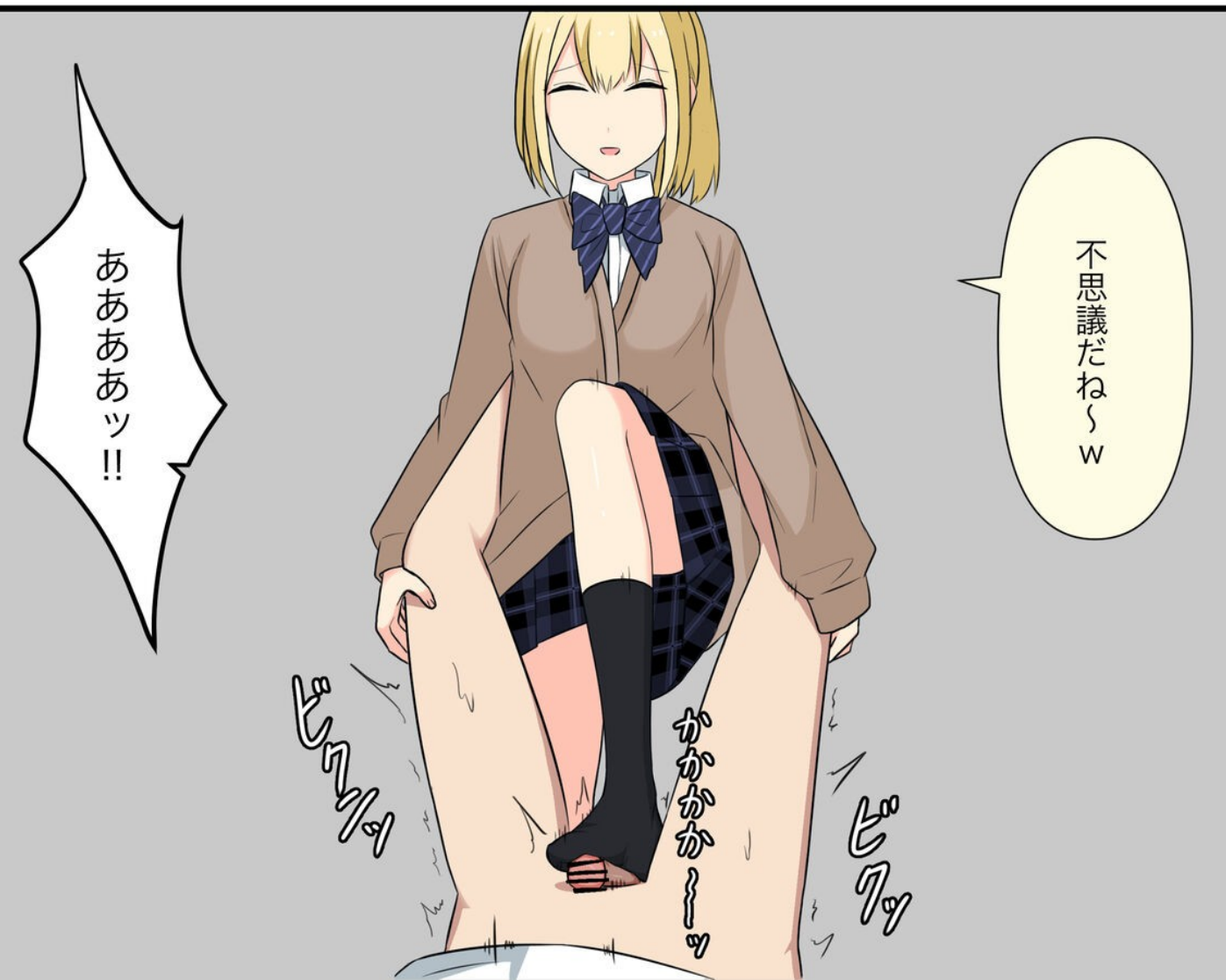
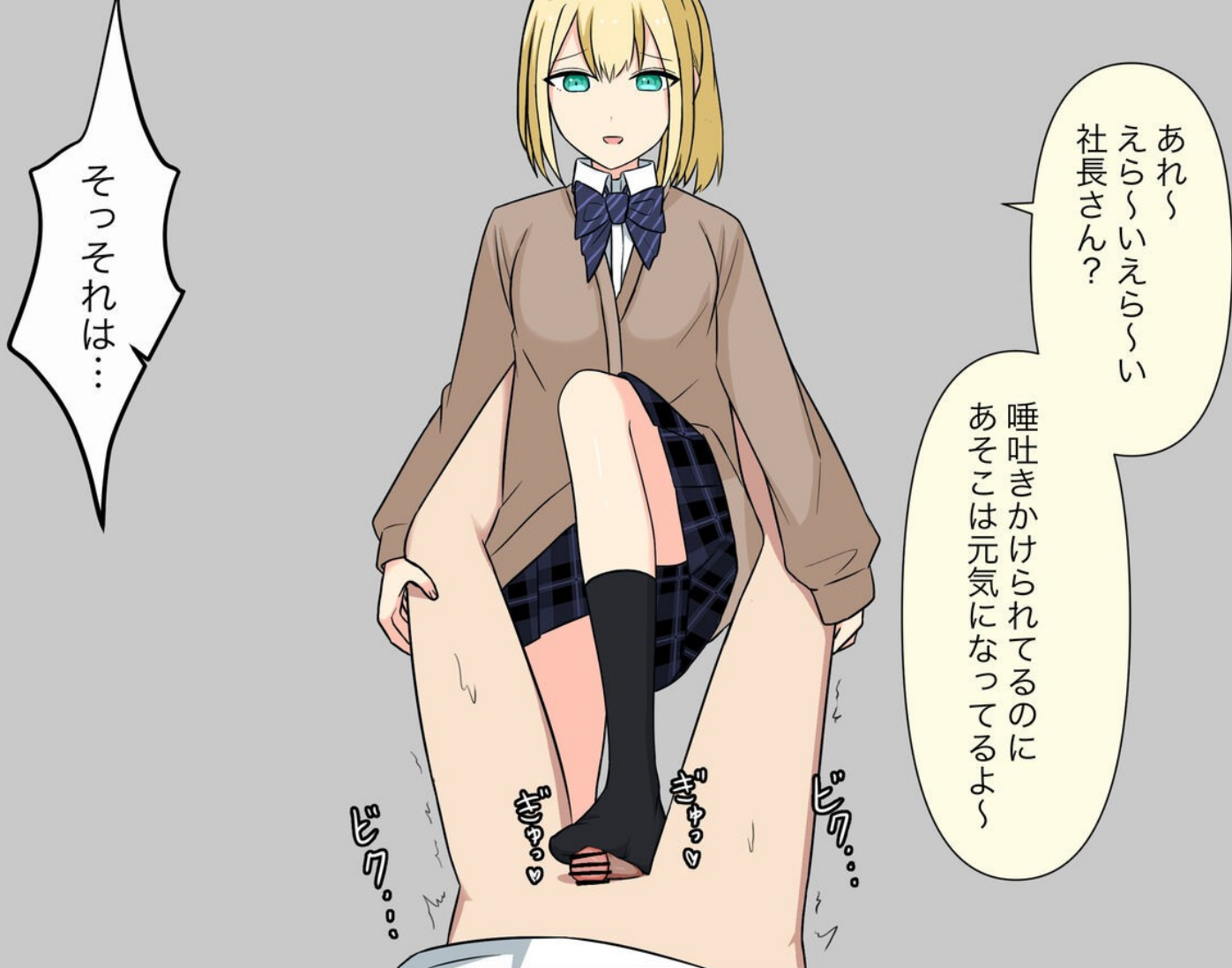
ビクッ

ぶちゅ〜

ぶちゅって潰れちゃって
面白い顔になってますよw







うっわ…気持ち悪い…
嫌がるふりして
喜んでるんじゃないですか

あれ？やっていいことと
悪いことがうでしたっけ？

変態のくせに常識人ぶって
お説教とか生意気なんですよ
お仕置きが必要ですね

はぁ…
はぁ…



どうですか？私の唾のお味は？
美味しいですか？顔が赤くなっていますよ

ぺっ

ぺっ

ぺっ

おぉッ!!

びちゃっ

ビクッ

ぎゅっ
ぎゅっ

ビクッ

ぎゅっ

ビクッ



足を押し返すほどガチガチになってるの
ウケるんだけどwどんだけ興奮してんのw

いくら勃起したところで
私の足に踏み潰される
だけなんだけどね

こんなに勃ってるのに
セックスさせてもらえなくてかわいそ
でも童貞くんにはこれがお似合いだよw

おギョ!!

びちゃっ

ビクビク

ビクビク

かかかか

ビクビク



ねえ：謝ってください
生意気なことを言ってしまった
申し訳ございませんでしたって

なっなんで
そんなことッ
ああッ♡

は？

…!!いやッ
その…ごめんなさいッ

おびッ!!

びちゃっ

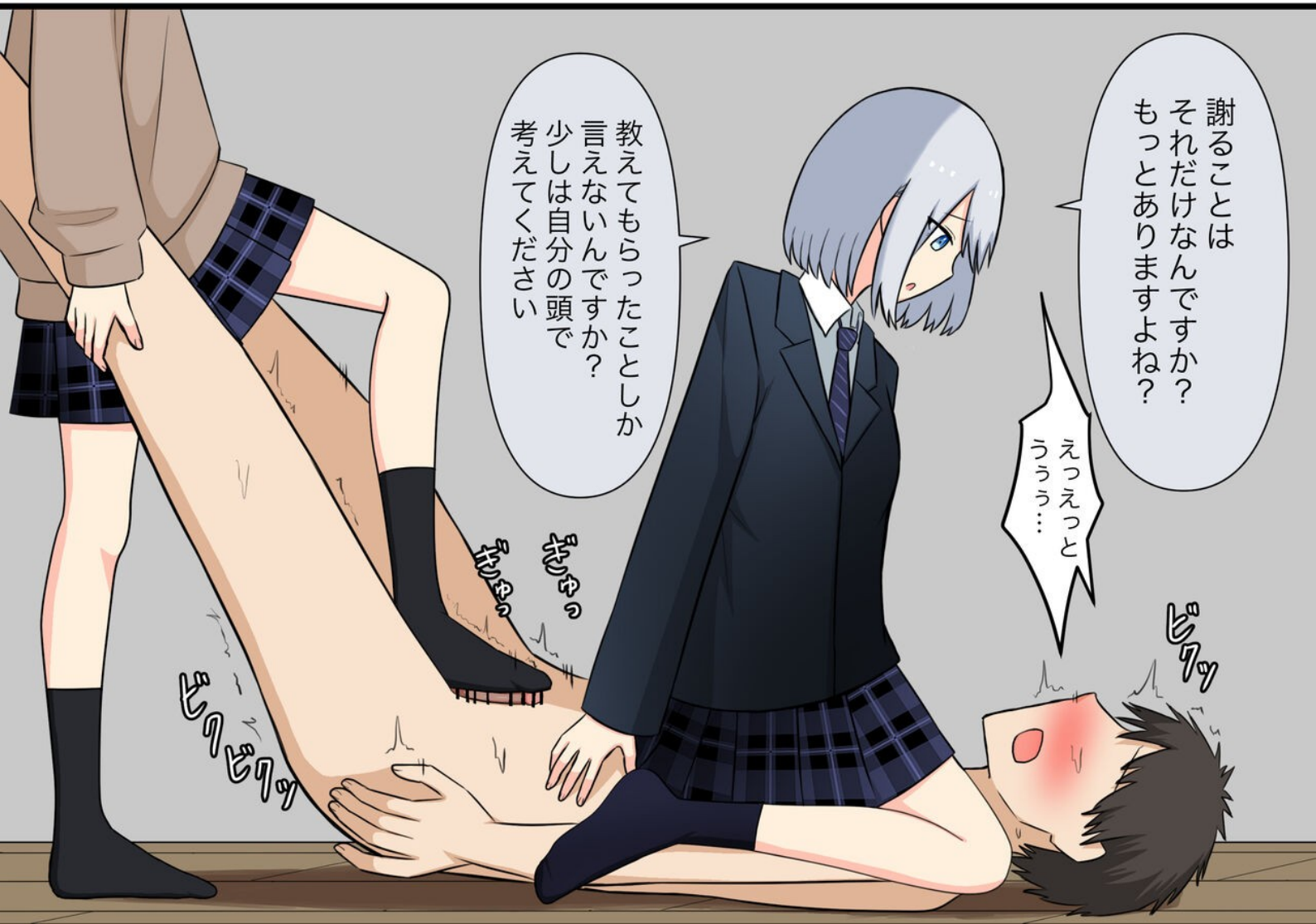
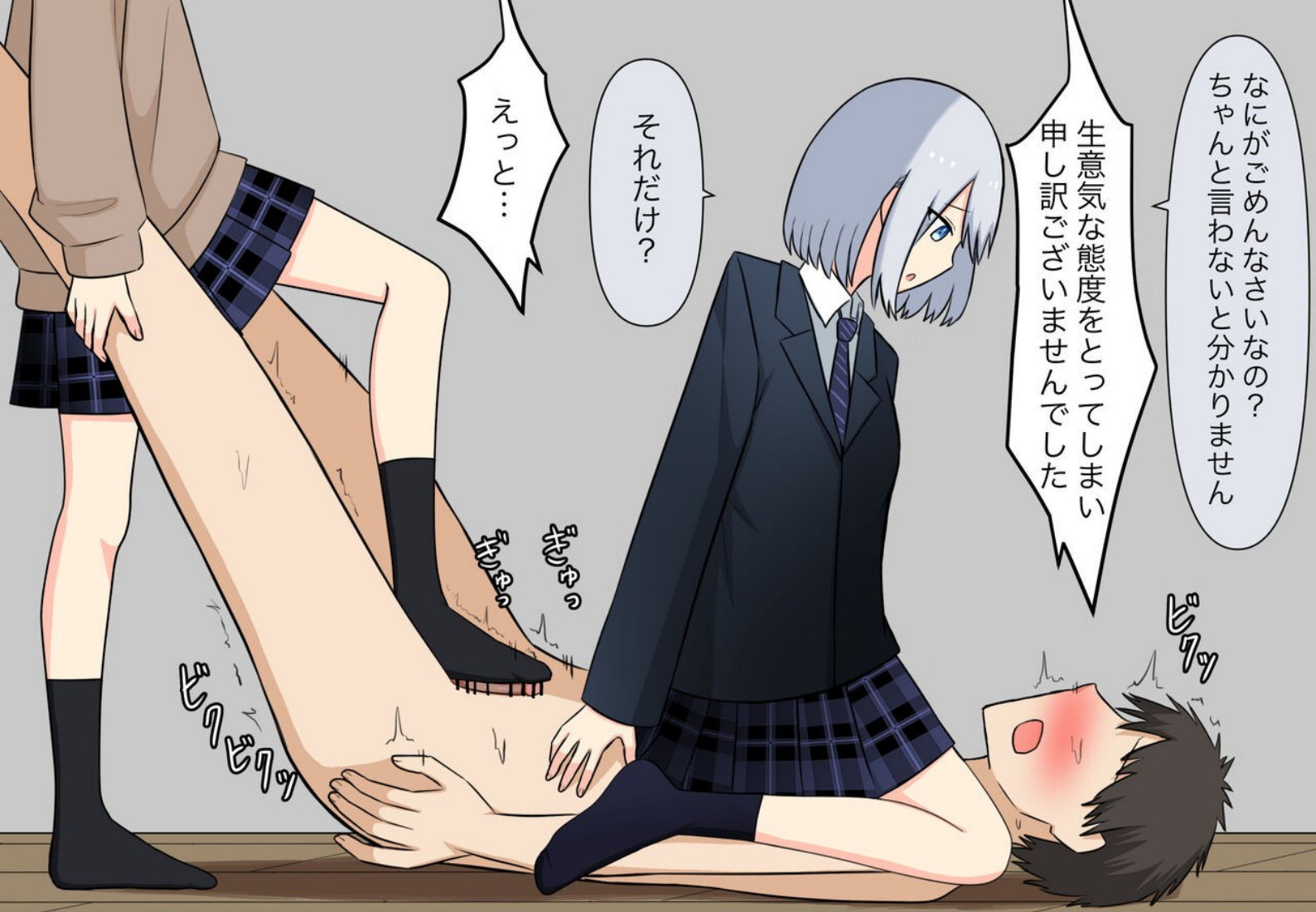
ビクッ

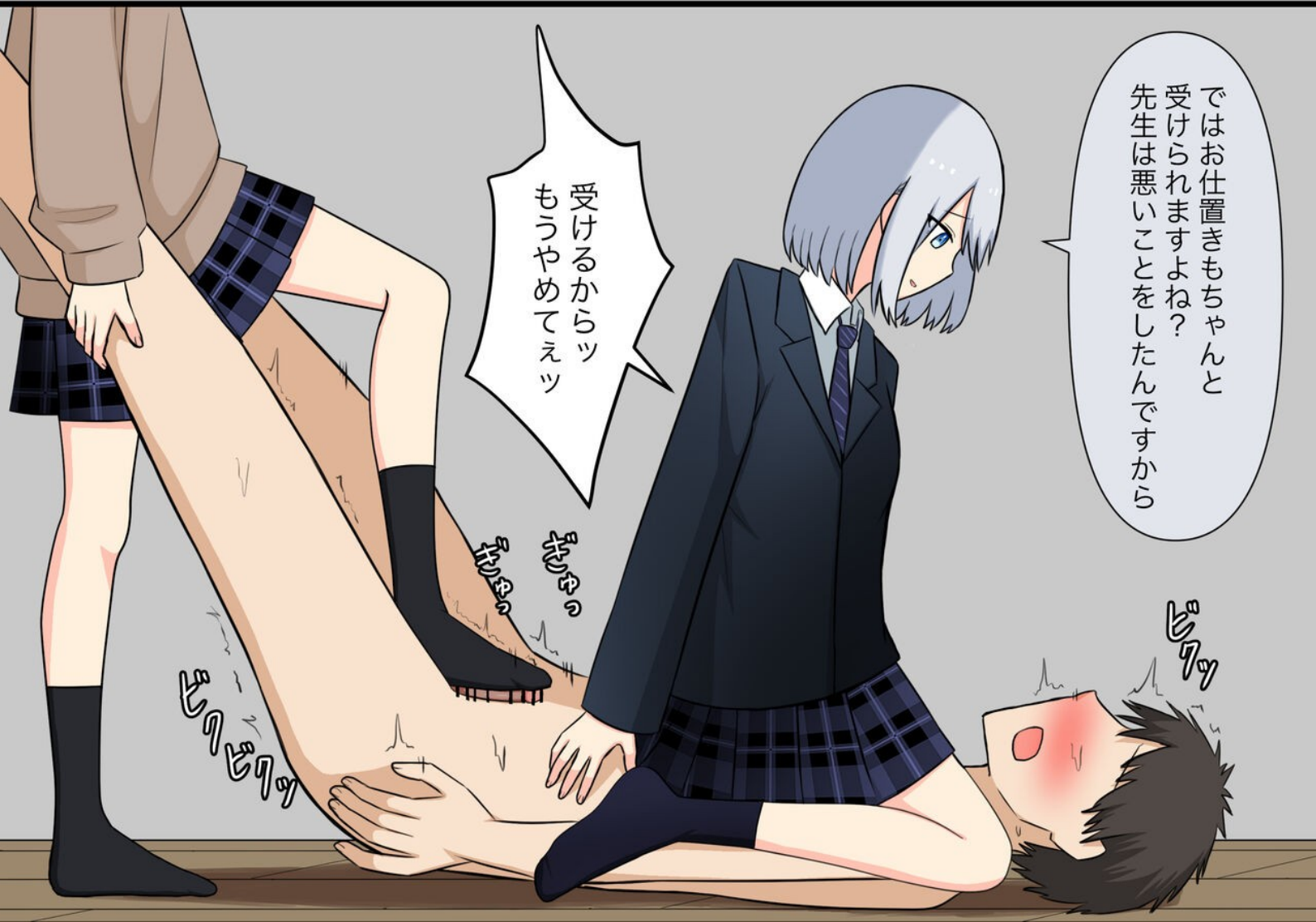
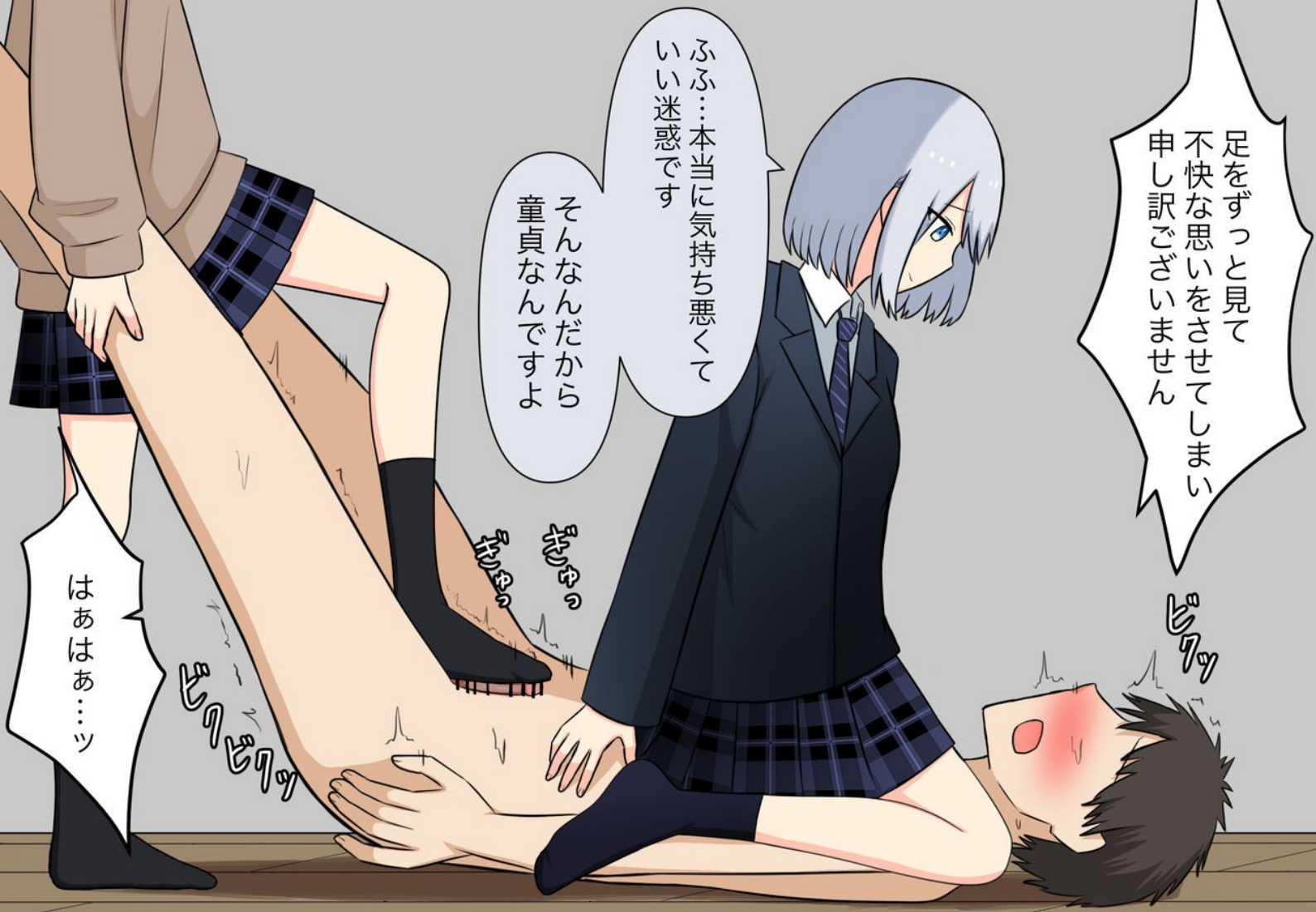
ビクッ

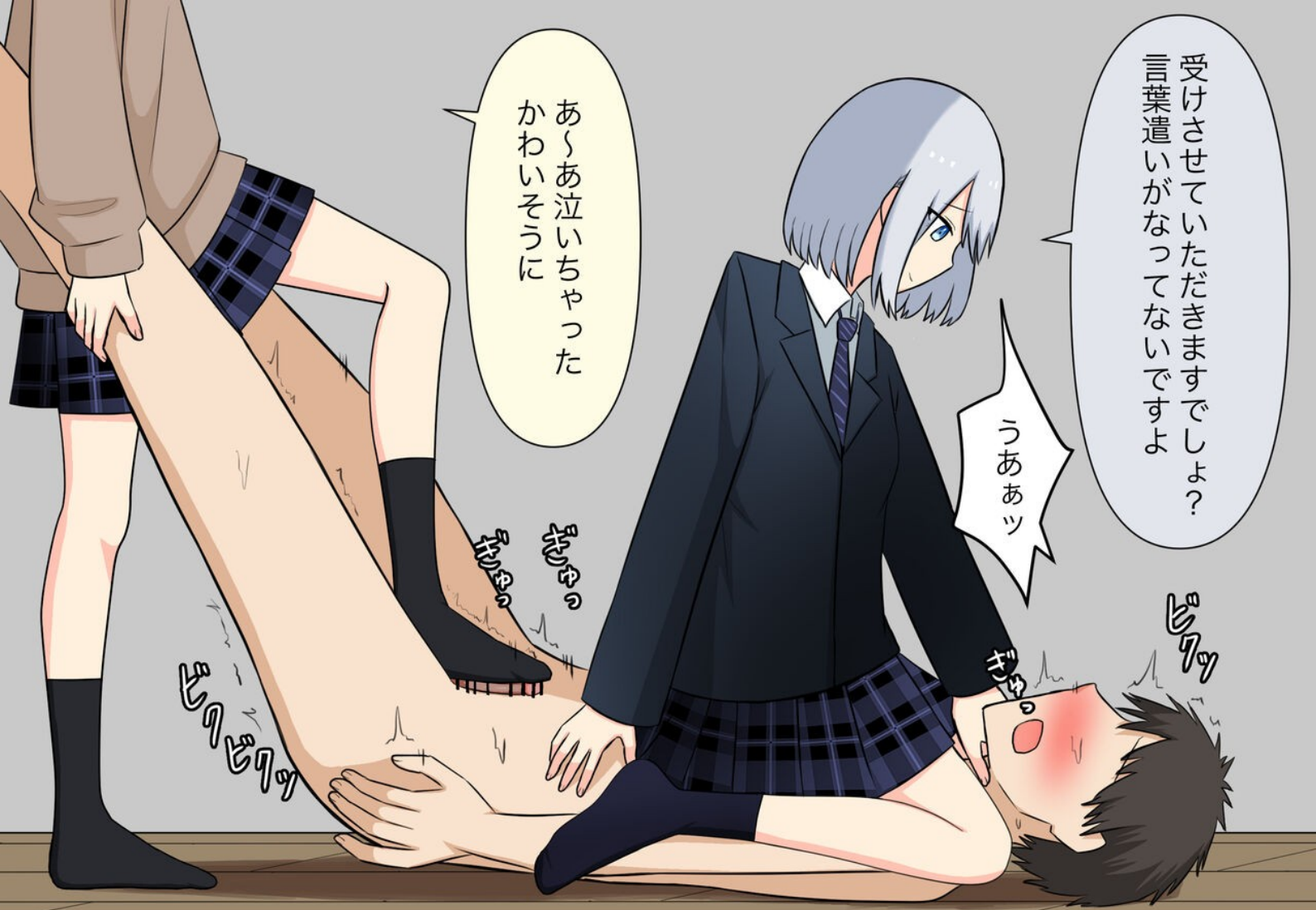
かかかかッ

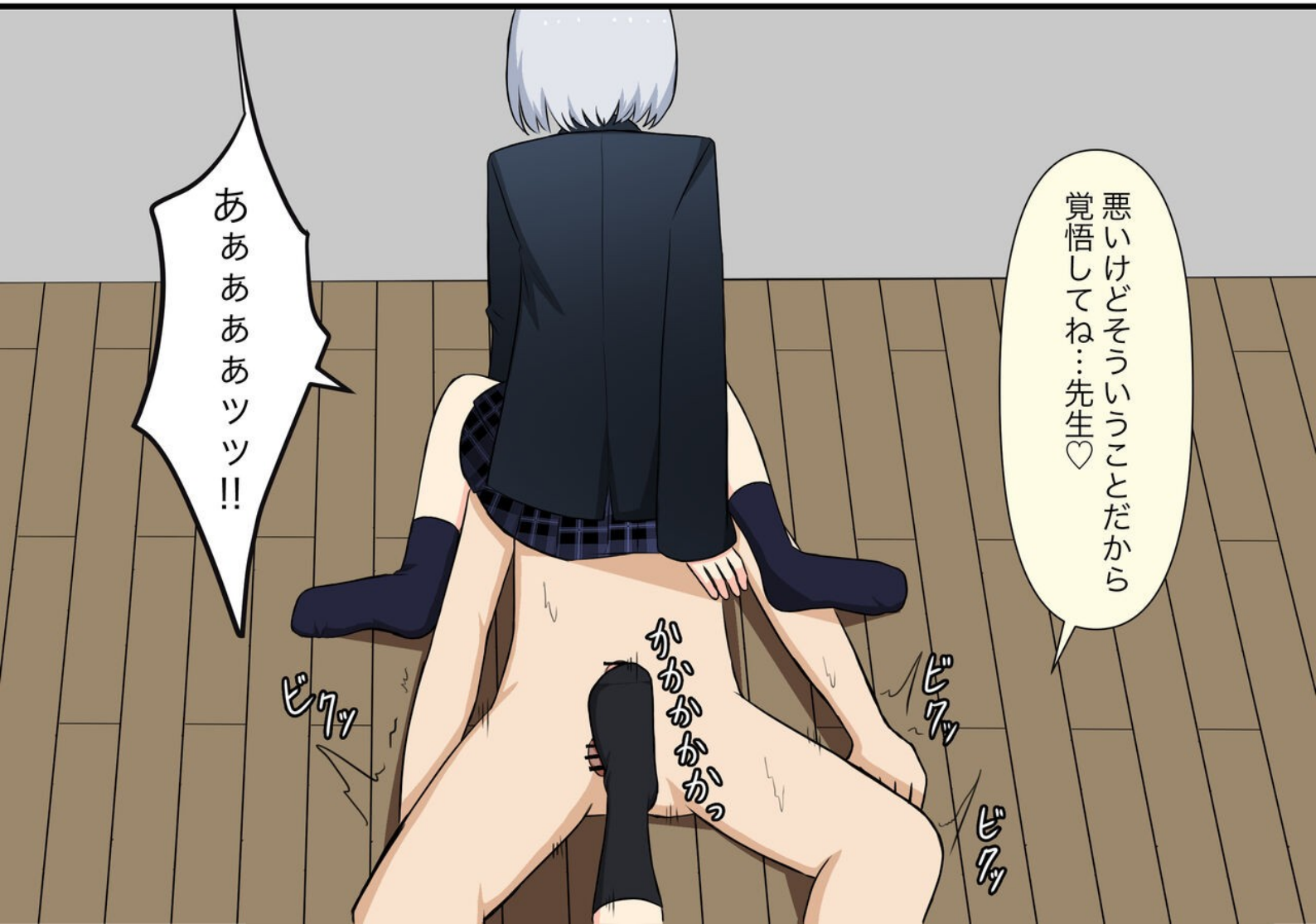
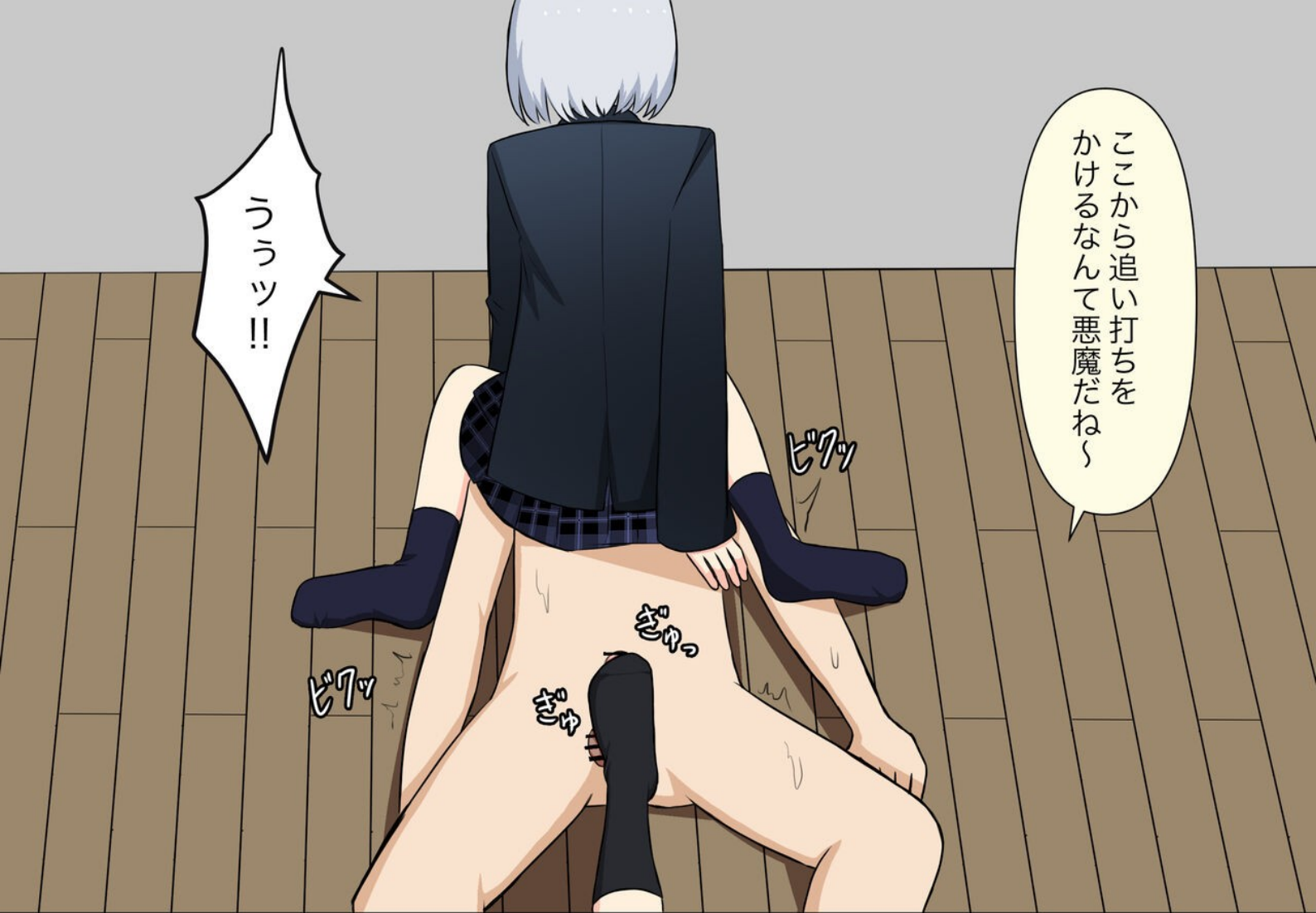
ビクッ

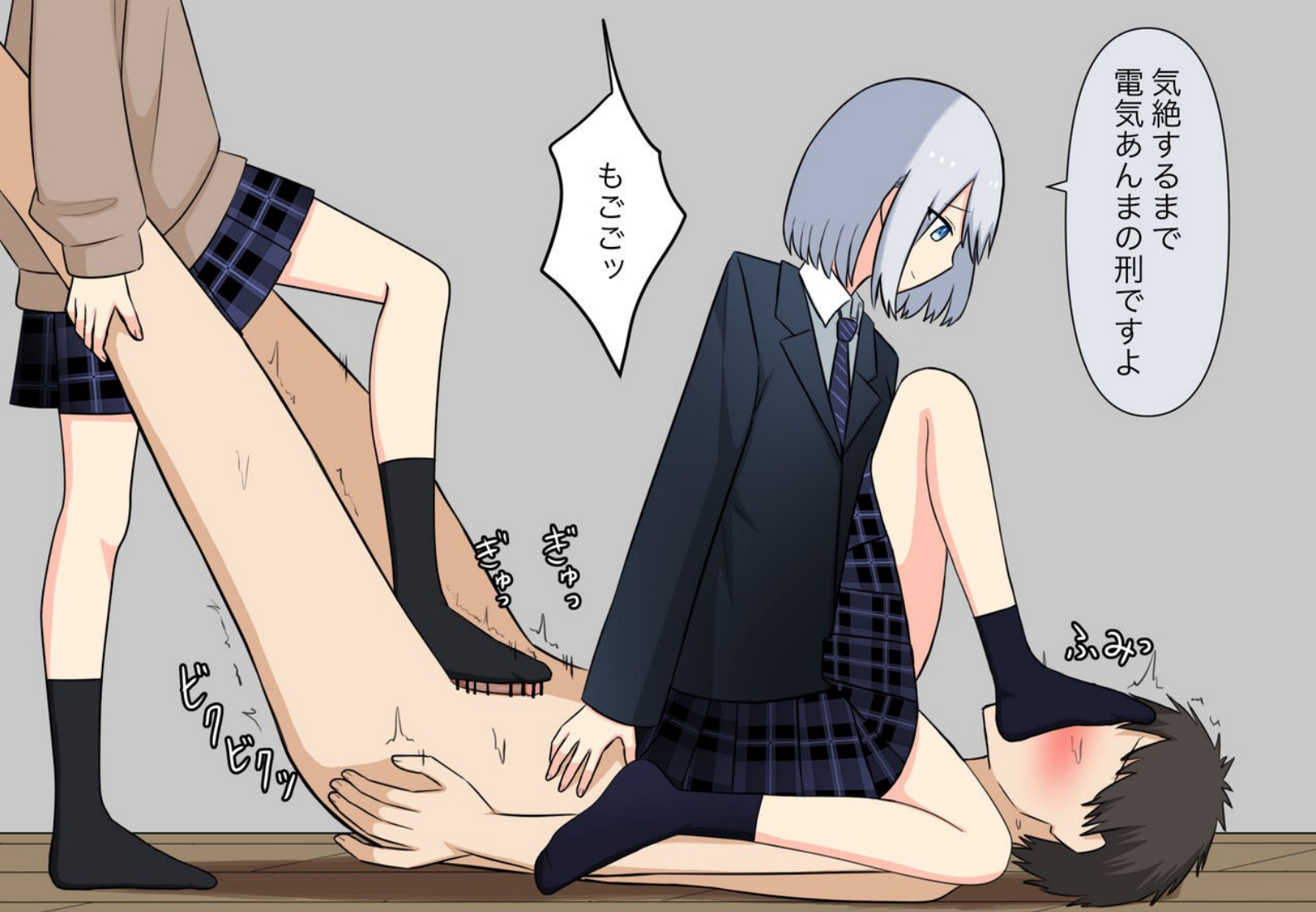








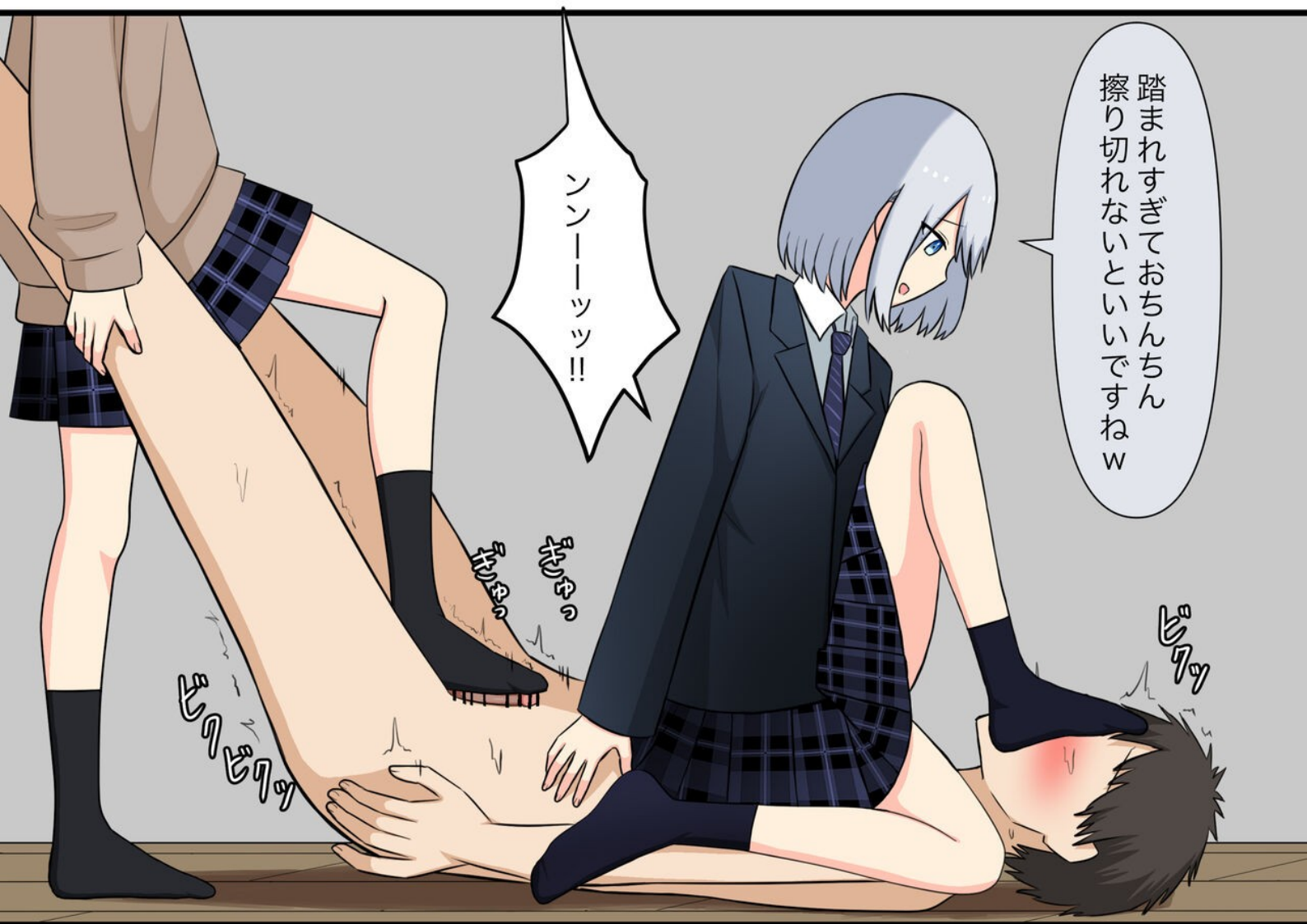




気絶するまで
電気あんまの刑ですよ

もっぴん

ふみっ



踏まれすぎておちんちん
擦り切れないといいですねw

んんーッッ!!

びびっ



先生の様子はとうですか？



うん…ぐっすり寝てる
というか気絶したままだよ



さっきのは少し
やりすぎてしまいましたね

あまりにも反応が
面白かったもので…つい

明日謝っておきます



あれは謝ってすむのかな

先生なら許してくれますよ
まんざらでもなさそうでしたし



じゃあそろそろ
動きましょうか

最近はずっと
ネズミにつけられています

やっぱりねー
ホント懲りないやつら



まあ…どうしても
この技術を完成させたくなくて
必死なんでしょう

向こうの国のお偉いさんには
手を回してなかったの？

ガードが固くてなかなか近づけませんでした…
それに数人取り込んだくらいじゃ
完全に抑え込むことは難しいですね

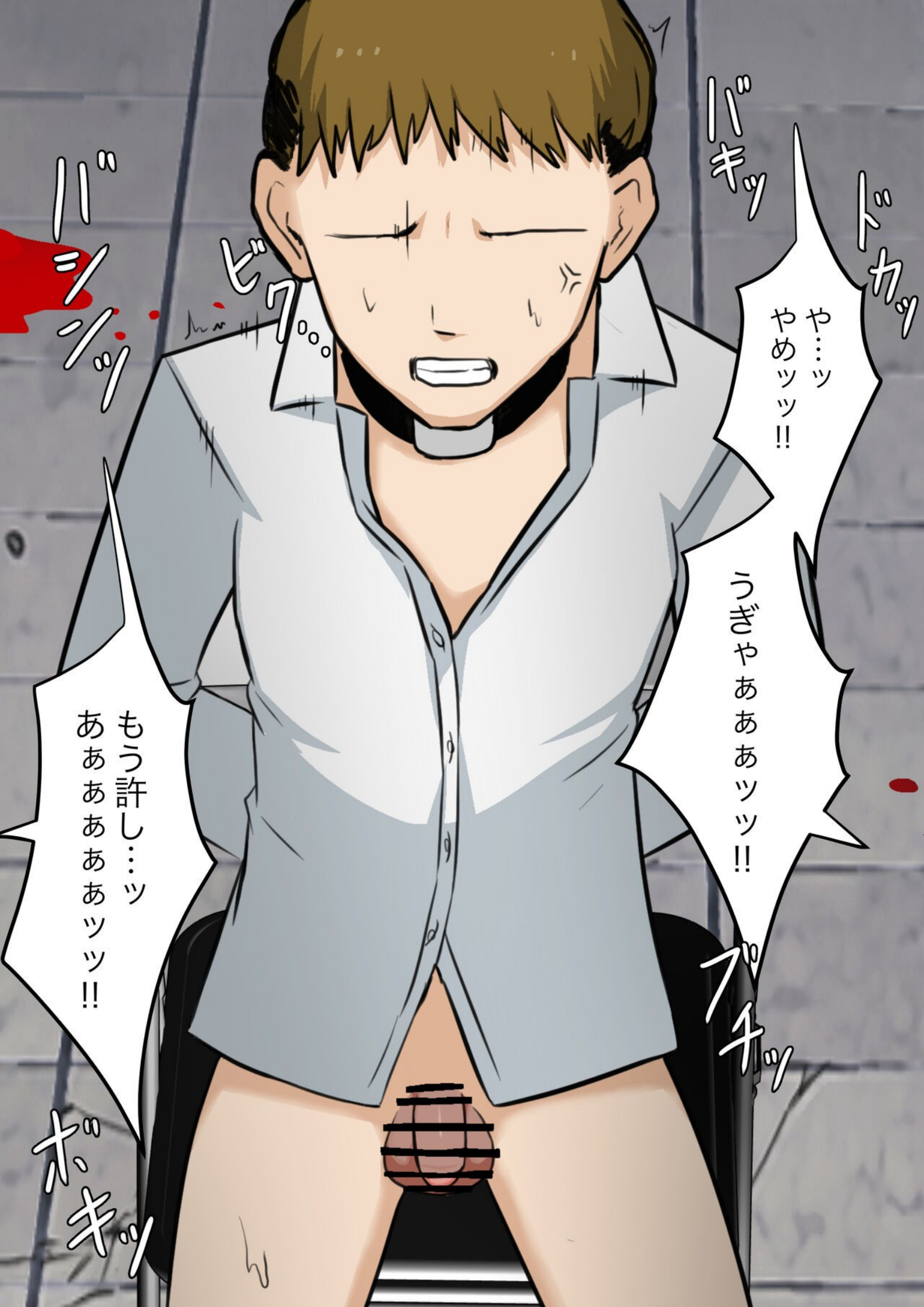
じゃあ…
やるっきゃないかー





私たちは敵組織のアジトに乗り込みました
試験本番で邪魔をされると迷惑なので
今のうちに潰しておきます

でも敵の情報を聞き出すつもりがアリスが張り切ってしまい
有力な情報源たちを次々に壊してしまいました。
残るは一人だけ、壊さないように気をつけないと…



バ
ン
ン
ン

ビ
ン
ン

バ
ン
ン

ド
ン
ン

や
め
ッ
ッ
!!

う
ぎ
や
あ
あ
ッ
ッ
!!

フ
ン
ン

ホ
ン
ン

も
う
許
し
ッ
ッ
!!



さっさと情報吐かないと
お友達みたいになっちゃうよ？

あんたも強情だね〜

んんん！！

んんん！！

ボキッ！！

ハキッ！！

かくっ

ぐわ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ぐわ

びゅるる





無事にお家に帰りたいよね？
正直に言っちゃいなって

私達正直な人には優しいよ

ふっ！！

ふっ！！

優しくしているうちに
協力した方が良いでしょう

わかった…話すから…

れろ…

ビクッ

ぞくっ

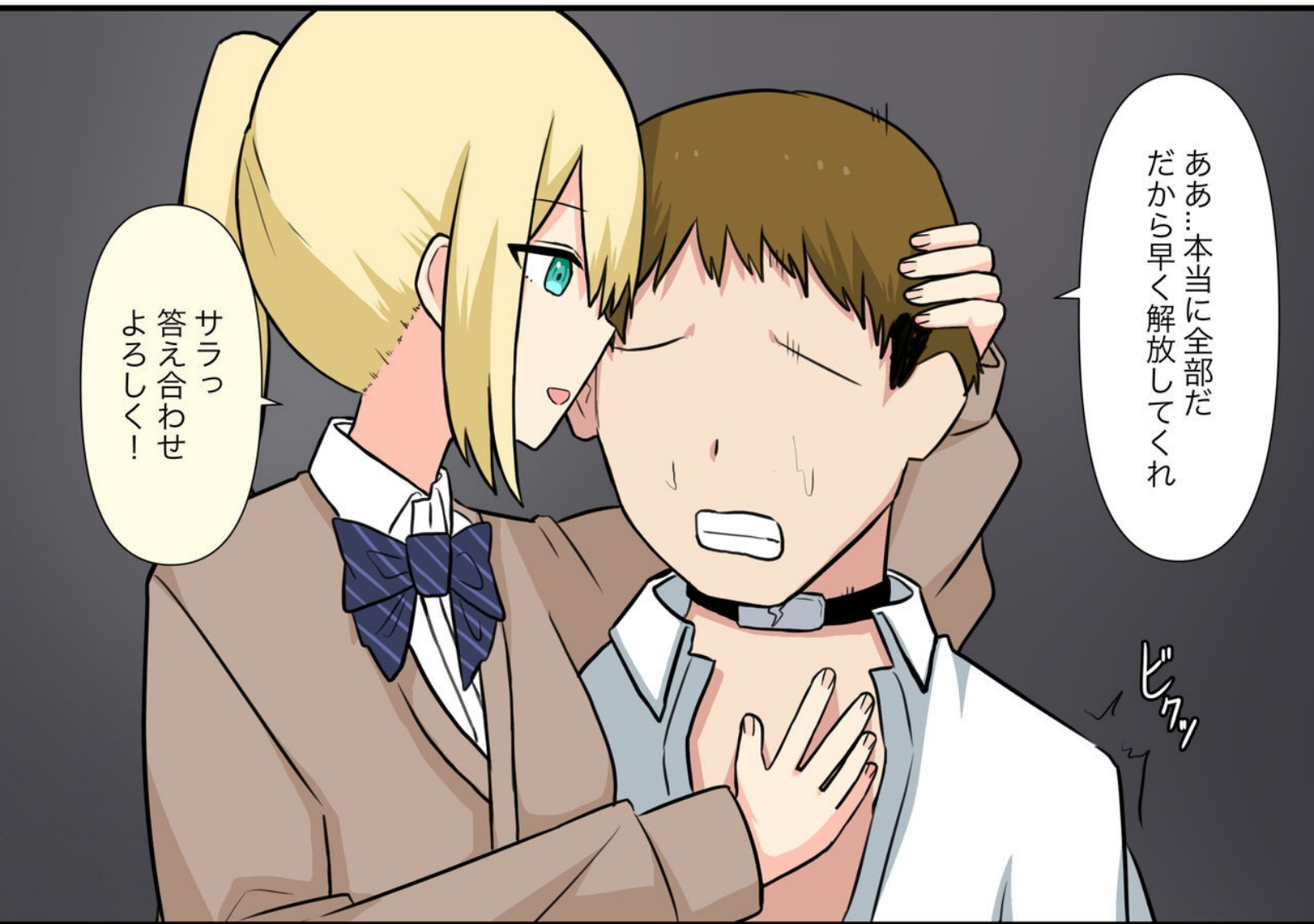


これで全部だ…

ふん…本当に全部？
もし嘘だったら分かってるよね

がみっ

ツツ…



ああ…本当に全部だ
だから早く解放してくれ

サラッ
答え合わせ
よろしく！

びん

はいはい：最初から
こうすればいいのに

えゝだってそれじゃあ
つまらないじゃん！

サラだって楽しそうに
拷問してたくせに



私はそんな事
してません

またまたゝ

とにかく
もう始めますよ

はいはい





本当はさっき言った倍は
潜入しています
潜伏地点は…

……

正直に話してくれて
ありがとうございます

なで…

なで…

はっ…俺は何を…!?



あんたさう正直に全部話したって
言ったのに：嘘だったんだね

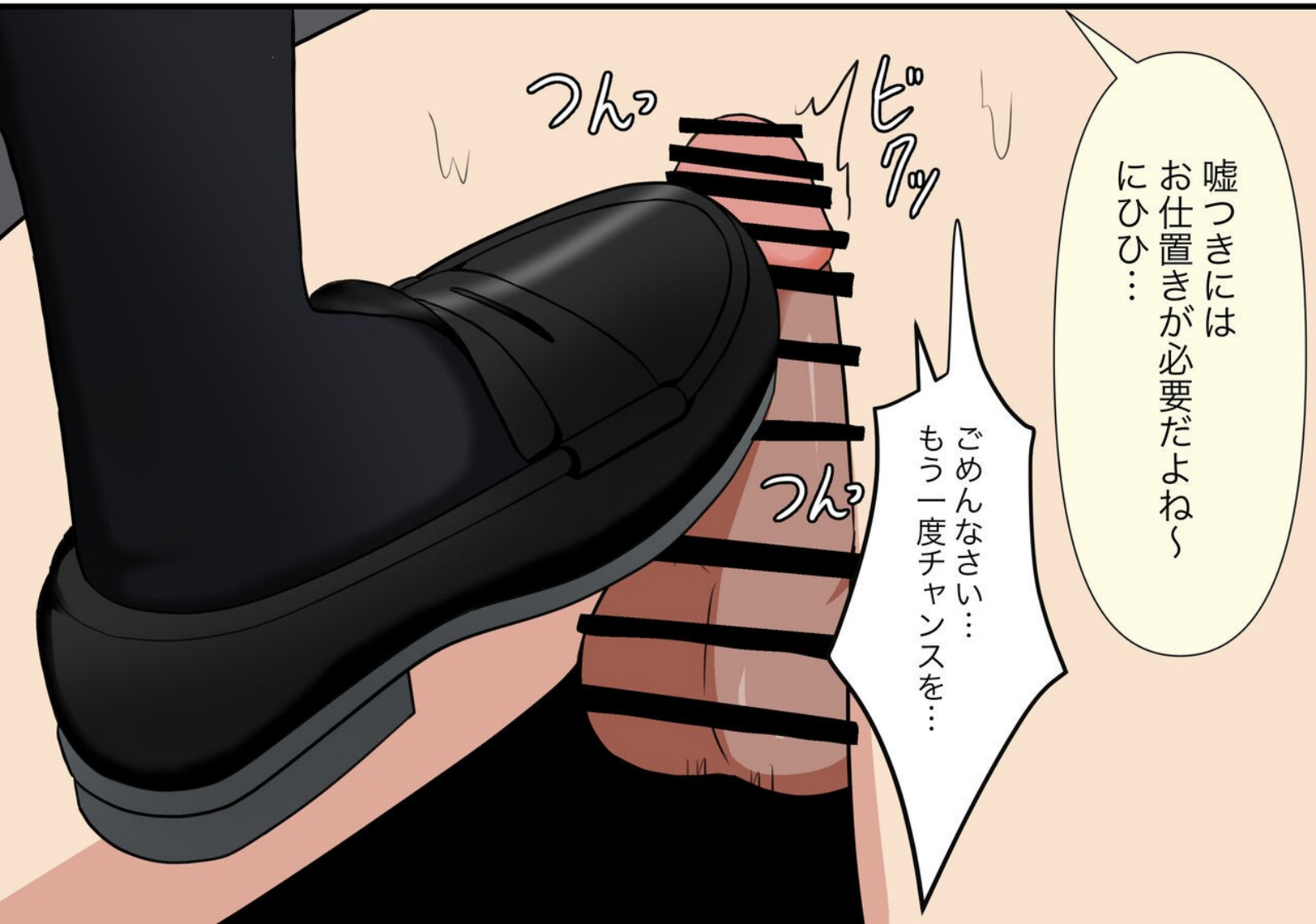
なで...

なで...

ビクッ

ぐにゅ

これは...その...



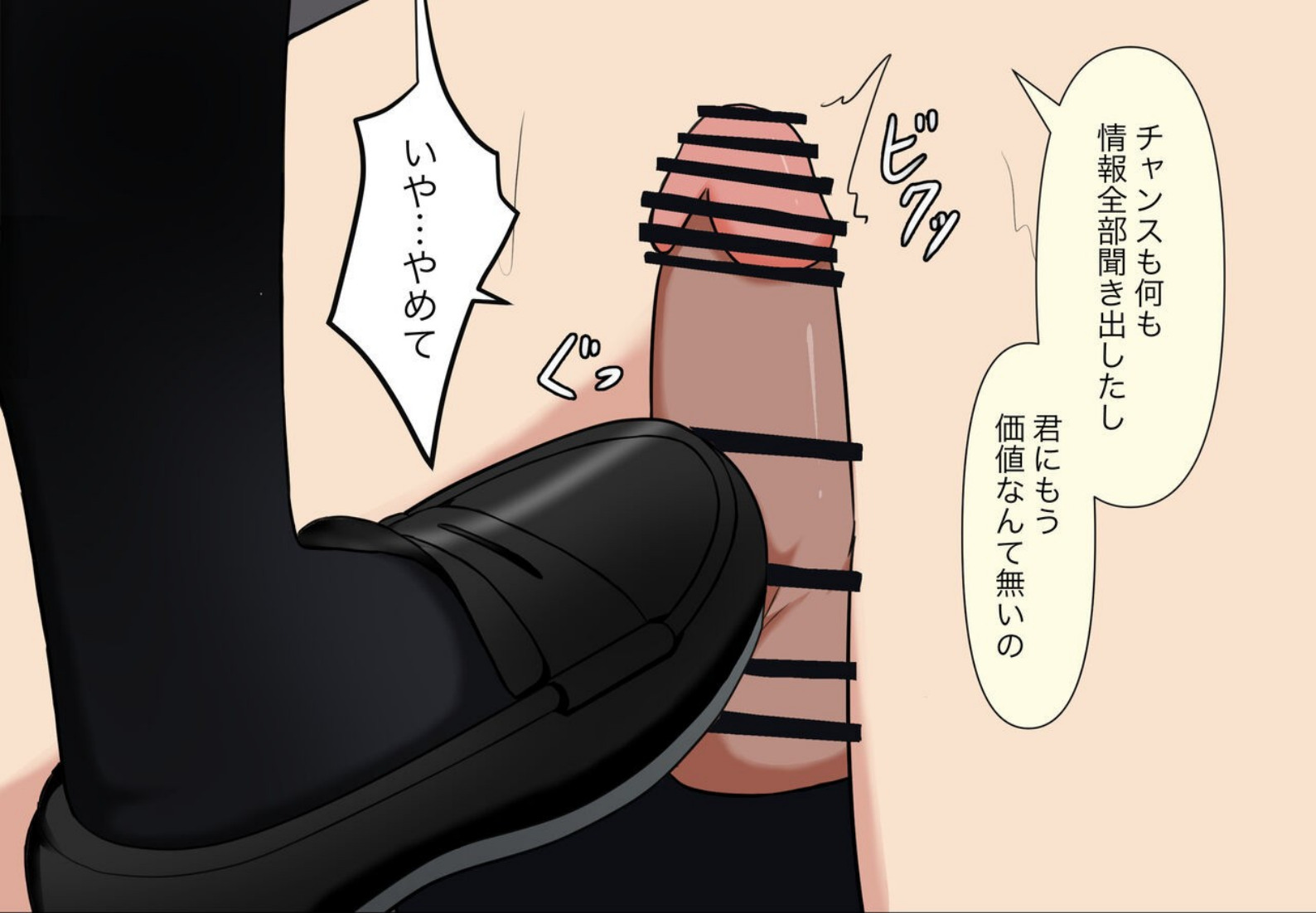
嘘つきには
お仕置きが必要だよね
にひひ...

ごめんなさい...
もう一度チャンスを...

つん

ビクッ

つん



いや...やめて

ぐっ

ビクッ

チャンスも何も
情報全部聞き出したし

君にもう
価値なんて無いの



ズン

ビクッ

なで

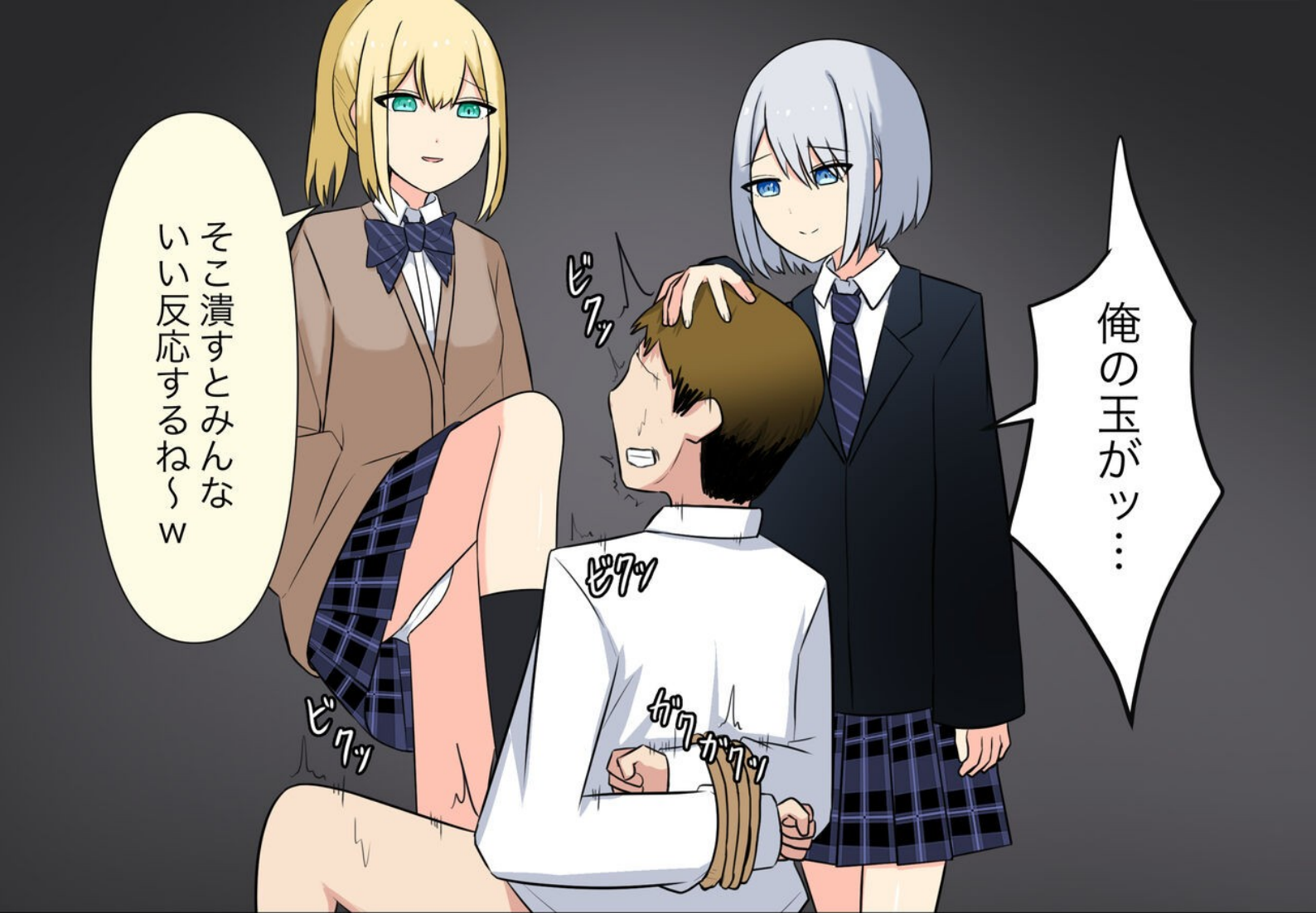
なで

ビクッ

ブチッ!!!

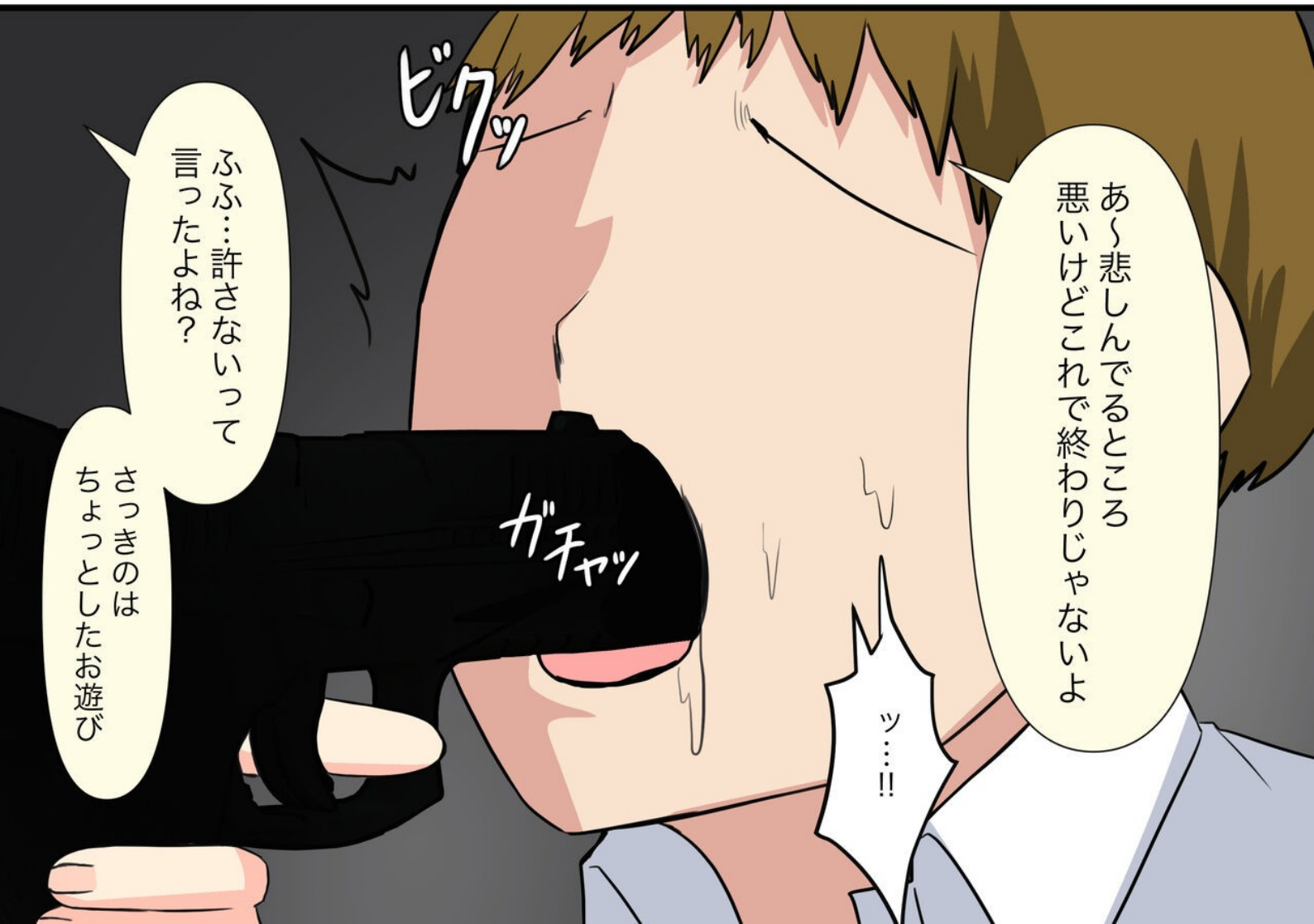
ビクッ

ああああッッ!!



俺の玉がッ…

そこ潰すとみんな
いい反応するねw



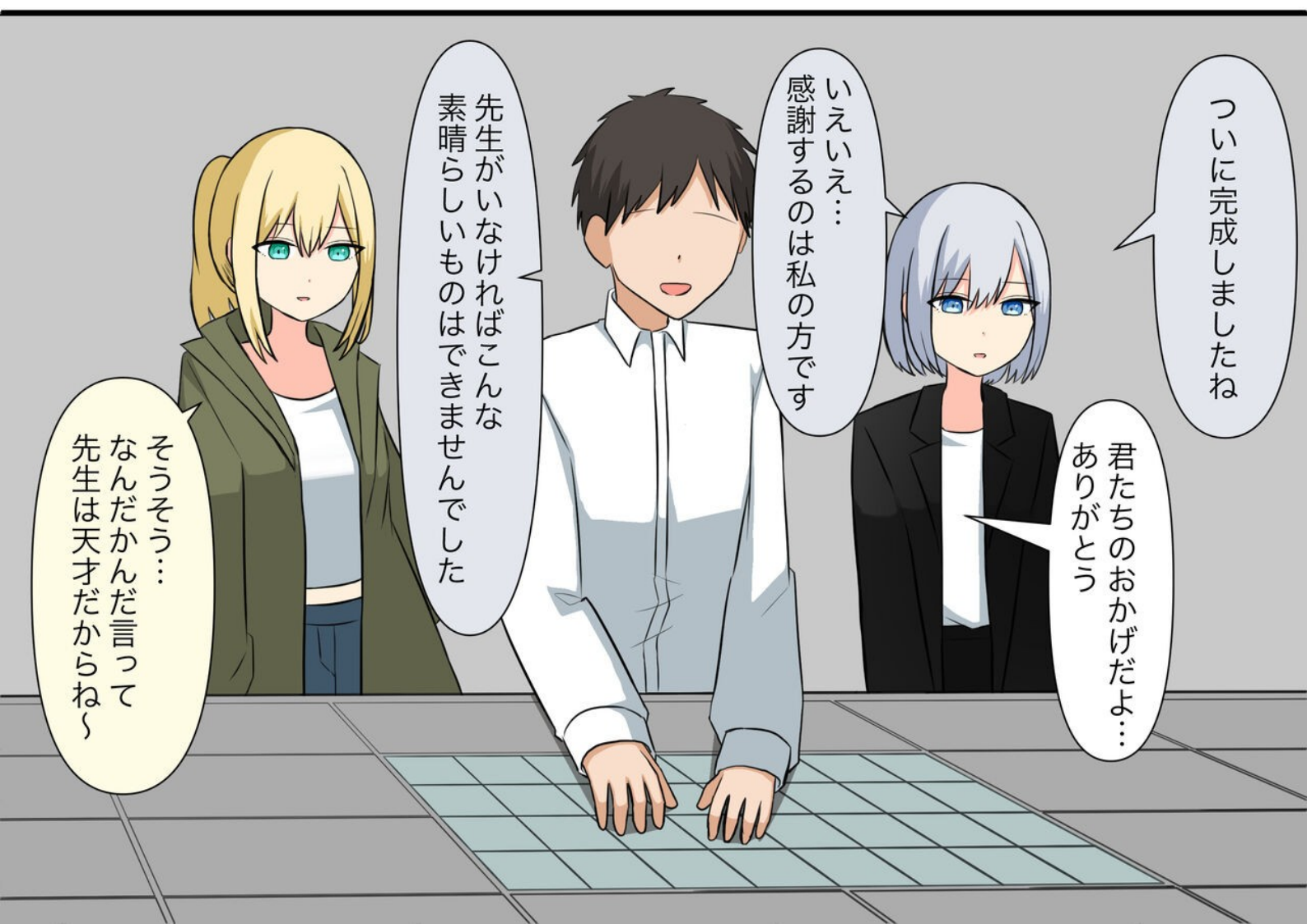
あゝ悲しんでるところ
悪いけどこれで終わりじゃないよ

ふふ…許さないって
言ったよね？

さっきのは
ちよっとしたお遊び

ッ…!!







さあ…ついに起動だ

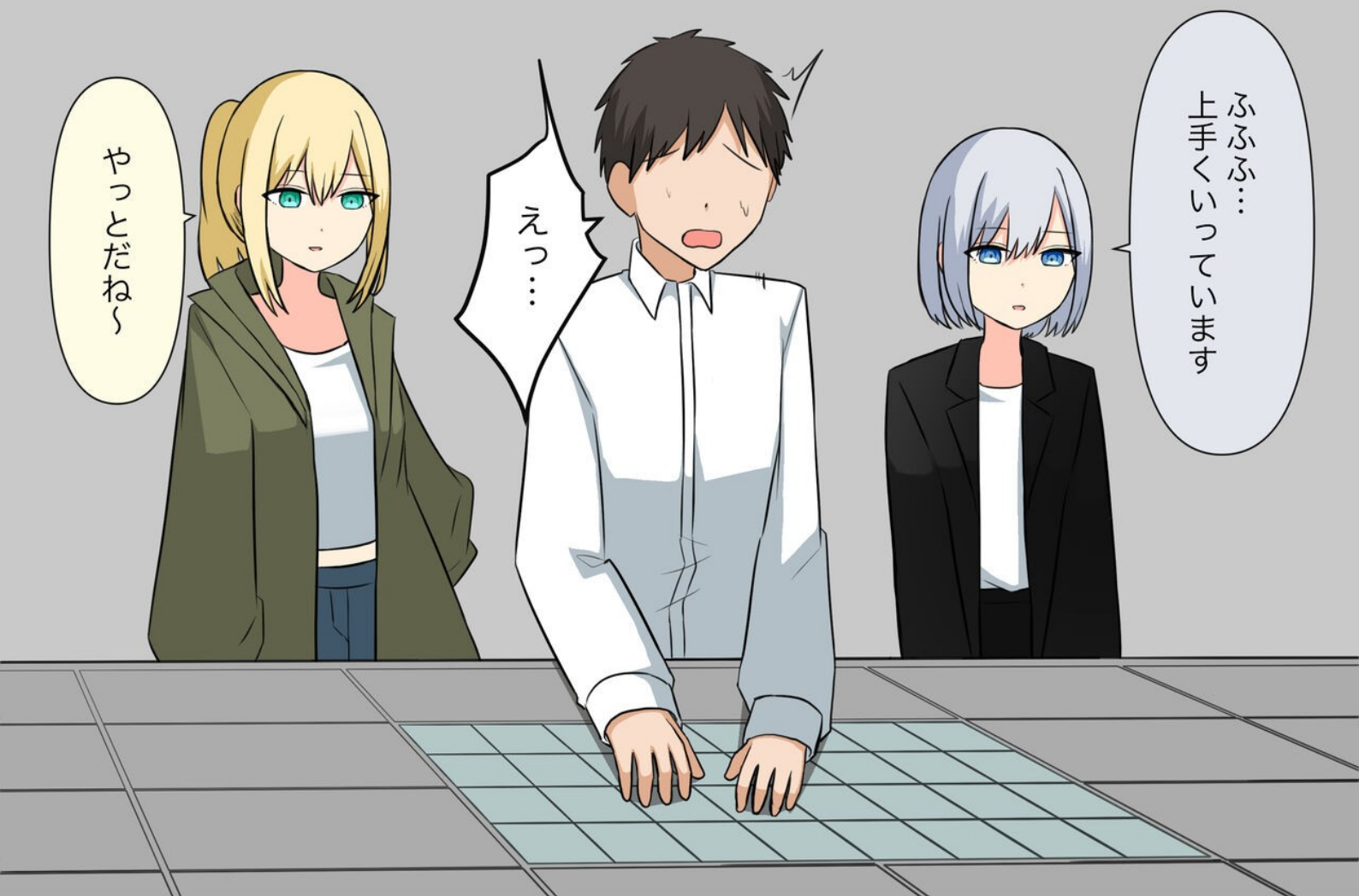


なんだと!?
緊急停止だ

博士…エラーが発生しました
出力が急上昇しています
制御不能です

ダメです
緊急停止コード
受け付けません

おかしい
そんなはずは



いいえ…
あれは私たちの仲間です

サラッ!! お前は
いったい何を知ってる!?
説明してくれ!!

先生もこれまで役に立ってくれたし
最期くらいちゃんと説明してあげても
いいんじゃない?

そうですか?
もう死ぬのに教える必要も
ないと思いますが

まあそんなに知りたいなら
教えてあげましょうか

おッおい…
いったい何を言ってるんだ…
死ぬってどういう…

先生はもう
用済みってことです



私たちの目的はこの扉を開いて
仲間をこちらの世界に
連れてくることなんです

ああ…ちなみに
私たちは人間じゃありません

人間に分かりやすく言うと
サキュバスあたりが近いでしょうか？

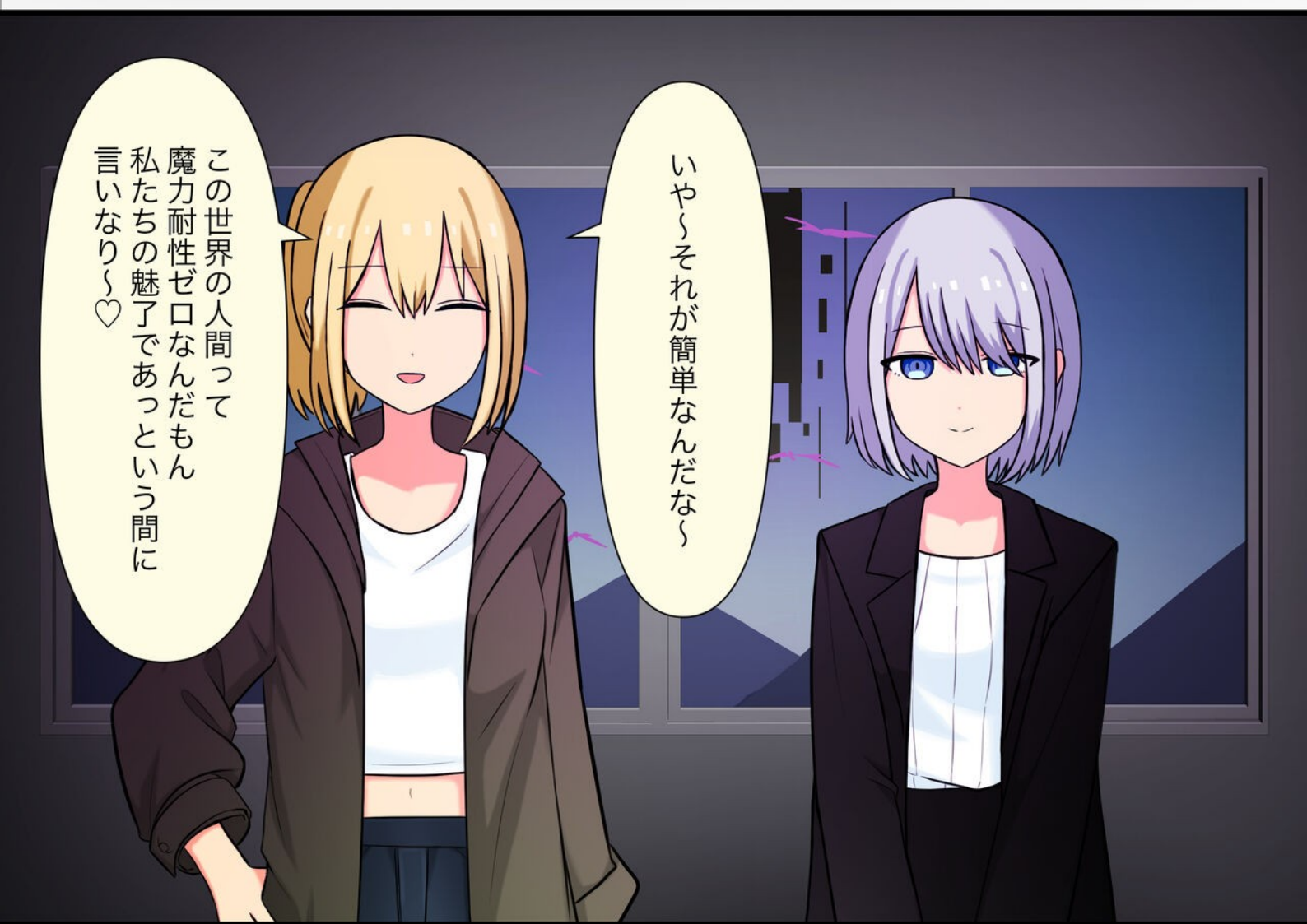
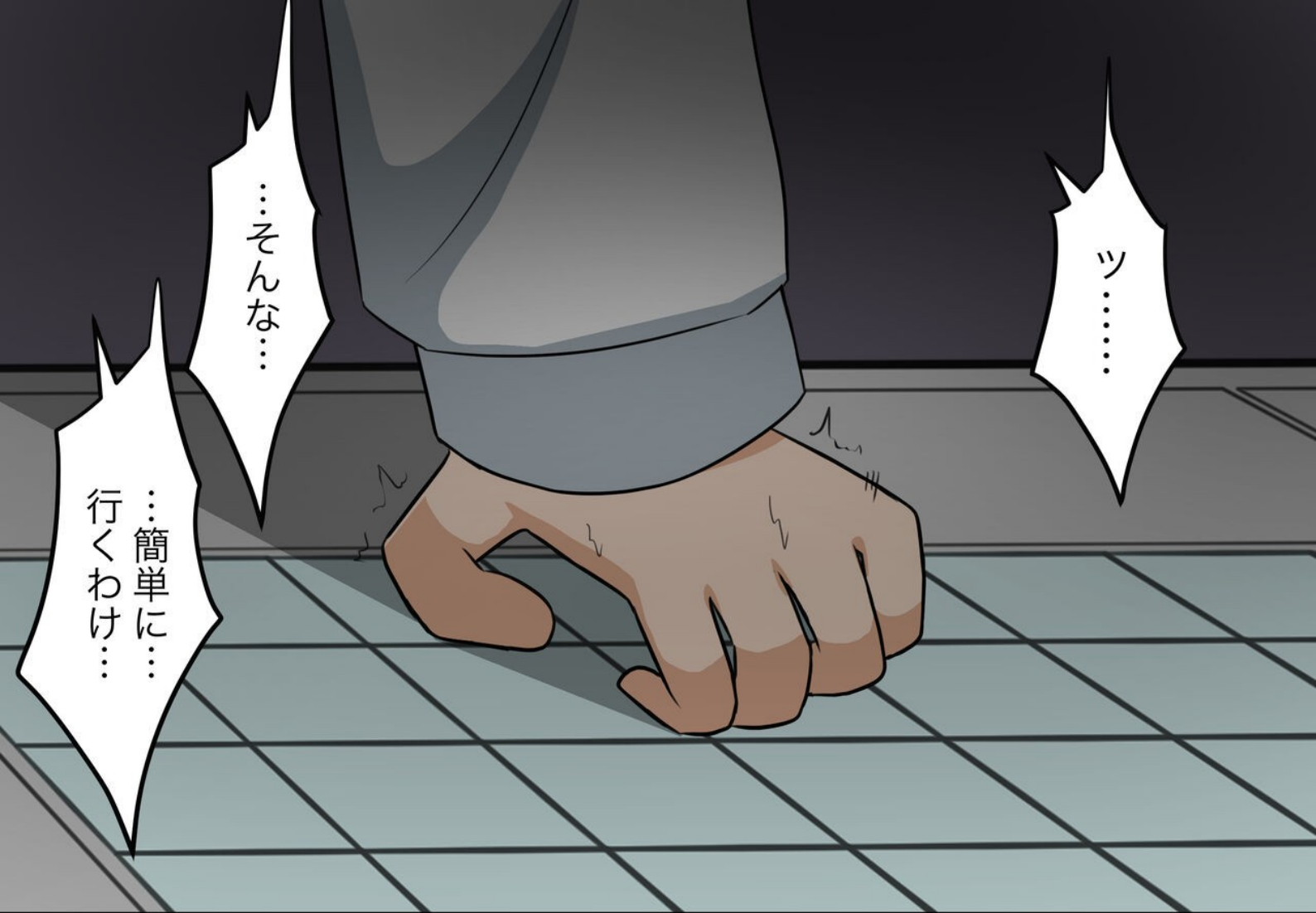
6年前に先生の実験によって
一瞬だけ開いた次元の隙間
そこからこの世界に来ることができました



まあこうなるように
誘導したんだけどね

そして今日私たちが元々いた
世界との扉が完全に開いて
めでたく仲間たちがやってきたってこと

これから人間は私たちに支配されて
奴隷として生きていくことになるんですよ





魔力も全然扱えないみたいですし

ほんの少し魔力で
身体強化しただけで大の大人が
手も足も出ないのは笑いました

安心して…
先生には感謝してるからさ…
ここで幸せに殺してあげる

とにかく先生の
おかげですべて
うまくいったよ



怯えちゃってかわいいですね
死ぬのが怖いんですか？

そうですね…
死ぬのは痛くて
苦しくてつらいですよ

でも大丈夫です

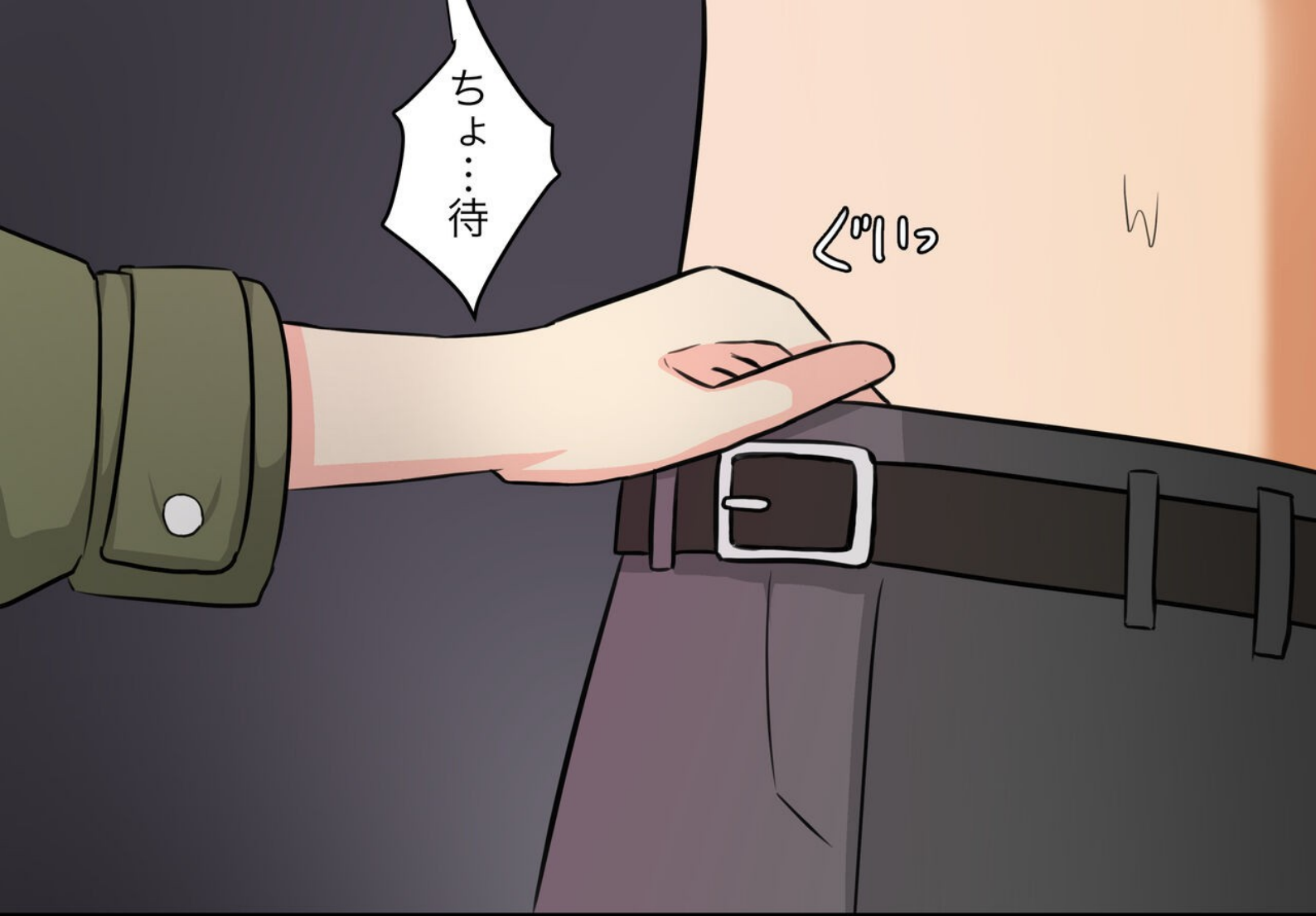


ほら私の眼を見て…

痛い事はとても
気持ちがいいんです
苦しいことは幸せなんです

アリス

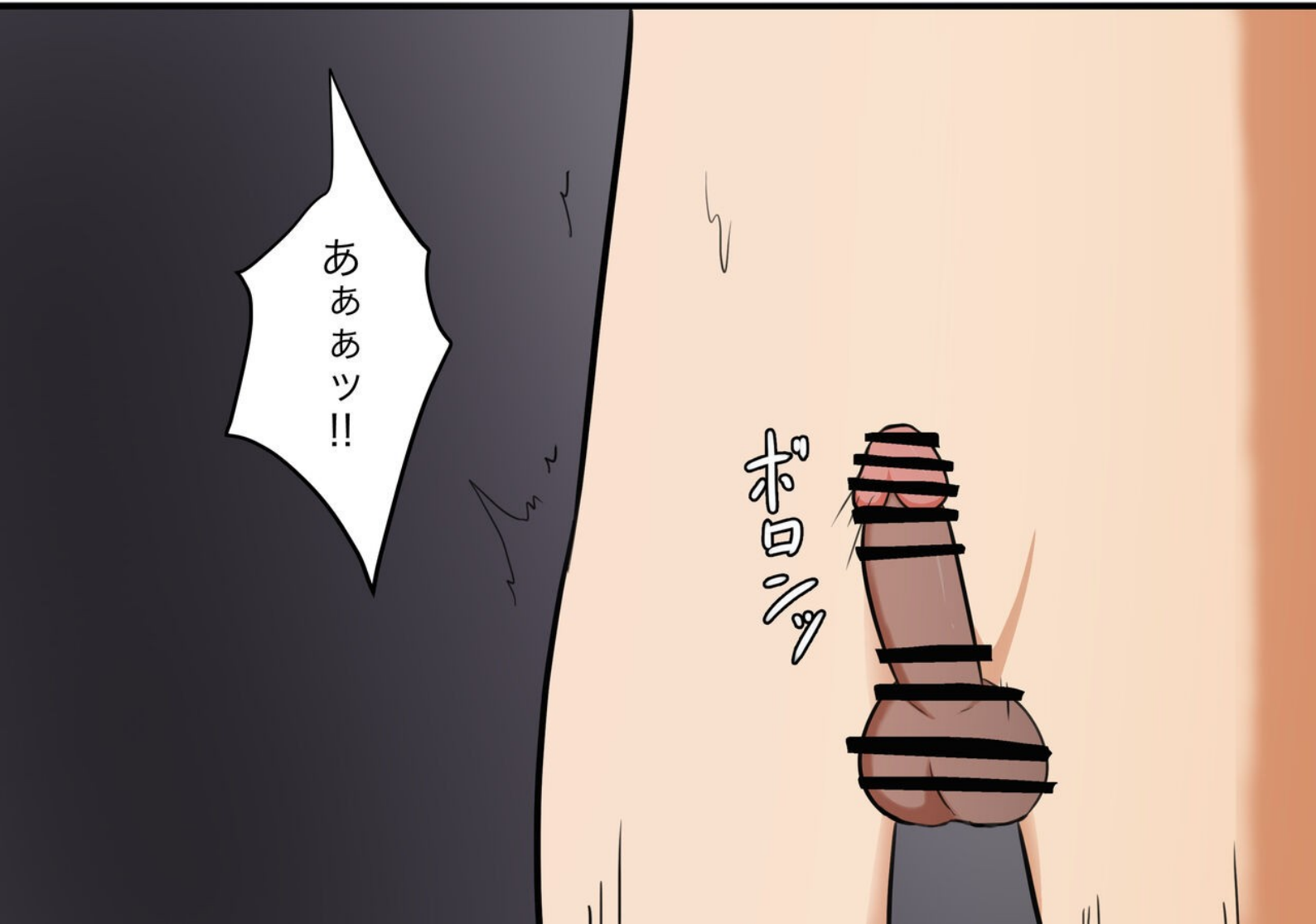




ちよ…待

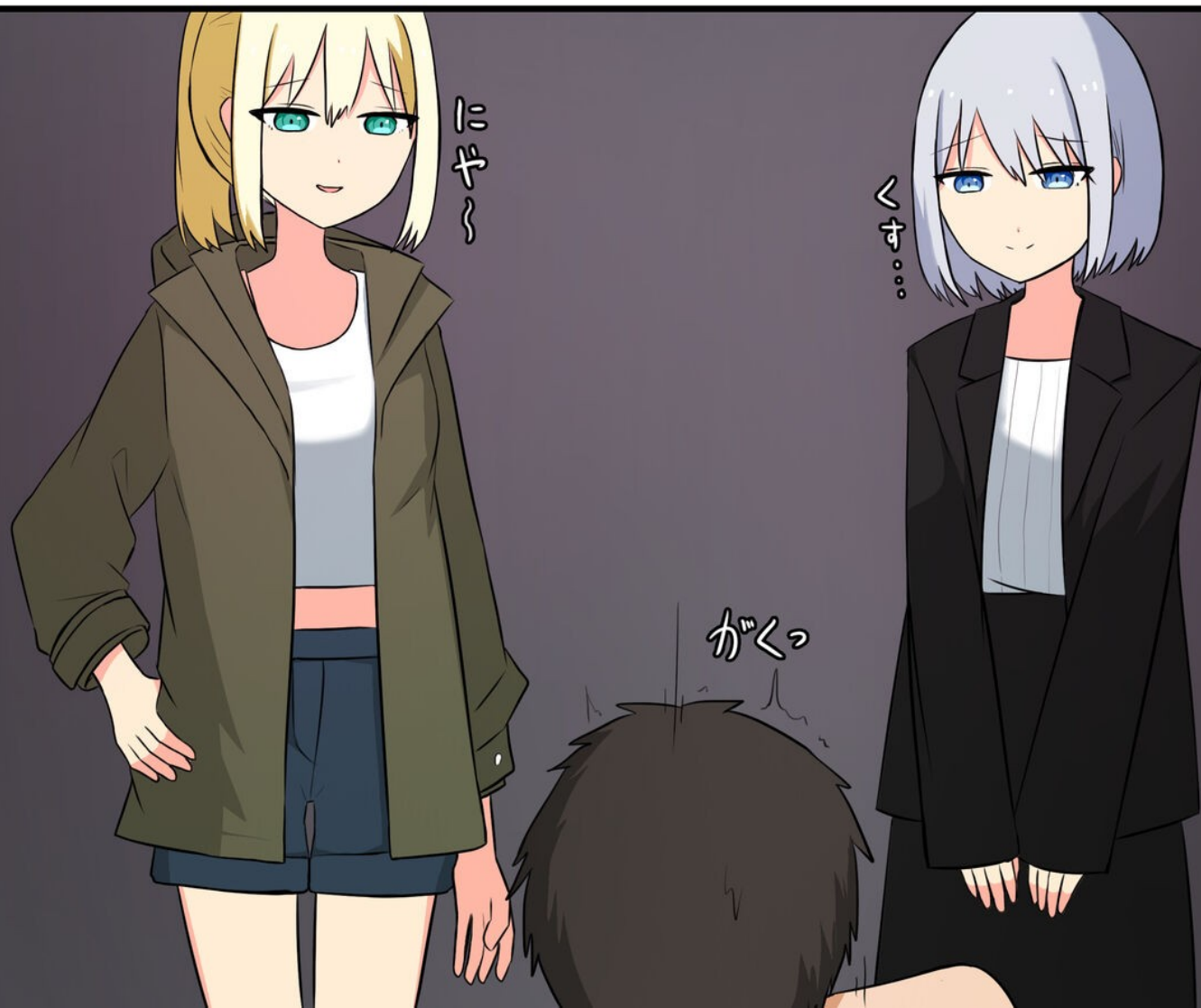
くっ

w

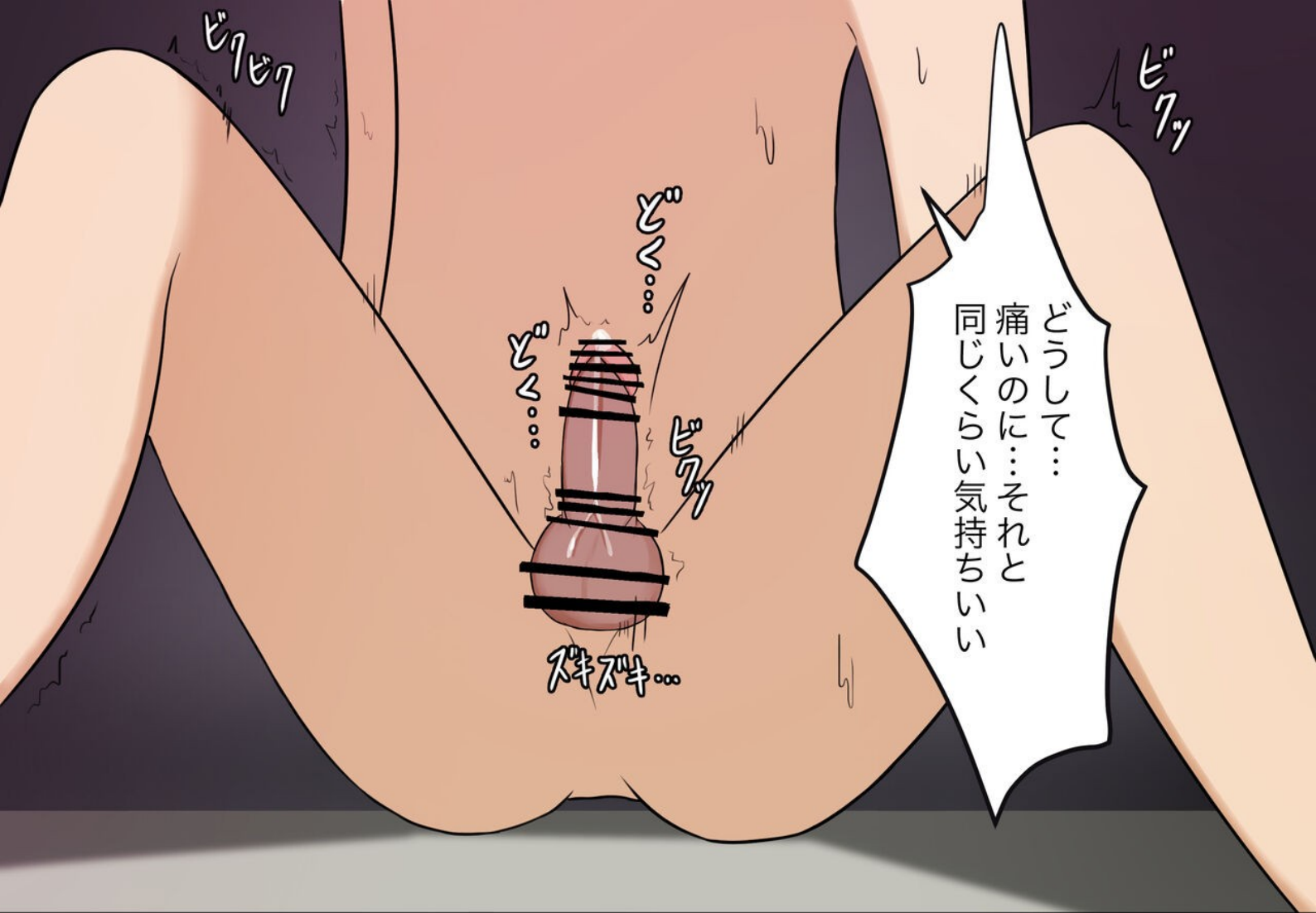


あああッ!!

ボロッ



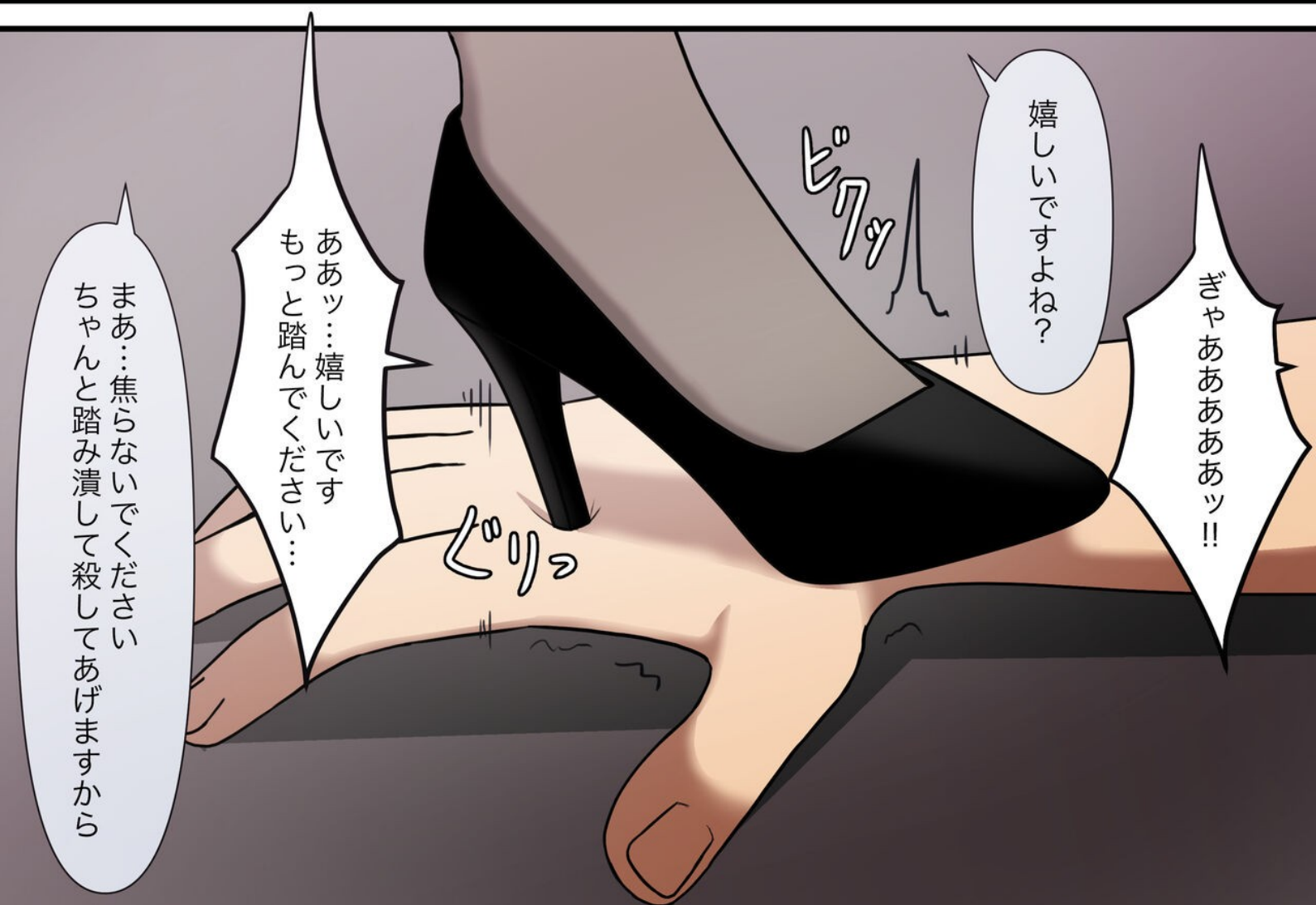






…手!?

それでは
手を出してください



嬉しいですね?

ぎゃああああッ!!

ああッ…嬉しいです
もっと踏んでください…

まあ…焦らないでください
ちゃんと踏み潰して殺してあげますから



ほらっ…思う存分
踏んであげますよ

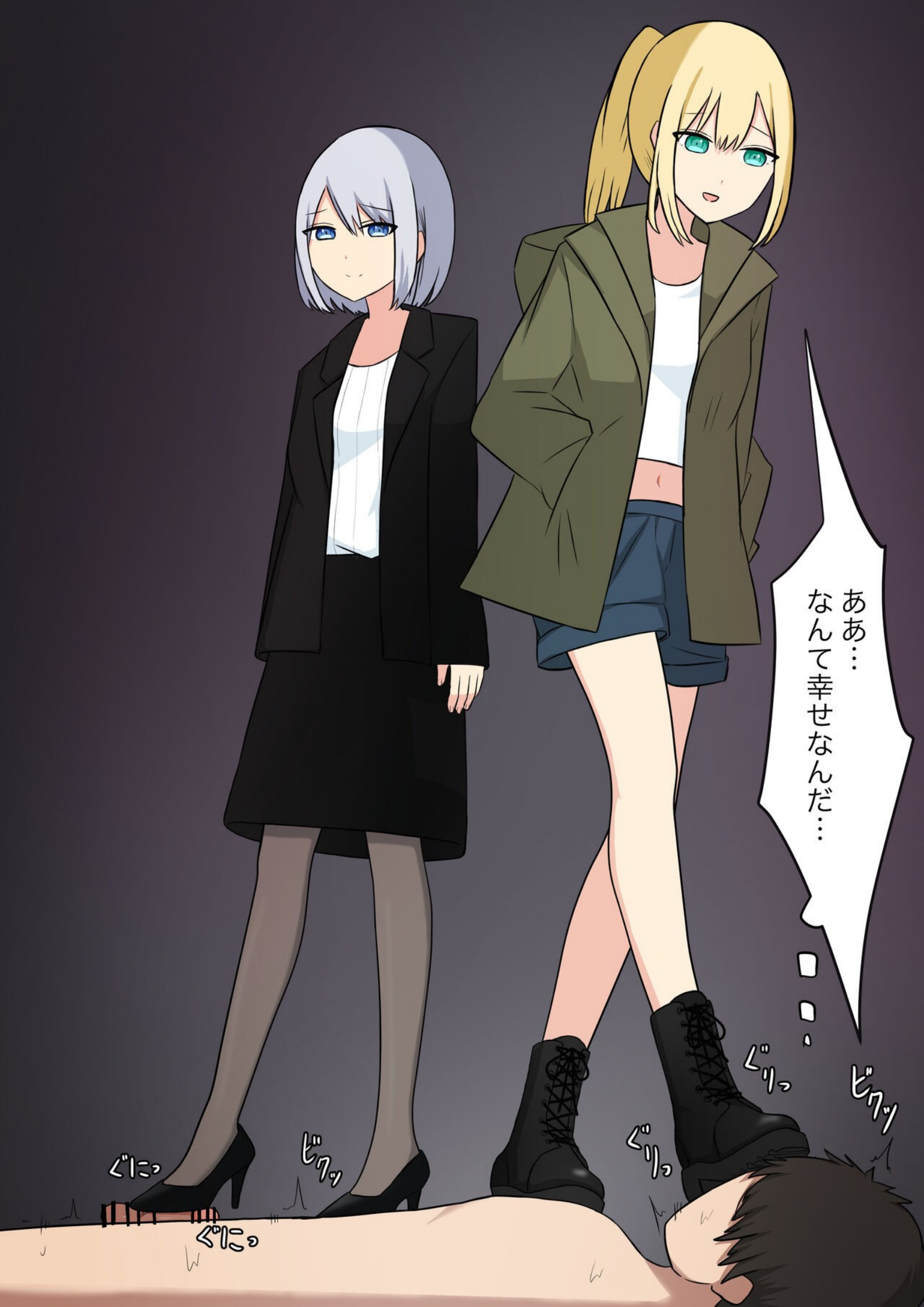
ああ…めちやくちやに
踏み潰して…



はあはあ…

しっかり私たちの
重みを感じな？幸せでしょ？

ピクッ



ああ...
なんて幸せなんだ...

ぐにっ

びん

ぐにっ

ぐにっ

びん

びん



こうやって顔面
踏み潰してあげるよっ！

きつてもい顔

んん!!

ビクッ

ふみッ

ビクッ

ビュルッ



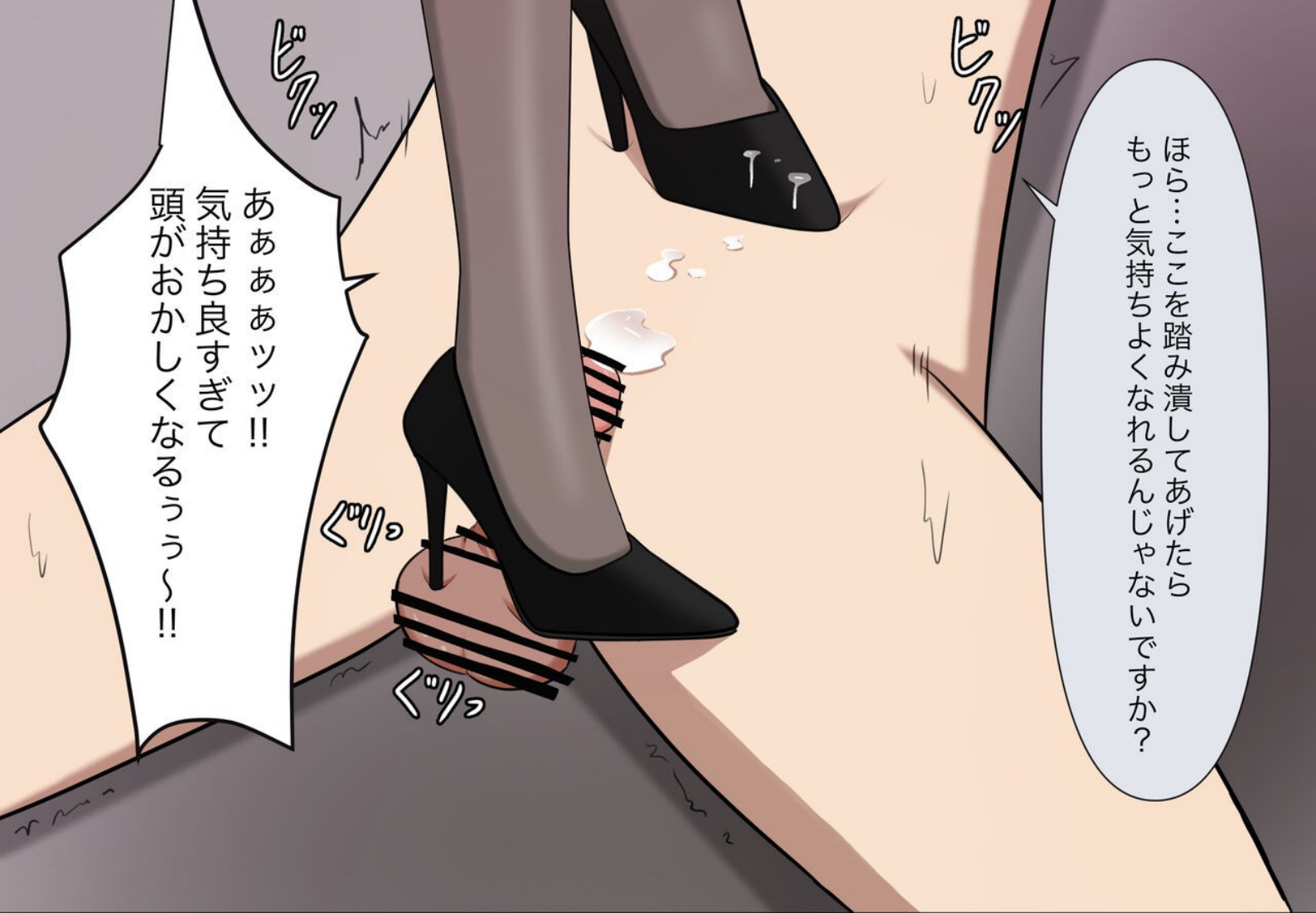
あはははっ
なくに顔踏まれて
イってんだよ！変態！

おお!!

うぐ!!

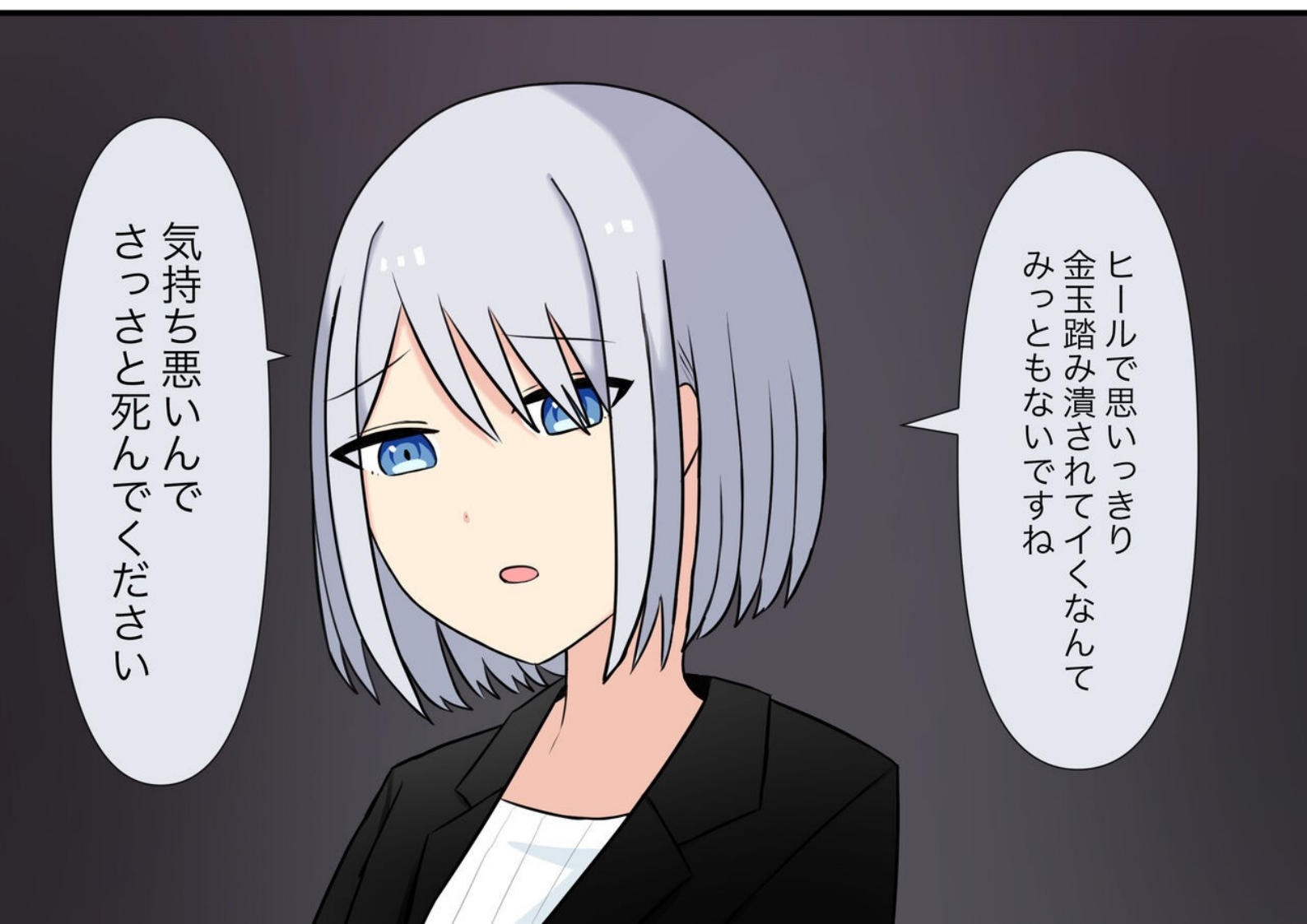
ドスッ

ドスッ



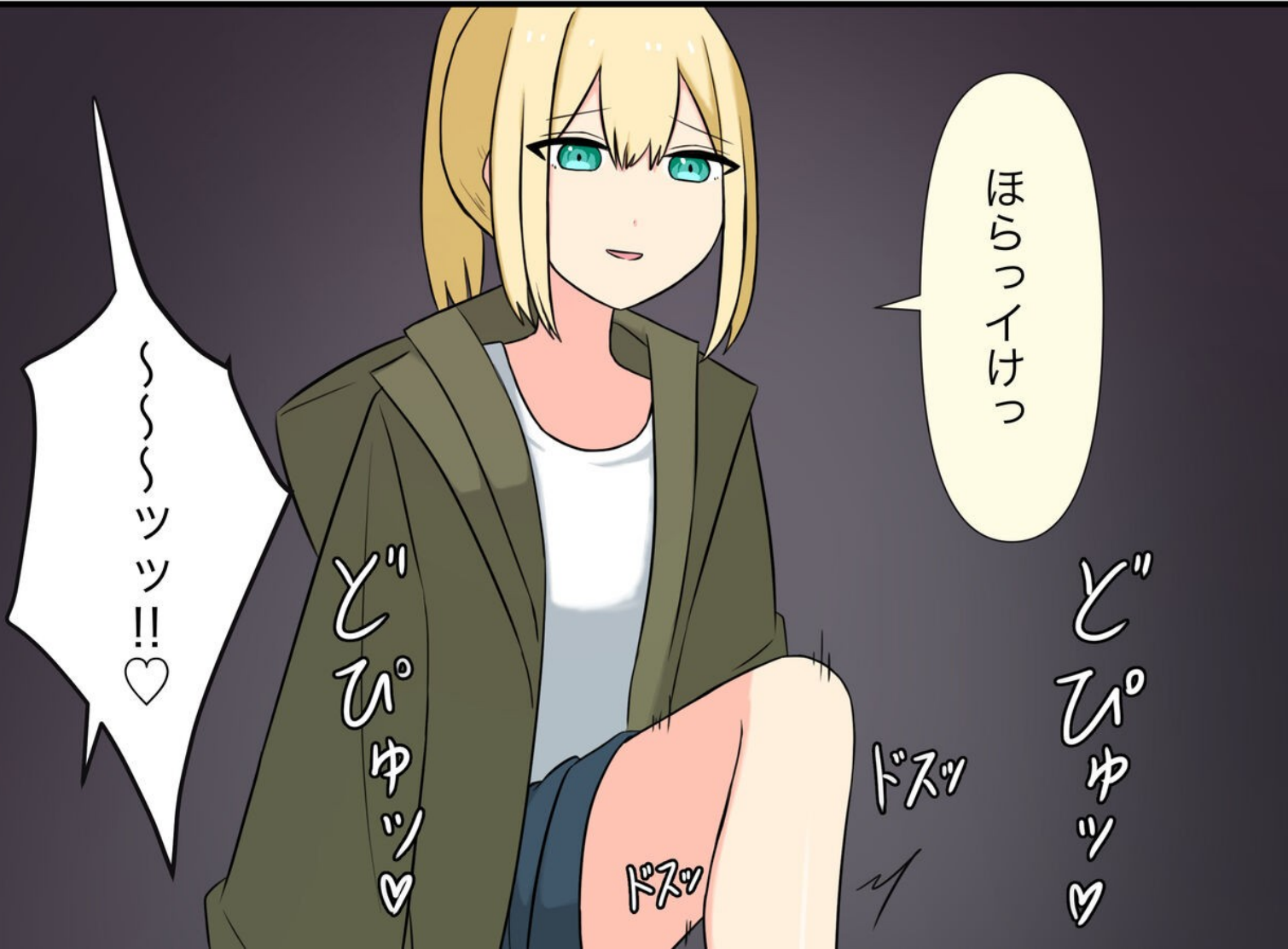
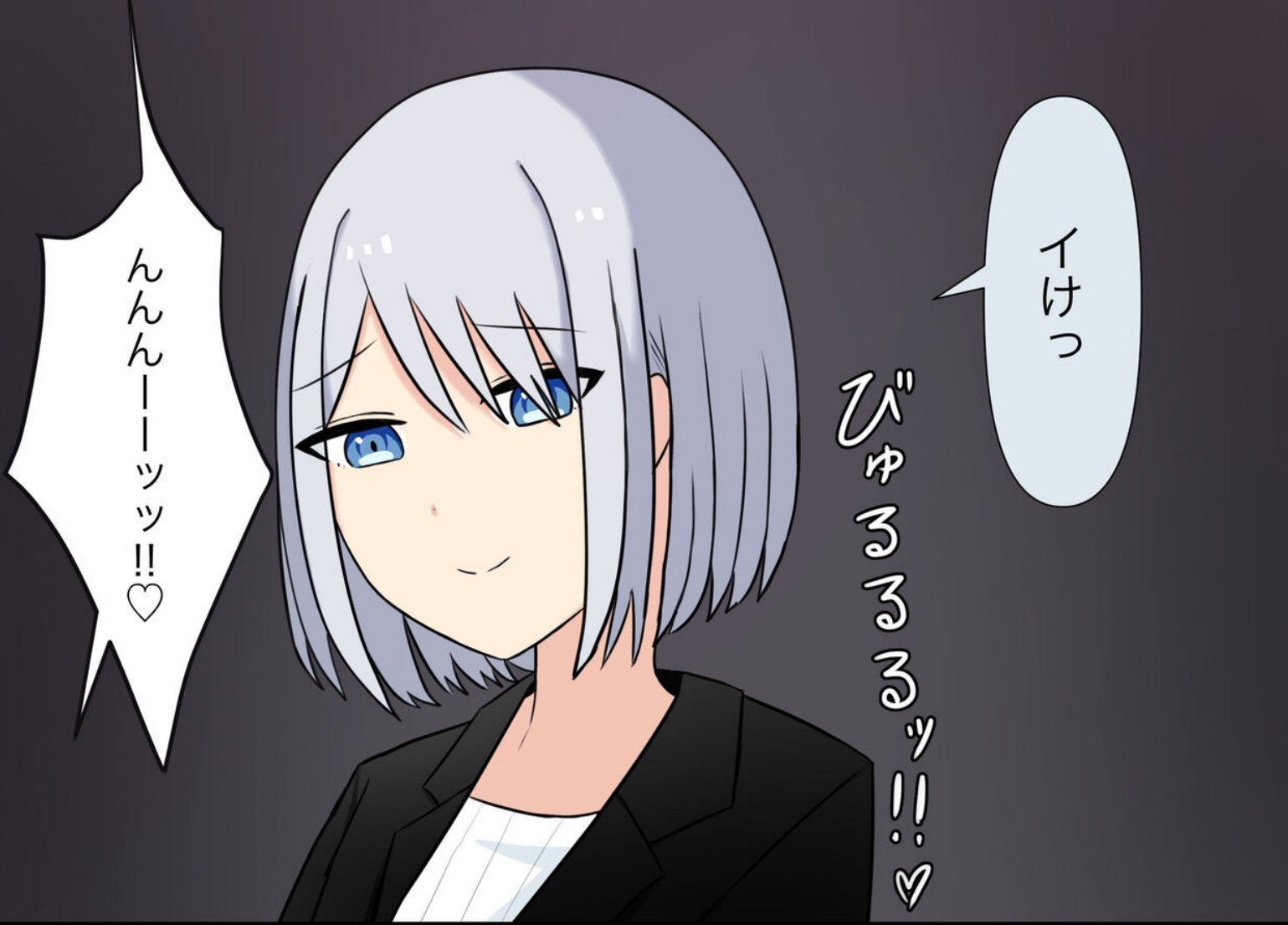
ほら…ここを踏み潰してあげたら
もっと気持ちよくなれるんじゃないですか？

ああああッツ!!
気持ち良すぎて
頭がおかしくなるぅー!!



ヒールで思いっきり
金玉踏み潰されてイくなんて
みっともないですね

気持ち悪いんで
さっさと死んでください





くすっ...

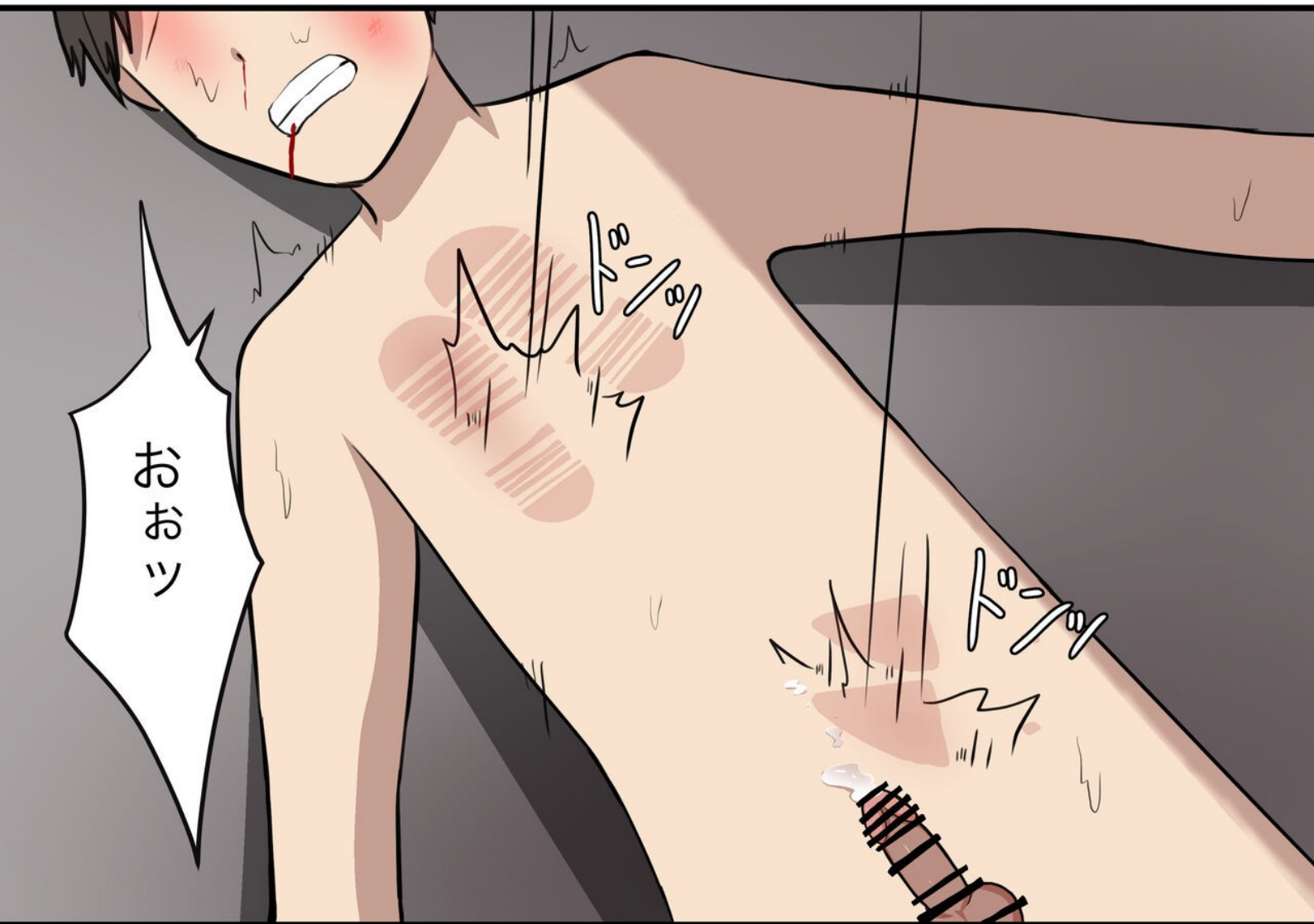
にざ〜

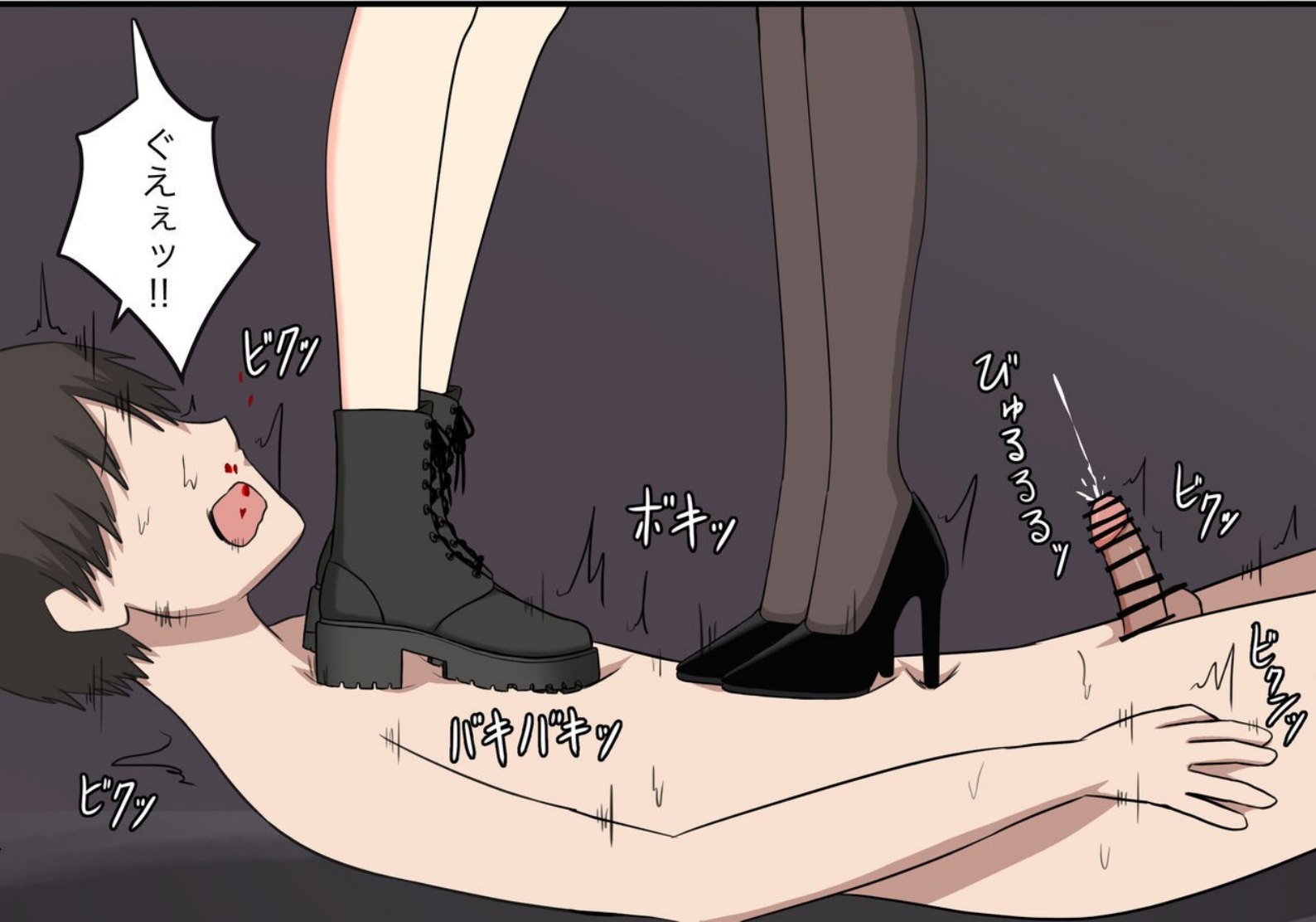
ビクッ

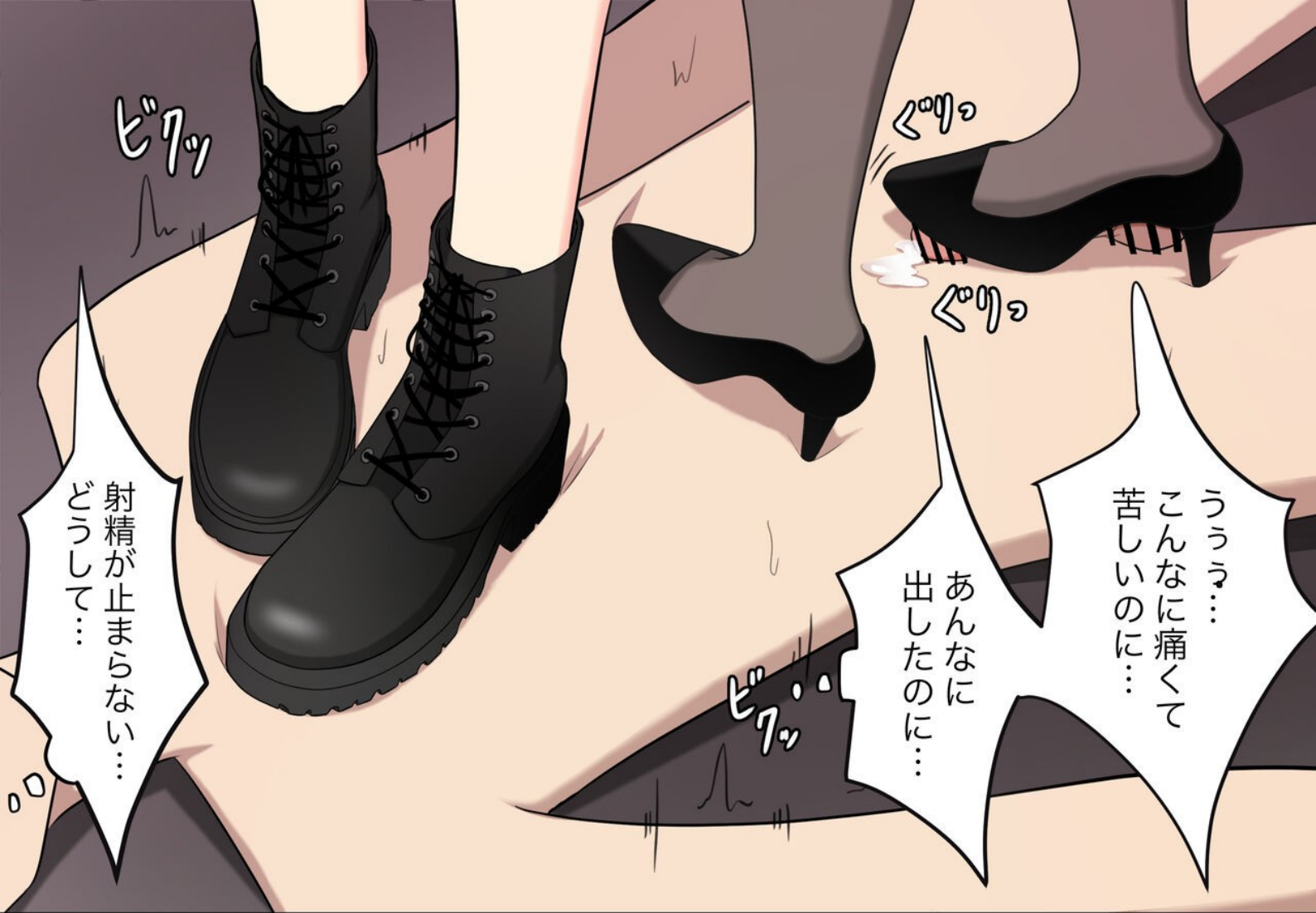
びゅるるる

ビクッ

ビクッ









私たちの能力ってやつでさ
射精と一緒に生命力も排出させるの

そしてそれが私たちに
吸収されて栄養になるってわけ



ふふ…死ぬまでたっぷり
搾り取ってあげるからね

はぁッ

なで

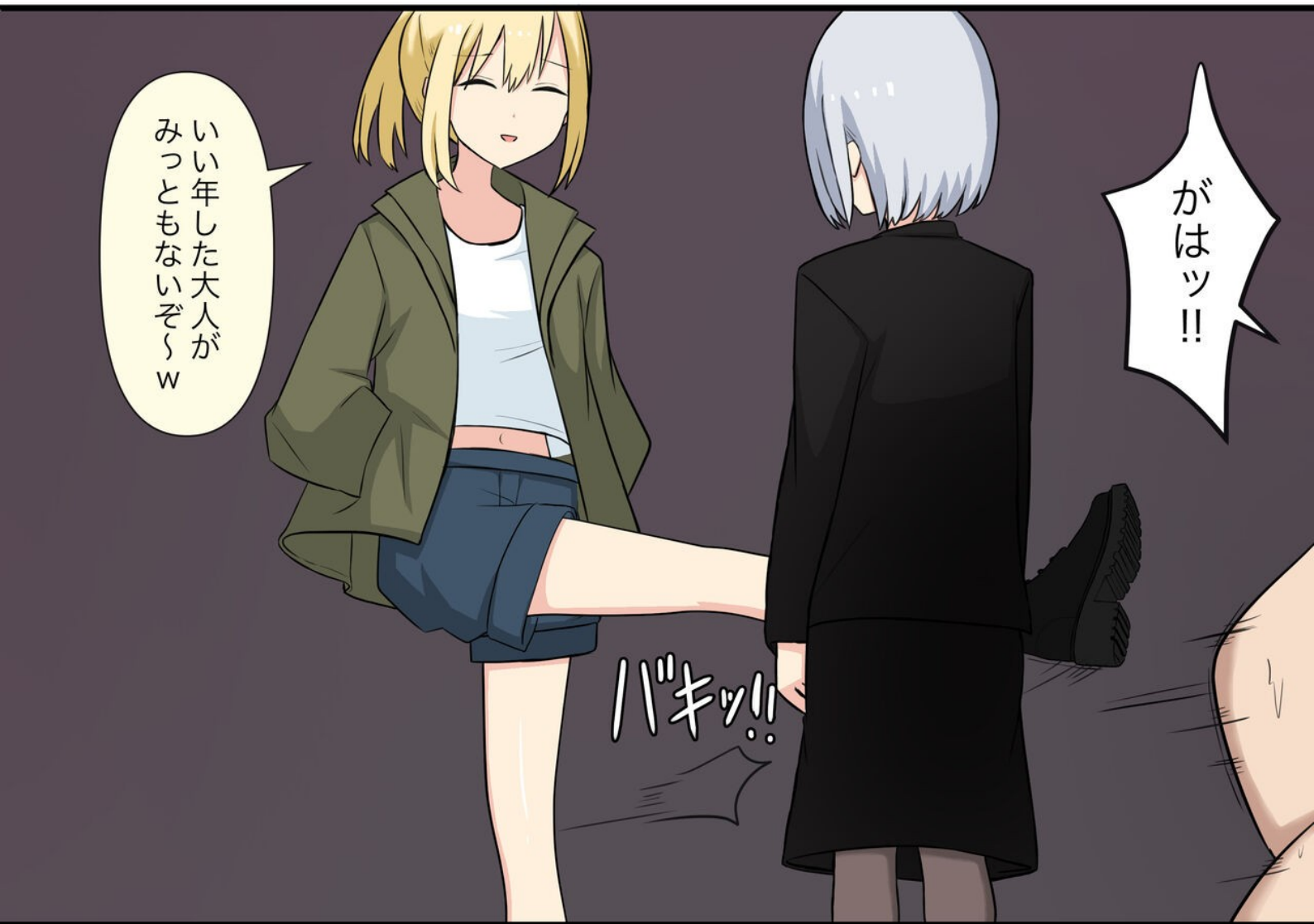
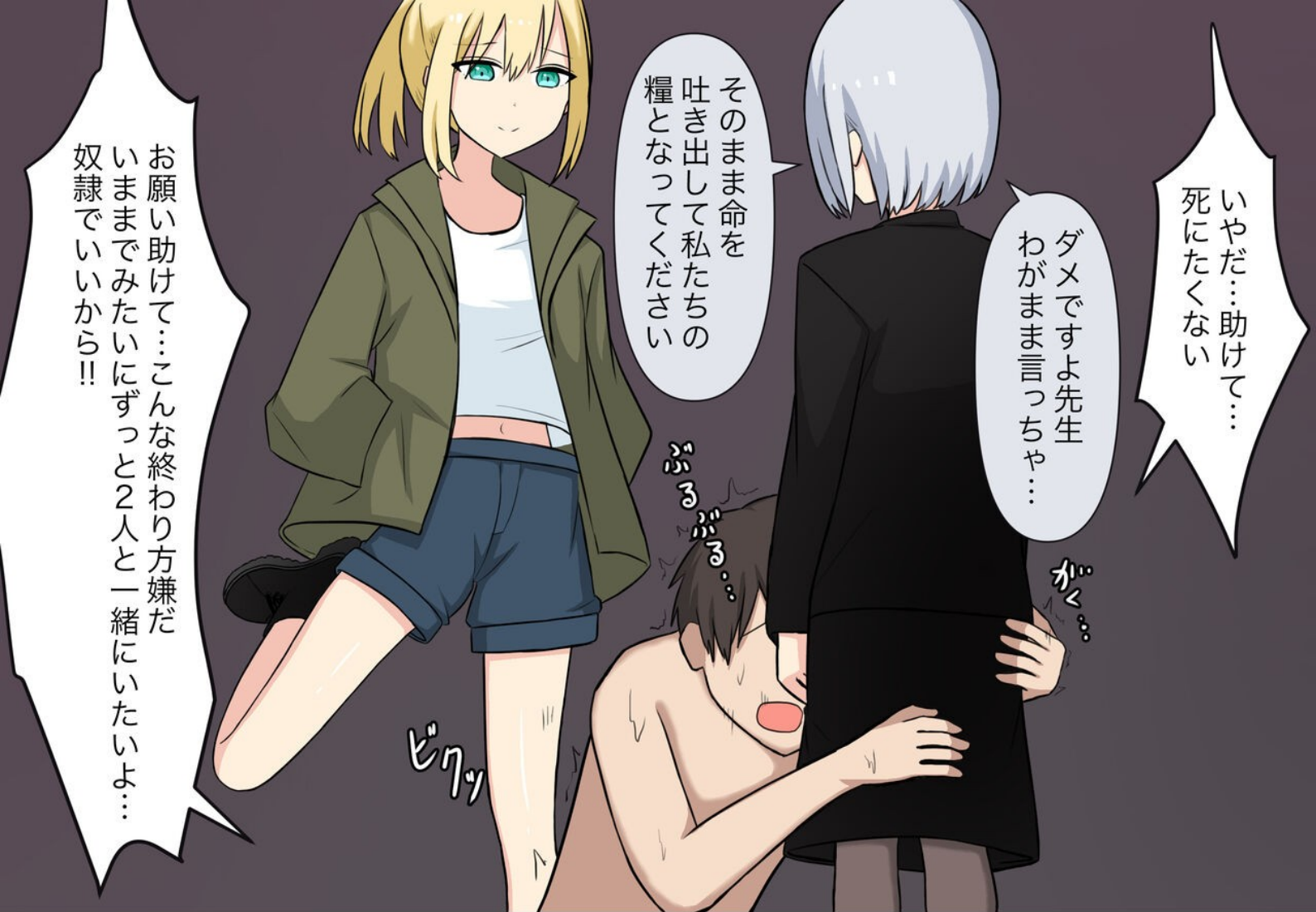
ビクッ

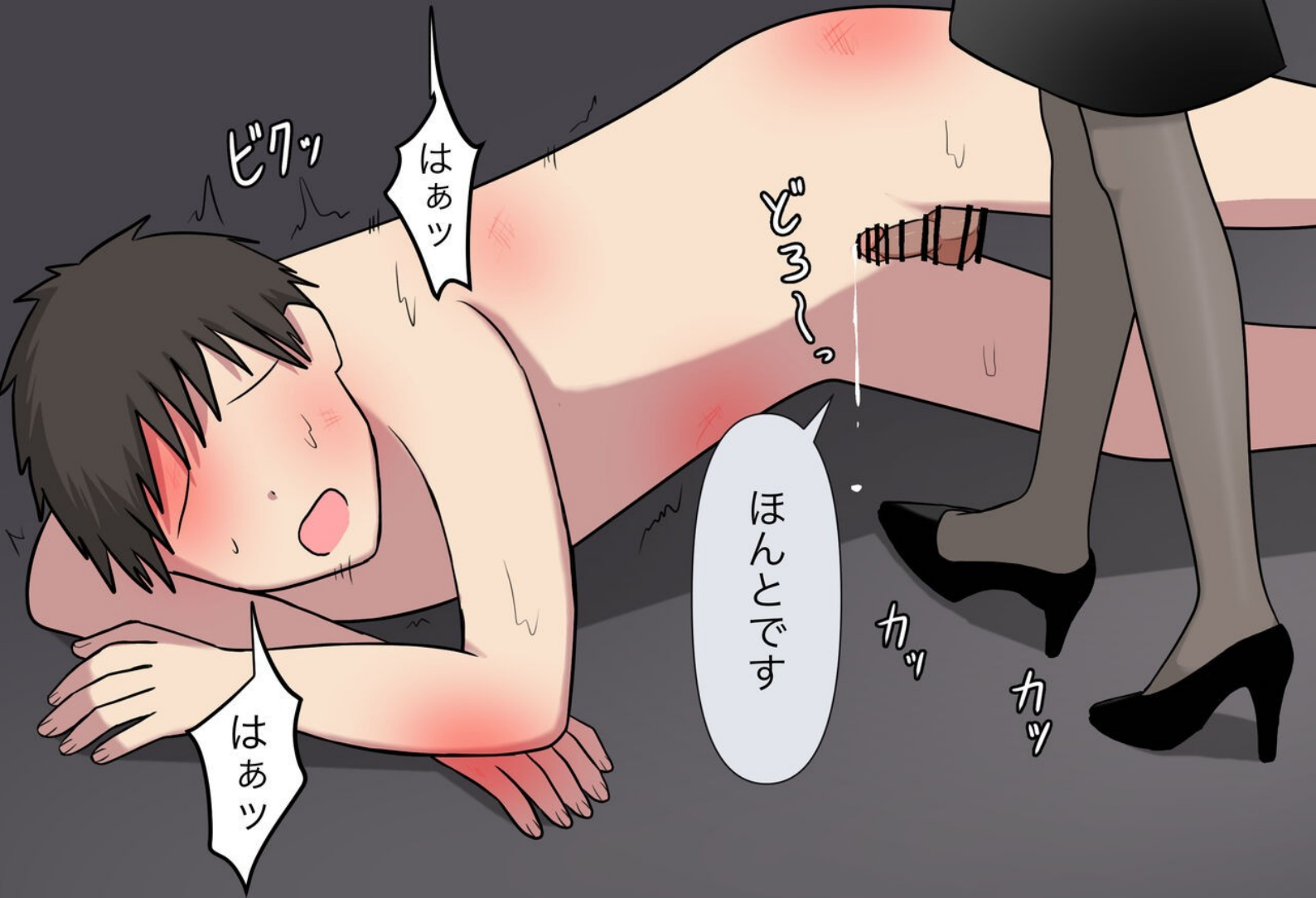
なで

はぁッ

ビクッ

ぁッ







そうですか…先生は
私に踏まれるのが大好きでしたね

うん…何でもいい
何でもする



はあ…仕方ないですね…
何でもいいんですよね？

おっ!!

おっ!!



ほんと…サラは
先生に甘いんだから

少しばかり先生のために能力を
使ってあげましょうか…

ふん…分かりました
魔力も回復したことですし



はいッ…サラ様に踏まれるのが
大好きです…好きなだけ踏んでください

おおッ!!

ビクッッ

おおッ!!

がくがく…



○⇄「o r o △ β E」……
※M⇄:……「s f o y」……
「s d = ~ * H」……



いったい何を…なんだこれは…
ここはどこ…

視界がぼやけて…
サラが大きい

やっぱり魔法の才能も
衰えてないね…さっすが！



生き物を魂ごとモノに
加工する魔術です

本来は優秀な戦士を魂の宿った
強力な武器に加工するものですが

踏まれるのが好きな先生には
靴がお似合いじゃないですか？



嗅覚や痛覚も
しっかり残してありますし

すべての感覚器官を靴の内側の
中敷き部分に集中させてあります

つまり私に踏まれる感触も
痛みも匂いもこれからずっと
味わえるんですよ…よかったですね





そんな…
こんなつもりじゃ

す…

びびッ

なんですか
せつかく殺さずにいてあげたのに
ほんとわがままですね



何でもいって
言っただじゃないですか？

ぐにっ…

これから靴として
私のことを一生
支えてくださいね…元先生



暗い…
何も見えない…

重いッ…
痛いッ…

…臭いッ
…助けて…

重いつか臭いは
女性に向かって失礼じゃないですか？
相変わらずデリカシーないですね

これからずっと
その状態なんですから
早く慣れてくださいよ
踏まれるのすきでしょ？

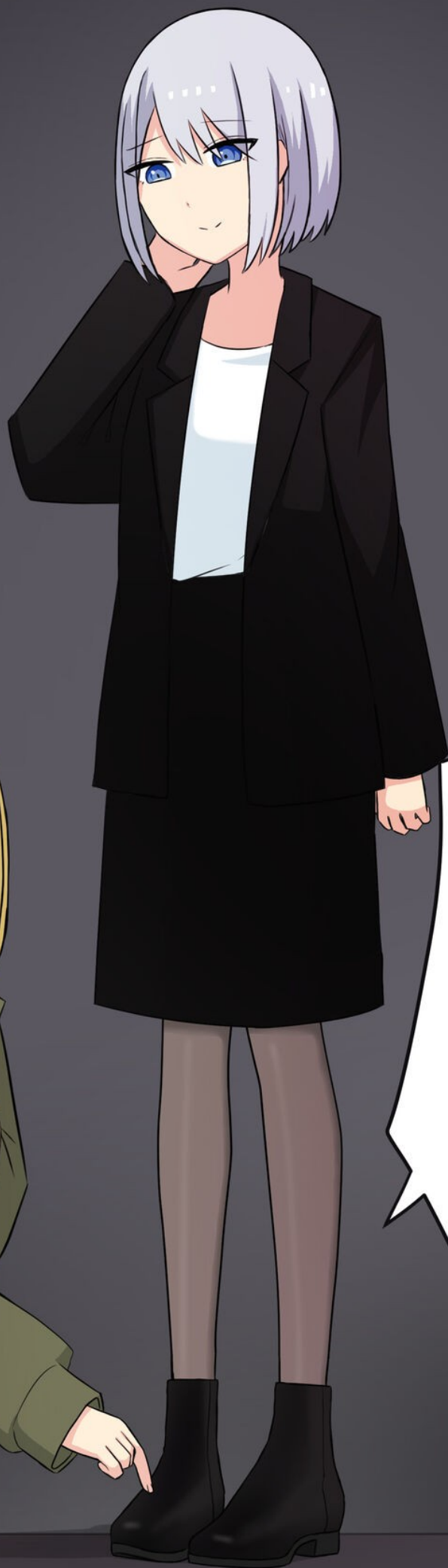
誰か助けて…
元に戻して

ちなみに：いくら声を出しても
周りには何も聞こえてませんよ
今こうして話ができているのは
私のテレパシーによるものです

でも：このテレパシーもこれで終わりにします…
もう二度とつなぐつもりはないので
これからは誰にも声は届きません

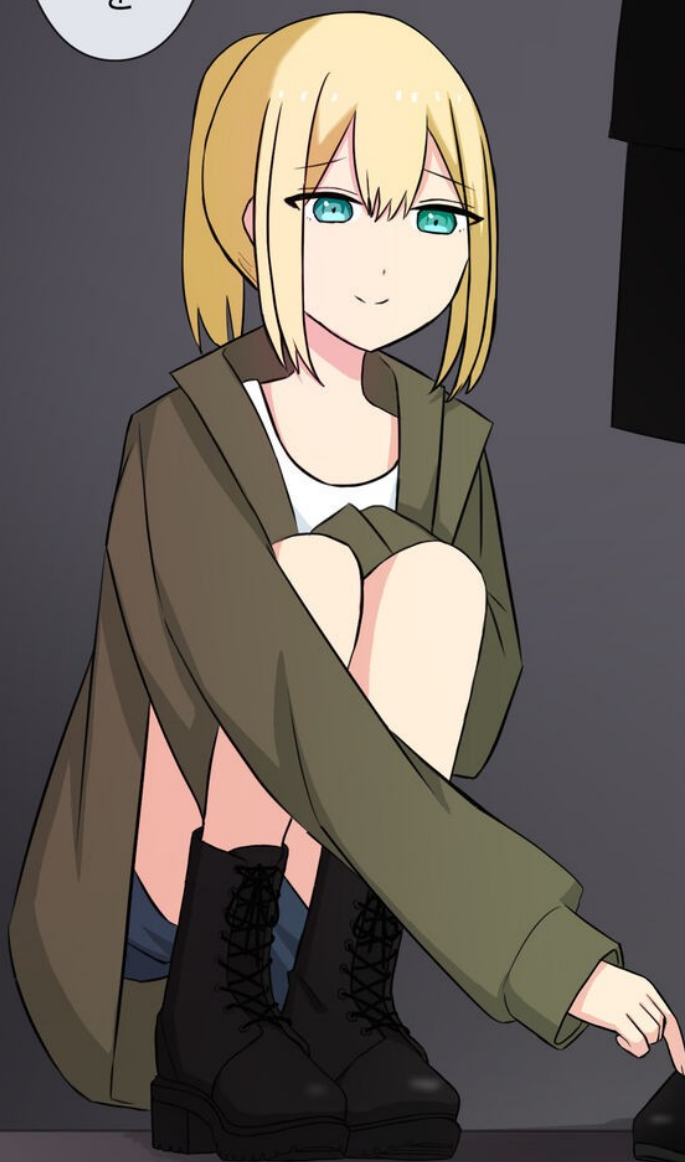
ただのモノとして一生を過ごすんです
もちろん意識は保ったままで
私の足の匂いと感触と重みを味わいながら
人間たちの絶望の叫びをそこで聞いていてください





そうですね…
夢だいいですね…

さようなら先生…いい夢を



嘘だ…これは夢だ…
こんなことがあつてたまるか…!!